Panasonic



取扱説明書

DVD プレーヤー一体型ビデオ

品番 NV-VP70



保証書別添付

このたびは、パナソニック DVD プレーヤー一体型ビデオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」(4～5 ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
  お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

はじめに

使用前

ご自分で設置される方は…
お使いになる前に、以下の項目を必ず行ってください

VHS

再生 / 録画

予約録画

便利機能

DVD

基本再生

目的別ページ早わかり

応用再生

初期設定

その他（VHS/DVD 共通）

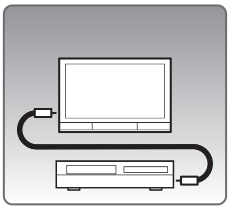
外部入力 / 編集

ご参考

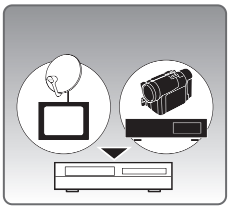
本書内の表現について

- ●参照していただくページを(➜○○)で示しています。
- ●ディスク部分を「DVD」、ビデオ部分を「VHS」として、主に説明しています。

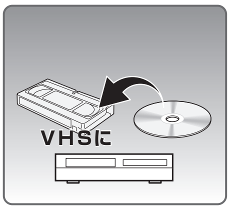
本機 1 台で、VHS と DVD の両方が楽しめます



自分で設置したい
手順どおり正しく設置してください。**(➜14)**

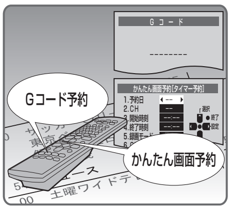


外部入力で録画したい
BS チューナー内蔵テレビを使って BS 番組を録画したり、他のビデオ、ビデオカメラからダビングすることができます。**(➜53)**



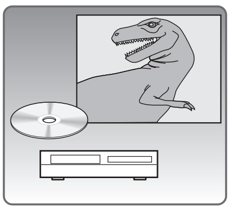
DVD-RAM の番組を VHS にダビングしたい（DVD-RAM ダビング）
ワンタッチ操作で簡単にダビングできます。**(➜54)**

VHS

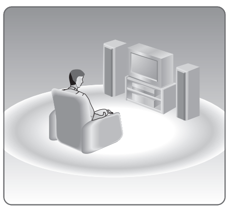


簡単に予約録画したい
テレビ画面の表示に従って、G コード予約やかんたん画面予約などの予約録画の操作ができます。
(➜26、27)

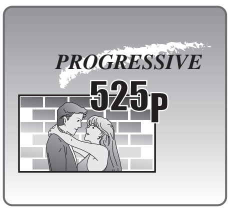
DVD



ＤＶＤ以外に音楽や静止画を視聴したい
いろいろなディスクを再生することができます。**(➜8)**



映画や音楽をもっと楽しみたい
ソフトに合わせて設定を変えることができます。**(➜38)**



プログレッシブ出力で再生したい
従来のテレビ·ビデオ映像のインターレース方式(525i)に比べて垂直解像度が高く、被写体が動いたときの画質劣化がない高密度でちらつきのない映像を再現します。**(➜46)**

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
🚫	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

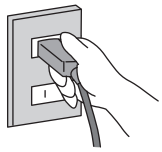
電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

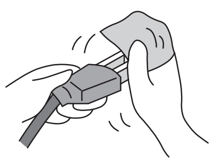
電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

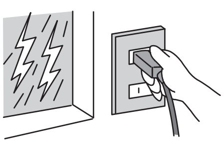


プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

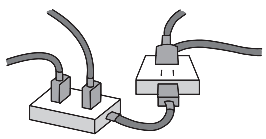
雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止



感電の原因になります。

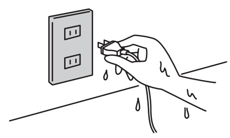
コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

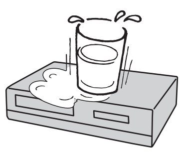
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止



感電の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

異常があったときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

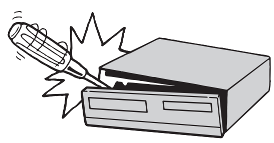
- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

分解、改造をしない

分解禁止



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない

- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない

- 取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

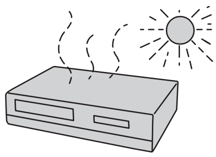
- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になりますので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意

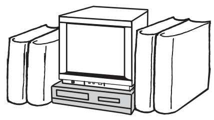
異常に温度が高くなるところに置かない



外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

放熱を妨げない



内部に熱がこもると、外装ケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

・高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

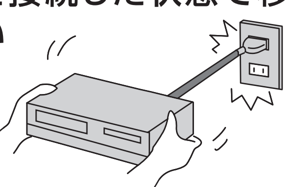
強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクやカセットは、保護のため取り出しておいてください。

ディスクトレイ・カセット挿入口に指をはさまれないように注意する

指に注意

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

使用上のお願い

きれいな映像･音声をお楽しみいただくために、下記の点をお守りください。
接続するときは、すべての機器の電源を切ってから接続してください。

「露付き」について

- 本機やカセットに「露付き」が起こると、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。
- 「露付き」が起こりやすいとき
  ･梅雨の時期
  ･本機やカセットを寒いところから暖かいところへ急に移動させたとき
  ･寒い部屋を急に暖房で暖めたとき
  ･湯気が立ちこめるなど、部屋の湿度が高いとき
- 「露付き」が起こりそうなときは、部屋の温度になじむまで（約2 時間程度）、電源を入れたまま放置してください。

お手入れについて

■キャビネットが汚れているとき

- 電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

■汚れがひどいとき

- 中性洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよくしぼってから汚れをふき取ってください。そのあと、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- キャビネットが変質したり、塗装がはげたりしますので、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。

■レンズのクリーニングについて

- 使用環境により異なりますが、レンズのクリーニングは必要ありません。
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

移動･輸送するとき

落としたり、ぶつけたりしない
カセットとディスクを取り出し、電源コードなどのコード類をすべて外す

- 引っ越しなどで輸送するときは、購入時の包装箱に入れてください。

使用するとき

カセット挿入口にカセット以外のものを入れない
ディスクトレイにディスク以外のものを置かない
揮発性の殺虫剤などがかからないようにする

- キャビネットが変形したり、塗装がはげる恐れがあります。

録画･再生中

強い磁気を持っているものや、強い電磁波を出すもの（携帯電話など）を近づけない

- 映像･音声に悪影響を与えたり、録画内容が消えたりする恐れがあります。
- 特に、プラズマテレビをお使いの場合は、できるだけ本機を遠ざけてください。

大切な録画のとき

二度と録画できないような大切な録画のときは、事前に試し録画を行い、正しく録画･録音できることを確かめておく

- 本機およびカセットを使用中、万一これらの不具合により、録画･録音されなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

■あなたが録画･録音されたものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
■著作物を無断で放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権により保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

G コード、G-CODE、および G コードロゴは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関連会社の日本国内における登録商標です。Gコードシステムは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. のライセンスに基づいて生産しております。

この製品は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

「DTS」および「DTS 2.0+Digital Out」は DTS 社の商標です。

Windows Media、Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。
WMA（Windows Media™ Audio）とは米国 Microsoft Corporation で開発された圧縮フォーマットです。これにより MP3 より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

Designed for Windows Media™

HighMAT™、HighMAT ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

HIGH MAT AUDIO･IMAGE

本製品は MPEG-4 ビジュアル特許プールライセンスに関し、以下の行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
(i) 画像情報を MPEG-4 ビジュアル規格に準拠して（「MPEG-4 ビデオ」）エンコードすること。
(ii) 個人使用として記録された MPEG-4 ビデオ及び / 又は MPEG LA からライセンスを受けているプロバイダーから入手した MPEG-4 ビデオを再生すること。
詳細についてはhttp://www.mpegla.com.をご参照ください。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報
このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

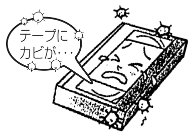
カセットについて

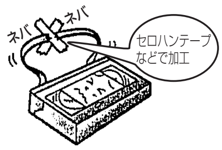
■品質のよいカセットを使う

お使いになる前に、必ずカセット(テープ)の品質を確かめる

●品質の悪いカセット(テープ)を使うと、きれいに録画･再生できないだけでなく、ビデオヘッドなどの精密部品を汚したり傷が付くなどして、故障の原因になります。

●品質の悪いカセット(テープ)の例
- ･水などの液体やほこり、カビなどが付いている
- ･テープが波打ったりクシャクシャになっている
- ･テープをセロハンテープでつなぐなど、加工してある
- ･テープがたるんでいる





●このようなカセット(テープ)を使うと、ビデオヘッドが汚れ、再生したときに映像が乱れたり、テレビ画面全体が青色(ブルーバック)になったりします。

●このときは、乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)でビデオヘッドをクリーニングしてください。それでも効果がないときは、販売店にご相談ください。ビデオヘッドクリーナーの説明書もお読みください。

●湿式のビデオヘッドクリーナー(市販品)は使わないでください。(故障の原因になります)

■カセットの取り扱いについて

落としたり、激しい振動を与えたりしない

お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない

●このようなカセットを使うと、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。

新しいカセットを使うときは、いったんテープの終端まで早送りし、巻き戻してから使う

●新しいものはテープどうしがはりついていることがありますので、ほぐしてからお使いになることをおすすめします。

使用後は、テープを始端まで巻き戻しておく

●このあとカセットを取り出し、ケースに入れ、立てて保管してください。

次のようなところに置いたり保管したりしない

- ･ほこりの多いところ
- ･高温になるところ(推奨温度: 15 ℃～ 25 ℃)
- ･温度差が激しいところ･湿度の高いところ(推奨湿度: 40 % ～ 60 %)
- ･湯気や油煙の出るところ
- ･冷暖房機器に近いところ
- ･自動車のダッシュボードの中

強い磁気を持ったもの(スピーカーなど)を近づけない

●強い磁気の影響を受けると、映像や音声にノイズが入ったり、ひどいときには大切な録画内容が消えてしまったりすることがあります。

使わないとき

●電源コンセントに接続されていると、電源を切っても約1.4ワット(時刻表示消灯時は約 1.1 ワット)の電力を消費しています。

●機能を保つため、1 カ月に一度くらいは再生などをしてお使いください。

2003 年 12 月から地上デジタル放送が始まっています

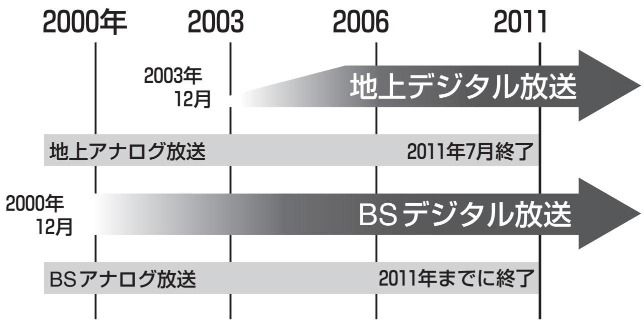
■アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。

該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。

地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。



■アナログ放送受信チューナー内蔵の録画機器でデジタル放送を録画するには

別売りのデジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵テレビと、お手元の録画機器を接続することにより、デジタル放送を録画いただけます。

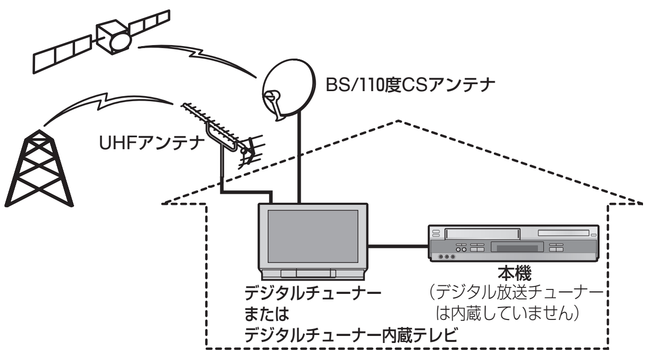
ただし、録画機器の種類により、接続方法は異なります。

また、録画機器により録画画質は異なります。

番組によっては、著作権保護の目的により、録画や一度録画した番組のダビングができない場合があります。

●上記内容は JEITA(社団法人電子情報技術産業協会)の規定に基づくものです。

●上記文中の「アナログ放送受信チューナー内蔵録画機器」とは、本機や通常のビデオデッキがこれに該当します。



● デジタルハイビジョン画質での録画はできません。

ディスクについて

■再生できるディスク

ディスクの種類によって、使える機能が異なります。本書では、ディスクによって使える機能を DVD-VR などのマークで示しています。

（再生可能なディスク：○）

ディスクの種類		再生できるファイル形式						ファイナライズ＊1の必要性
名称	ロゴ	DVD レコーダーなどで作成されたディスク		パソコンなどで作成されたディスク				
		DVD-VR＊2	DVD-V＊3	MP3	WMA	JPEG	MPEG4	
DVD-RAM＊4	DVD RAM RAM4.7	○		○	×	○	○	不要
DVD-R	DVD R R4.7	○	○	○	×	○	○	必要
DVD-R DL＊5＊6	DVD R R DL	○＊7	○	×	×	×	×	必要
DVD-RW	DVD R W	○	○	○	×	○	○	必要
+R/+RW	—	×	(○)＊8	×	×	×	×	必要
+R DL＊6	—	×	(○)＊8	×	×	×	×	必要
CD-R/RW＊9＊10	—			○	○	○	○	必要＊10＊12

再生可能な市販ディスクの種類	ロゴ	特長	
DVD ビデオ DVD-V	DVD VIDEO / DVD VIDEO	映画や音楽など、高画質の市販ソフト ●本機では右記のマーク（リージョン番号）が表示されたディスクを再生できます。	本機は「2」（または「2」を含むもの）、「ALL」のいずれかが表示されたもののみ再生できます。 例） 2 ALL 1 2 4 … など
CD CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO / COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT	音楽や音声が記録された市販ソフト （CD-DA 形式で記録した CD-R や CD-RW を含む＊10＊11＊12）	
ビデオ CD VCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO / COMPACT disc SUPER VIDEO	映像、音楽や音声が記録された市販ソフト （ビデオ CD 形式で記録した CD-R や CD-RW を含む＊10＊11） ●スーパービデオ CD（SVCD:IEC62107 規格に準拠するディスク）を含みます。	

＊1 再生対応機器で再生できるように処理すること。

＊2 記録形式がビデオレコーディング規格 Ver. 1.1（ビデオ録画のための統一規格）で、DVD レコーダーまたは DVD ビデオカメラで録画し、ファイナライズ＊1したディスク。

＊3 DVDレコーダーまたはDVDビデオカメラで録画し、ファイナライズ＊1したディスクは“DVD ビデオ”として再生できます。

＊4 カートリッジなしタイプ、または取り出し可能カートリッジタイプ（TYPE2、TYPE4）で、記録形式がビデオレコーディング規格 Ver. 1.1（ビデオ録画のための統一規格）

＊5 DVD-R DL（片面２層）は 2005 年２月に DVD フォーラムで定められた新規格です。

＊6 層をまたがって録画されている映像を再生する場合、層の変わり目で、映像や音声が一瞬止まることがあります。（➔34）

＊7 記録形式がビデオレコーディング規格 Ver. 1.2（ビデオ録画のための統一規格）で、DVD レコーダーまたは DVD ビデオカメラで録画し、ファイナライズ＊1したディスク。

＊8 記録形式が異なるため、働かない機能があります。

＊9 HighMAT（ハイマット）™ 規格に準拠して記録されたディスクの MP3、WMA、JPEG 再生に対応しています。

＊10 ディスクの記録状態や記録方式、またはファイルの作成方法によっては正しく再生できない場合があります。

＊11 記録終了時にセッションクローズまたはファイナライズ＊1する必要があります。

＊12 CD-DA 規格に準拠していない CD（コピーコントロール CD など）は、動作および音質の保証はいたしません。

■再生できる形式について

MP3

特長	元の音質をあまり損なうことなく、音声を10分の1程度に圧縮できる音声圧縮方式です。
ファイル形式	MP3 ●ファイル名の拡張子に「mp3」、「MP3」と書いたファイル（半角英数字のみ）
フォルダー数	最大 400
ファイル数	最大 4000
ビットレート	32 kbps ～ 320 kbps まで
サンプリング周波数	**DVD-RAM、DVD-R/RW**： 11.02 kHz/12 kHz/22.05 kHz/24 kHz/44.1 kHz/48 kHz で記録されたファイル **CD-R/RW**： 8 kHz/11.02 kHz/12 kHz/16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/32 kHz/44.1 kHz/48 kHz で記録されたファイル
ID3 タグ	対応していません

WMA

特長	MP3 より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。 （著作権保護されたファイルは再生できません）
ファイル形式	WMA ●ファイル名の拡張子に「wma」、「WMA」と書いたファイル（半角英数字のみ）
フォルダー数	最大 400
ファイル数	最大 4000
ビットレート	48 kbps ～ 320 kbps まで (Multiple Bit Rate (MBR) との互換性はありません)

JPEG

特長	カラー静止画を圧縮、展開する規格のひとつです。 ●Motion JPEGなどの動画やJPEG以外の静止画 (TIFF など)および音声付き画像は再生できません。
ファイル形式	JPEG ●ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」、「jpeg」、「JPEG」と書いたファイル（半角英数字のみ）
フォルダー数	最大 400
ファイル数	最大 4000
記録方式	DCF (Design rule for Camera File system) 規格 Ver.1.0 準拠のファイル （パソコンの画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したデータは表示できないことがあります）
画素数	160×120 ～ 6144×4096 （サブサンプリング：4:4:4、4:2:2、4:2:0、4:0:0）

MPEG4

特長	当社製 SD マルチカメラで撮影および当社製 DVD レコーダーで記録された MPEG4 データ **(➜61)** が再生できます。
ファイル形式	MPEG4 ●ファイル名の拡張子に「asf」、「ASF」と書いたファイル（半角英数字のみ）
フォルダー数	最大 400
ファイル数	最大 4000
記録方式	SD VIDEO 基準 ASF 形式 映像：MPEG4(Simple Profile) 基準 音声：G.726 基準
日付表示	表示されている日付と実際に記録された日付が異なる場合があります。

【お願い / ヒント】

- ISO9660 level1 および level2 フォーマットの CD、ビデオ CD に対応しています。
- UDF**(➜61)** ブリッジ (UDF1.02/ISO9660) フォーマットの DVD-ROM、DVD-R、DVD-RW に対応しています。
- マルチボーダー（マルチセッション）フォーマットの DVD には対応していません。
- パケットライト方式で記録されたDVD、CDには対応していません。
- 再生できるディスク一覧**(➜左ページ)**に記載のロゴマークの入ったものなど、それぞれの規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用すると正しく再生できない場合があります。
- 再生できるディスクの映像方式は NTSC です。
- DVD ビデオ、ビデオ CD の中には、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しないことがあります。
  ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
- 経過時間が表示されないディスクや、メニュー画面を持ったビデオ CD の場合、機能が働かない場合があります。
- 使用するディスクや記録状態により、再生できなかったり機能が働かない場合があります。

■再生できないディスク

- ファイナライズ*[1] されていない DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW/+R/+RW/+R DL/CD-R/CD-RW
- リージョン番号「2」「ALL」以外の DVD ビデオ
- PAL 方式で記録されたディスク
- UDF1.5 でフォーマットされた DVD-RAM や DVD-RW
- DVD-RAM（2.6 GB/5.2 GB、TYPE 1）
- Ver.1.0 の DVD-RW
- DVD オーディオ
- DVD ビデオ以外の DVD-ROM
- ブルーレイディスク
- DivX ビデオ
- CD-ROM
- CD-G
- SACD
- Photo-CD
- CDV
- Chaoji VCD（超級と呼ばれている市販の SVCD、CVD、DVCD）など
- 未記録のディスク

ディスクについて(つづき)

■DVD-RAM について
- 当社製DVDレコーダー、DVDビデオカメラ、パソコンなどで記録されたディスクが再生できます。
- UDF(➜61)2.00 に対応しています。
- 当社製 DVD レコーダーで記録されたディスクが再生できます。ディスク内のJPEG、MPEG4 ファイルを再生するには、「その他のメニュー」で「データディスクとして再生」(➜49)を選んでください。
- カートリッジ付ディスクの場合は、ディスクをカートリッジから取り出してお使いください。使用後はカートリッジに収納しておいてください。(詳細はディスクに付属の説明書などをご参照ください)
- 番組と番組のつなぎ目部分など、なめらかに再生できない場合があります。
- テレビ画面上では DVD-VR と表示されます。

■HighMAT(ハイマット)TM規格に準拠して記録されたディスクについて
本機はHighMAT(ハイマット)TM 規格に準拠して記録されたディスクのWMA、MP3、JPEG 再生に対応しています。
- HighMATTM 規格は、音声 / 画像 / 動画のファイルを CD-R/RW に記録するときの新しい管理フォーマットです。
  (HighMATTM:High(ハイ) performance(パフォーマンス) Media(メディア) Access(アクセス) Technology(テクノロジー))
- 本機では、WMA/MP3 の音楽ファイルと JPEG の画像ファイルが記録されたディスクを再生することができます。
- HighMATTM に対応したパソコンソフトでディスクを作成するときは、記録するファイルに曲名やアーティスト名などの情報を付けたり、プレイリストの設定なども合わせて収録することができます。
- 作成されたディスクでは、多彩なメニュー操作により、ファイル選択などを簡単に行うことができます。
- 作成されたディスクは、パソコンと本機と共通で使うことができます。
- HighMATTM規格に準拠して記録されたディスクを作るためには、Windows XP がインストールされたパソコンが必要です。

■ジャケットの各マークについて
●音声数 ● 字幕数 ● アングル数



(数字は記録されている数を示します)

●画面サイズ(横:縦)
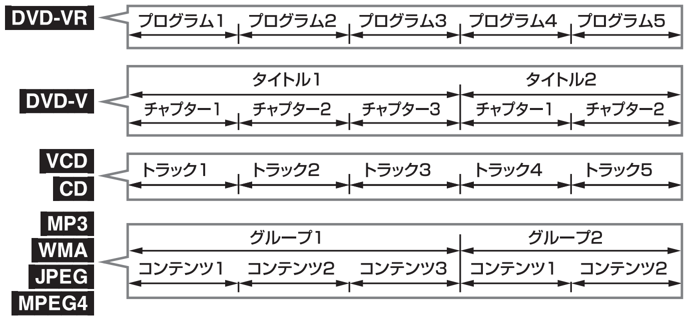
4:3 : 標準
横:縦が 4:3 のサイズ

LB : レターボックス
横:縦が 4:3 で上下に黒帯が入っている画面

16:9 LB : ワイドサイズ
横:縦が 16:9 で記録されており、標準サイズ(4:3)のテレビではレターボックスで再生

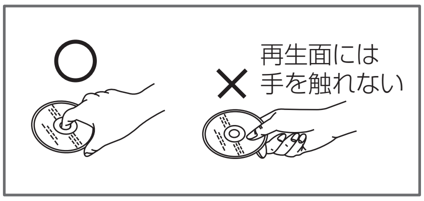
16:9 PS : ワイドサイズ
横:縦が 16:9 で記録されており、標準サイズ(4:3)のテレビではパン&スキャン(両側または片側が切れた画面)で再生

■ディスクの構成例

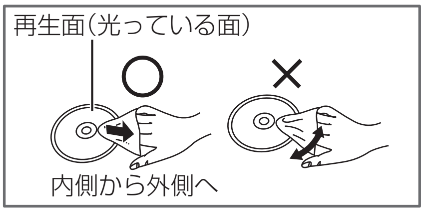


ディスクの取り扱い

■ディスクの持ちかた

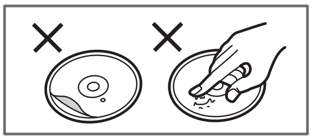


■ディスクが汚れたとき
水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

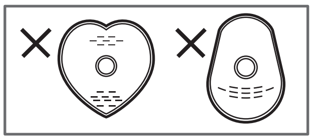


■ディスクに露が付いたとき
急に暖かい室内に持ちこんだときなど、露が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

■取り扱い上のお願い
ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。
- レーベル面にシール、ラベルをはらない。
  (ディスクにそりが発生し、使用できない場合があります)
- 以下のディスクを使わない。
  ・シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルディスクなど。
  ・そりの大きなディスク、割れたりひびの入っているディスク。



  ・ハート型など、特殊な形状のディスク。(機器の故障の原因となります)



- 鉛筆やボールペンなどで文字を書かない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 傷付き防止用のプロテクターなどは使わない。

■ディスクの保管
次のような場所は避けてください。
- 直射日光の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接当たるところ

付属品

音量について

DVD の再生中に音量を上げたときは、別の入力への切り換え時などの音量に気をつける

- 本機の音声をテレビなどに接続している場合、DVD の音は一般に他のソフトより小さく感じられます。
  DVD の再生時にテレビやアンプ側の音量を上げたときは、再生が終わったあと必ず下げておいてください。
  別の入力に切り換えたときなどに、突然大きな音が出ることがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

リモコンの操作について

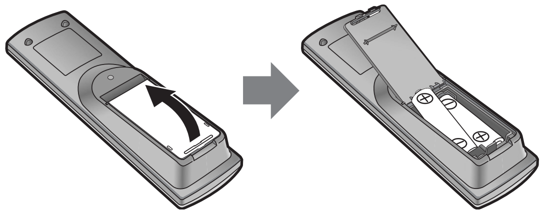
■電池の入れかた

ふたを開け、

単3形乾電池(付属)を入れる

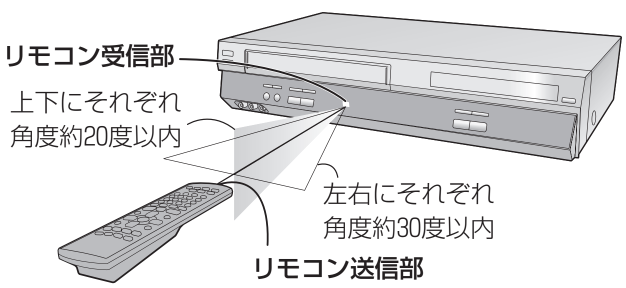
- ⊕⊖ を確認してください。

入れたあとは、ふたを元どおり閉じてください。



- 操作できる範囲(➜ 下記)が狭くなってきたり、操作できなくなったときは、電池を交換してください。
  (使用環境、使用回数などにもよりますが、電池の寿命は約 1 年です)
- 充電式電池(ニッケルカドミウム Ni-Cd など)は使わないでください。
- 不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。
- 1 カ月以上使わないときは、電池を取り出しておいてください。

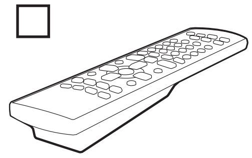
■操作のしかた(使用範囲)



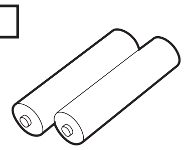
- 操作できる範囲は正面で約 7 m 以内、角度は左右に約 60 度、上下に約40度以内です。(ただし、周囲の明るさで変わります)
- 本体をラックに入れて使用するときは、ガラス扉の厚さや色によって、操作できる範囲が短くなることがあります。
- 本機とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- リモコン受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たっていると、操作できない場合があります。

付属品をご確認ください。

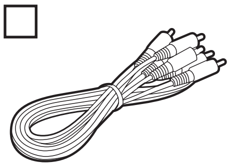
- 記載の品番は、2006年2 月現在のものです。

□ 

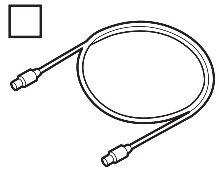
リモコン★
(➜12)
N2QAYB000007

□ 

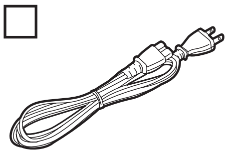
リモコン用乾電池(2 本)☆
(➜ 左記)
単 3 形乾電池

□ 

映像・音声コード★
(➜14)
K2KA6BA00003

□ 

75Ω 同軸ケーブル★
(➜14)
K2KZ2BA00001

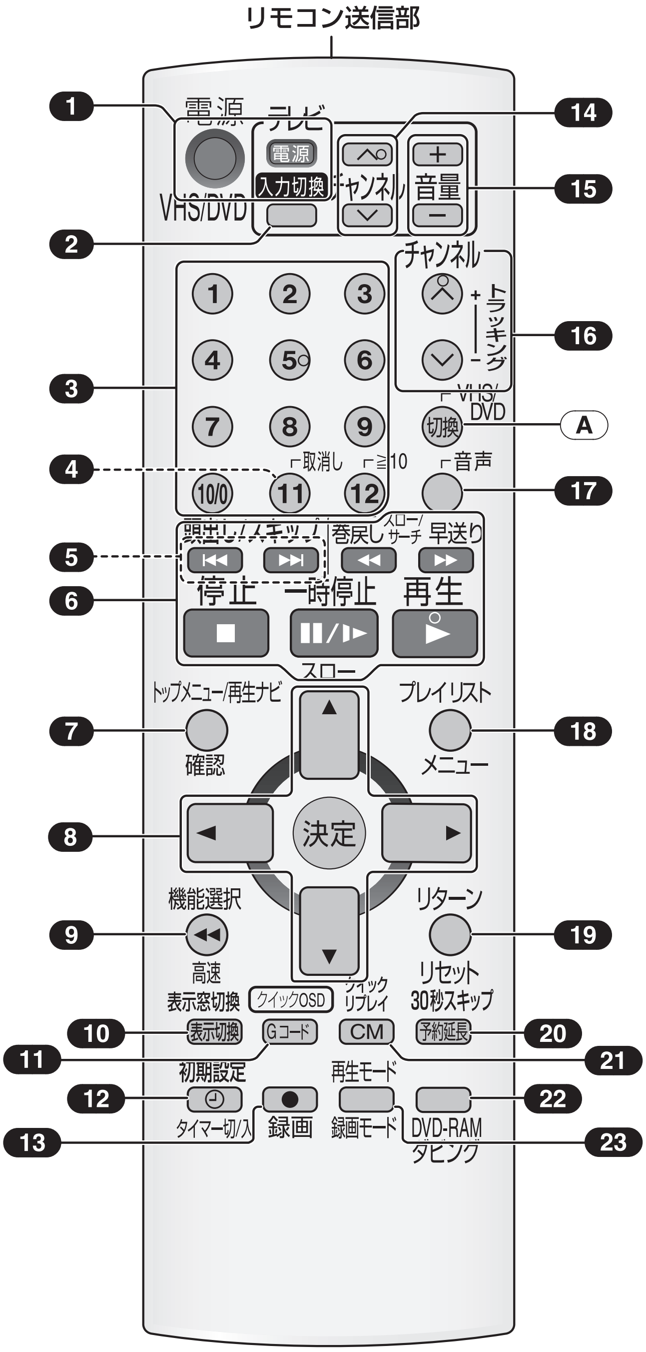
□ 

電源コード★
(➜14)
K2CA2DA00009

電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

各部の働き

リモコン
（本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています）



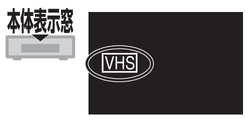
- **1** 本体 テレビ ：電源を切 / 入する ....(➔18)
- **2** テレビ ：テレビの入力を切り換える ....(➔18)
- **3** チャンネルの数字や G コード予約などの番号を入力する ....(➔19,24,26)
  DVD ：曲番などの数字を直接入力する ....(➔35,42,44)
- **4** VHS DVD ：入力した数値を取り消す ....(➔19,42)
- **5** VHS ：頭出しする ....(➔30)
  DVD ：飛びこす ....(➔37)
- **6** VHS DVD ：再生時の操作 ....(➔21,34)
- **7** VHS ：予約録画時の基本操作 ....(➔27)
  予約内容を確認する ....(➔28)
  DVD ：ディスクの最初のメニュー画面や再生ナビ番組リスト画面を表示する ...(➔43,45)
- **8** VHS DVD ：項目などを選んで実行する ....(➔20,32,34,47,50)
  DVD ：コマ送り (戻し) 再生をする ....(➔35)
- **9** VHS ：高速で巻戻す ....(➔21)
  DVD ：GUI 画面を表示する ....(➔47)
- **10** VHS ：時刻 / テープカウンター/テープ残量を表示する ....(➔31)
  DVD ：本体表示窓の表示を切り換える ....(➔34)
- **11** VHS ：G コード予約をする ....(➔26)
  DVD ：再生状況を確かめる ....(➔38)
- **12** VHS ：予約録画のタイマーを切 / 入する ....(➔27 ～ 29)
  DVD ：各種設定を行う ....(➔50)
- **13** VHS ：録画する ....(➔24)
- **14** テレビ ：チャンネルを順に切り換える ....(➔18)
- **15** テレビ ：音量を調節する ....(➔18)
- **16** VHS ：チャンネルを順に切り換える ....(➔19)
  トラッキングや垂直同期を調整する ....(➔23)
- **17** VHS DVD ：音声を切り換える ....(➔31,41)
- **18** VHS ：メニュー画面を表示する ....(➔20,32)
  DVD ：ディスクのメニュー画面やプレイリスト一覧画面を表示する .....(➔34,45)
- **19** VHS ：テープカウンターをリセットする ....(➔31)
  DVD ：1 つ前の画面に戻る ....(➔47,50)
- **20** VHS ：予約録画の終了時刻を延長する ....(➔28)
  DVD ：約 30 秒先へ飛びこす ....(➔37)
- **21** VHS ：CM を飛ばして再生･録画する ....(➔22,24,26,27)
  DVD ：少し前の画面に戻る ....(➔36)
- **22** VHS DVD ：DVD-RAM から VHS にダビングする ....(➔54)
- **23** VHS ：録画モードを選ぶ ....(➔24)
  DVD ：再生モードを選ぶ ....(➔42)

Ⓐ 操作先切換ボタン

操作する対象（VHSまたは DVD）にあわせて、リモコンと本機の操作モードを切り換えます。ボタンを押すごとに、本体表示窓が下図のように切り換わります。（電源「切」のときは、切り換えることはできません）

本機を操作するときは、操作モードが操作する対象に合っているか確認してください。

VHSの操作をする前は
- 必ず本体表示窓の[VHS]を表示させてください。

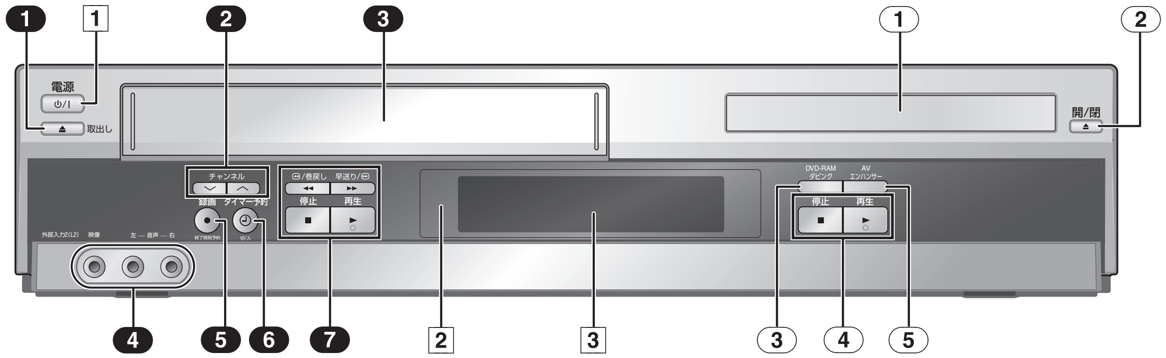


DVDの操作をする前は
- 必ず本体表示窓の[DVD]を表示させてください。



【お願い / ヒント】
- **[●録画] ボタンなど誤動作や各種設定にかかわるボタンは、誤って押してしまうことを防ぐため、他のボタンよりも凹凸が少なくなっています。**
- 本書では、ボタン名を**[再生▶]**などで示し、「各部の働き」以外のページでは“ボタン”を省略しています。
- リモコンでのテレビの操作は、テレビメーカー設定(➔18)後に行えるようになります。

本体

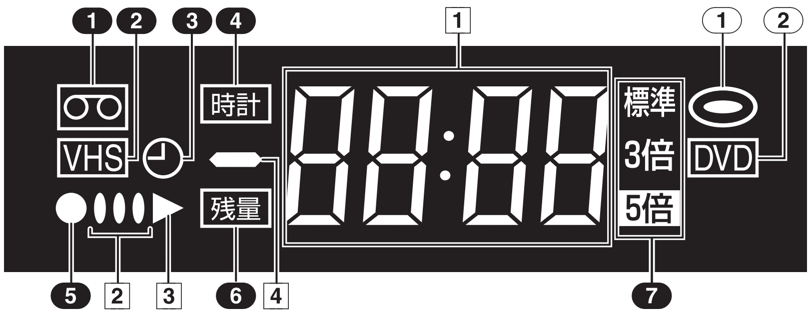


■VHS/DVD 共通
1 電源を切 / 入する ...(➔18)
2 リモコン受信部 ...(➔11)
3 本体表示窓 ...(➔ 下記)

■VHS 操作時
❶ カセットを取り出す ...(➔21)
❷ チャンネルを切り換える ...(➔24)
❸ カセット挿入口 ...(➔21)
❹ 外部入力する ...(➔53)
❺ 録画する / 終了時刻予約録画をする ...(➔24,25)
❻ 予約録画を切 / 入する ...(➔29)
❼ 再生時の基本操作 ...(➔21)

■DVD 操作時
① ディスクトレイ ...(➔34)
② ディスクトレイを開閉する ...(➔34)
③ DVD-RAM から VHS にダビングする ...(➔54)
④ 再生時の基本操作 ...(➔34)
⑤ ディスクの種類にあわせて
画質･音質を設定する ...(➔40)

本体表示窓



■VHS/DVD 共通
1 メイン表示部
●時刻表示 /VHS再生･録画経過時間 /ディスク再生経過時間/各種メッセージ…など。
2 動作状態
●再生や録画など､本機の動作状態を示します。バーの状態は本機の動作状態によって変わります。
●再生中､バーは右へ繰り返し移動します。
●テープが一時停止のときやディスクが停止したときは、点滅します。
●ディスクが一時停止したときは､バーの 1 つだけが点灯します。
3 再生表示
●テープやディスクの再生中に点灯します。
4 マイナス表示
●VHS テープカウンターがマイナスのとき表示します。
●再生するディスクによって残量時間表示のとき表示します。

■VHS 操作時
❶ カセットが入っているとき
●カセットを入れずに録画や予約録画をしようとすると、点滅します。
❷ 操作対象が “VHS 側” になっているとき ...(➔21)
❸ 予約録画待機中･実行中 ...(➔29)
❹ 時計表示
●時刻表示中点灯します。
❺ 録画中･ダビング中
❻ 残量表示 ...(➔31)
❼ 録画モード ...(➔24)

■DVD 操作時
① ディスクが入っているとき
② 操作対象が “DVD 側” になっているとき ...(➔21)

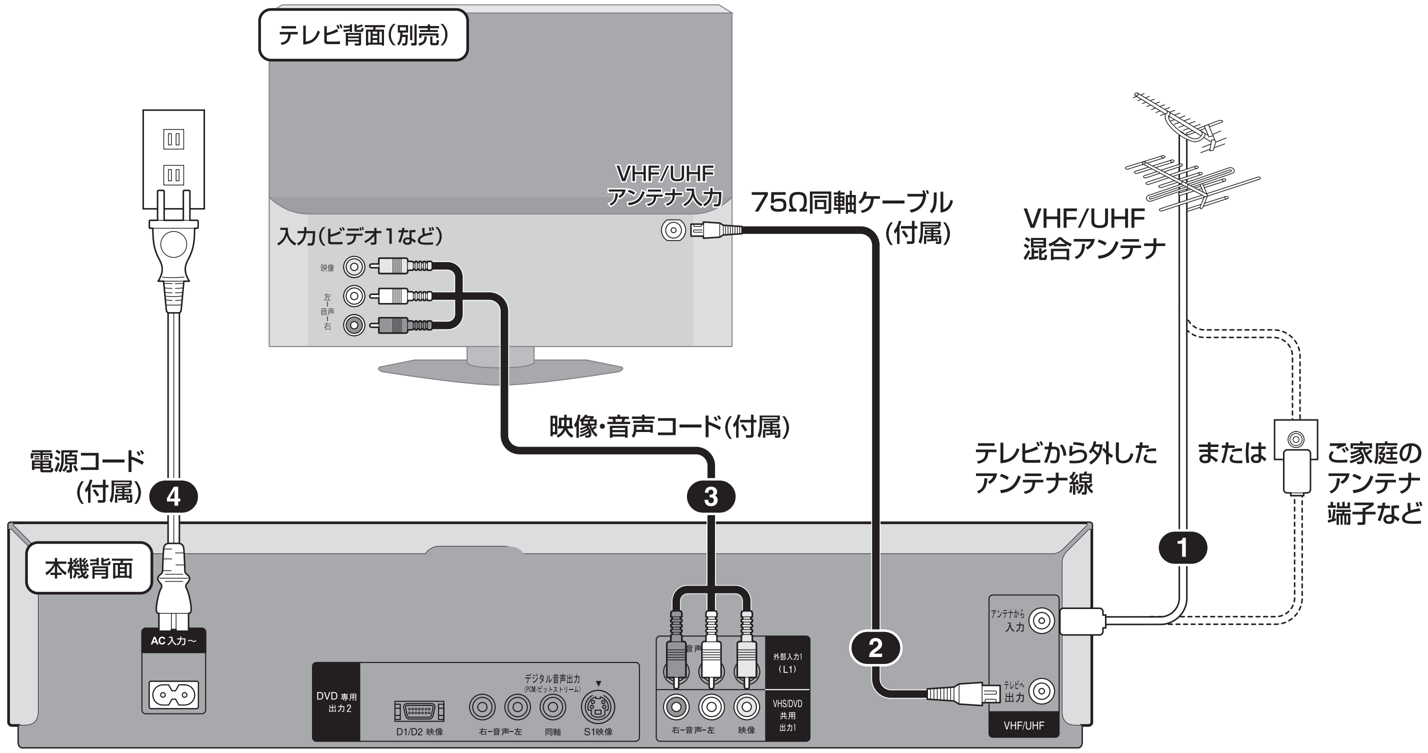
【お願い / ヒント】
● “[カセット]” と “[ディスク]” は､VHS 側と DVD 側の切り換えに関係なく、カセットやディスクが入っているときに点灯します。

<準備 1> 接続する

VHF/UHF アンテナ、テレビと接続する

❶ から ❹ の順で接続してください。

準備 ●各機器の電源を切っておく。
（接続は乾いた手で行ってください）



■テレビから外したアンテナ線がプラグ付き同軸ケーブルでないとき

●別売の部品や加工が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

■テレビにビデオ入力(映像・音声)端子がないとき

●本機と接続することはできません。

■DVD の映像をより高画質で楽しむとき

●テレビにコンポーネントビデオ入力端子やD映像入力端子があるときは、DVD の映像をより高画質でお楽しみいただけます。(プログレッシブ出力) (➜16)

【お願い / ヒント】

●ここでは、テレビのスピーカーを使って音声を聞く場合を説明しています。

●音声端子が1つしかない(モノラル)テレビをお使いのときは、ステレオ⟷モノラルの映像·音声コード(別売)をお使いください。(➜61)

時刻表示を確かめる

1	電源コンセントに接続したあと、 本体表示窓の現在時刻が合っているか、 **確かめる**
2	間違っていたら、 **合わせ直す(➜33)**

【お願い / ヒント】

●本機は時刻を合わせて工場出荷されています。自動バックアップ機能(➜ 下記)で時刻を記憶していますので、通常は時刻合わせをする必要はありません。

●ただし、以下のときは時刻を合わせ直してください。(➜33)

・誤差が 2 分以上あるとき

・時刻表示が“0:00”で点滅しているとき



■自動バックアップ機能について

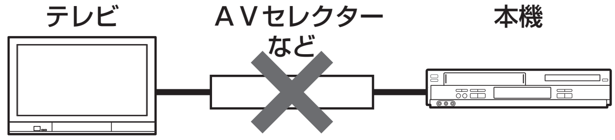
●工場出荷時より約 5 年間は時刻を記憶しています。

●設定した受信チャンネルや、予約内容も記憶しています。

●停電に対応しています。

●2 分以内の誤差を自動修正する自動時刻合わせ機能を働かせると、より正確な時刻になります。(➜33)

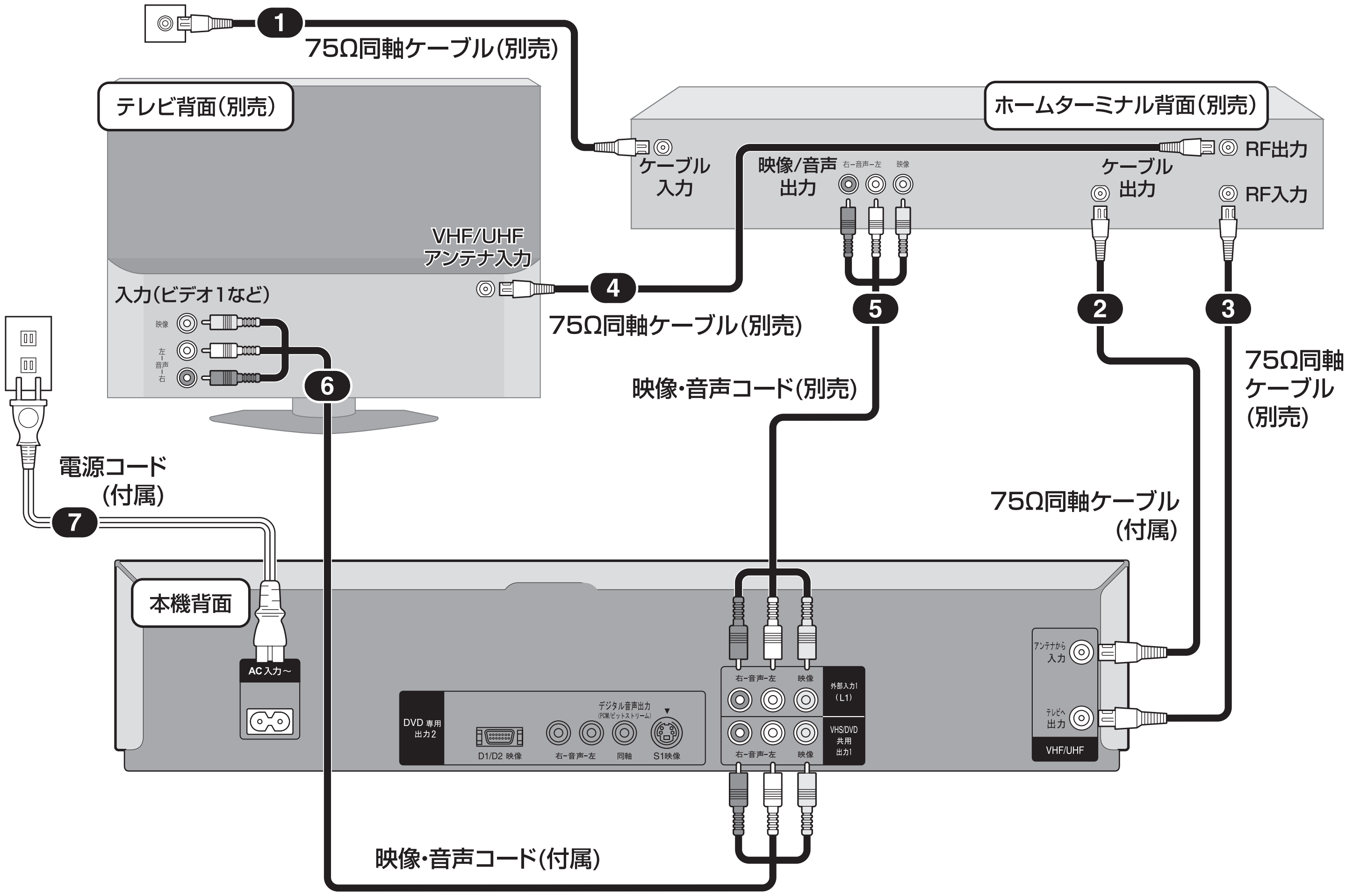
●本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。
AV セレクターなどを経由させて接続すると、著作権保護の影響により、DVD 再生時に映像が乱れることがあります。



CATV ホームターミナル、テレビと接続する

❶ から ❼ の順で接続してください。

準備 ●各機器の電源を切っておく。
（接続は乾いた手で行ってください）

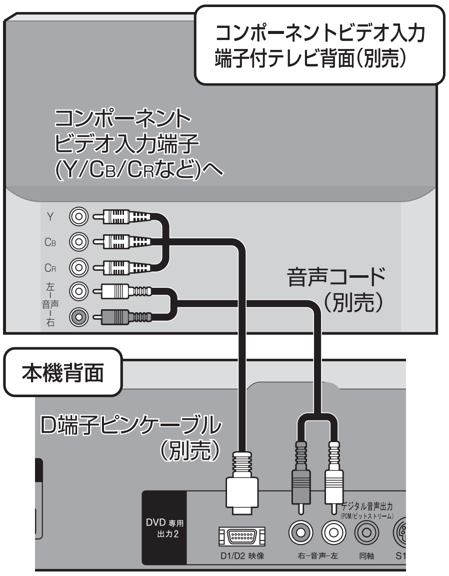


【お願い / ヒント】
- 手順 3：ホームターミナルに RF 入力端子がないときは、本機の VHF/UHF テレビへ出力端子から、直接テレビの VHF/UHF アンテナ入力端子に接続してください。（この場合、手順 4 は不要です）
- 手順 4：ホームターミナルに RF 出力端子があるときは、この接続をしてください。
- CATV 放送をご覧になるには、CATV 会社との受信契約が必要です。
- CATV 会社と新たに受信契約をされたときは、CATV 会社が接続してくれます。
- コピーガードやスクランブルのかかった有料番組を見たり録画したりするには、専用のホームターミナル（アダプター）（別売）が必要です。
- CATV 放送の受信は、サービスエリア内のみ可能です。
詳しくは、CATV 会社にご相談ください。
- マニュアルチャンネル設定を正しく行ってください。(➔20)
特に、各チャンネルのガイドチャンネルを設定しておかないと、G コード予約ができません。
- ホームターミナルやCATV専用のチューナーなどを本機のリモコンで操作することはできません。

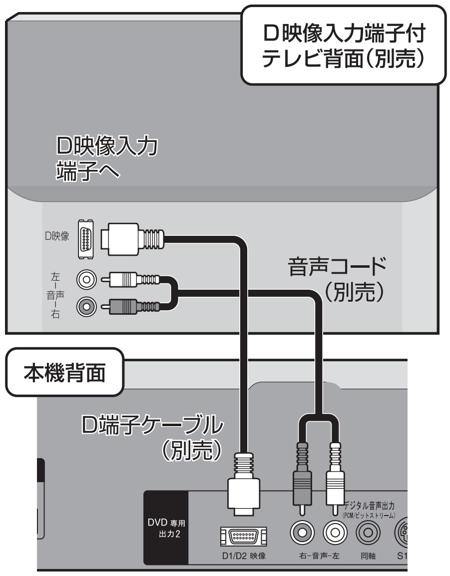
DVD の映像をより高画質で楽しむ（プログレッシブ出力）

テレビにコンポーネントビデオ入力端子または D 映像入力端子があるときは、① または ② の接続をすると、DVD の映像をプログレッシブ出力することができます。また、テレビに S 映像入力端子があるときは、③ S 映像コード（別売）を接続すると、映像端子を使うよりも高画質でお楽しみいただけます。（ただし ③ の場合はプログレッシブ出力にはなりません）

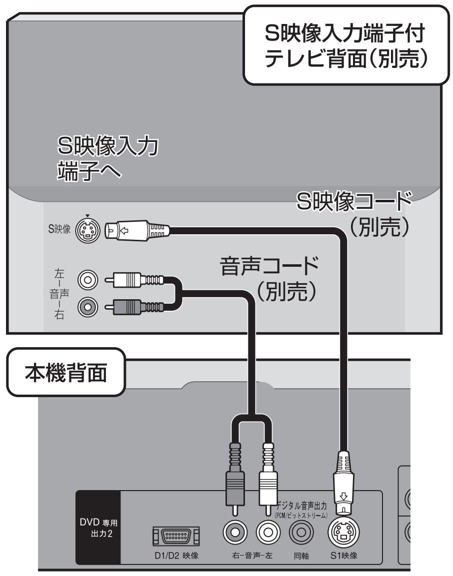
① コンポーネントビデオ入力端子と接続する



② D 映像入力端子と接続する



③ S 映像入力端子と接続する



■ テレビにコンポーネントビデオ入力端子があるとき（DVD 専用出力）

① D 端子ピンケーブル（別売）と音声コード（別売）を接続する

- D 端子ピンケーブルだけでは音声は出ません。必ず音声コードも接続してください。
- コンポーネントビデオ入力端子の表示が上図と異なるとき（Y/CB/CR や、Y/B-Y/R-Y など）は、同じ色の端子どうしを接続してください。
- 映像が乱れたり、映らないことがありますので、テレビが以下のような端子のときは接続しないでください。
  - ・DVD に対応していないハイビジョン方式専用の端子
  - ・DVD のマクロビジョン社のコピーガードシステムに対応していない 525p 端子
  - ・ビデオカセットレコーダーのビデオ入力端子
- GUI 画面の「ビデオ出力モード」を「525p」に設定してください。**(➜46)**

■ テレビに D 映像入力端子があるとき（DVD 専用出力）

② D 端子ケーブル（別売）と音声コード（別売）を接続する

- D 端子ケーブルだけでは音声は出ません。必ず音声コードも接続してください。
- テレビが D1 映像入力のみ対応している端子のときは、プログレッシブ出力で映像を楽しむことはできません。
  （インターレース映像のみの出力となります）
- GUI 画面の「ビデオ出力モード」を「525p」に設定してください。**(➜46)**

■ テレビに S 映像入力端子があるとき（DVD 専用出力）

③ S 映像コード（別売）と音声コード（別売）を接続する

- S 映像コードだけでは音声は出ません。必ず音声コードも接続してください。

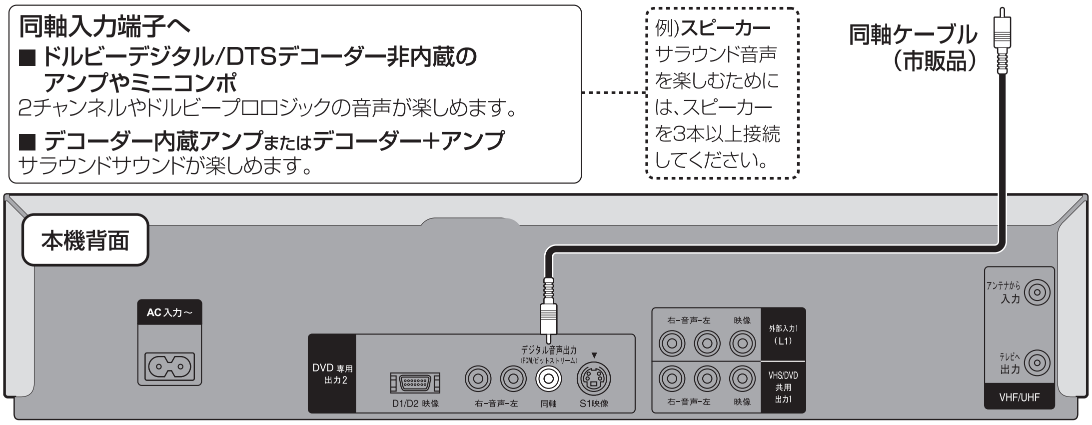
① ～ ③ の接続は DVD 再生専用です。

これだけでは VHS の映像は映りません。必ず 14 ページの接続も行ってください。

- また、この接続をした場合、VHS と DVD それぞれの映像をご覧いただくには、テレビ側で接続した入力に切り換えてください。

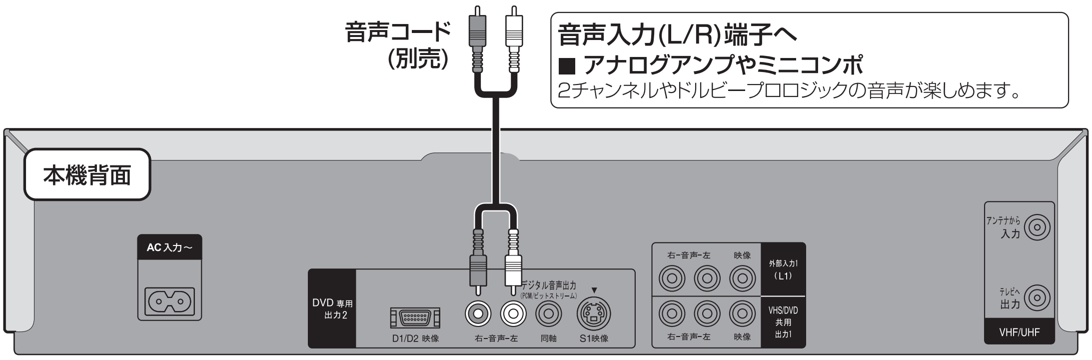
アンプなどと接続する

アンプの同軸入力に接続する(デジタル接続)



●DVDビデオに対応していないDTSデコーダーは使用できません。

アンプの音声入力に接続する(アナログ接続)



【お願い / ヒント】

●初期設定の「音声」の設定が必要です。(➜51 ～ 52)

正しい接続について

VHS 側の映像や音声がうまくテレビから出ない場合は、以下のことをご確認ください。

■ VHS 側を再生すると、映像も音声も出ない

映像・音声コードを、本機のDVD専用出力2端子に接続していないか確かめてください。(➜14,16)

➜ 本機の VHS/DVD 共用出力1(映像・音声)端子に接続し直してください。

■VHS 側を再生すると、音声は聞こえるが映像が出ない

テレビのビデオ入力1(入力2)端子に、以下のコードを同時に接続していないか確かめてください。(➜16)

●VHS/DVD 共用出力1端子に接続した映像・音声コード

●DVD 専用出力 2(S1 映像)端子に接続した S 映像コード

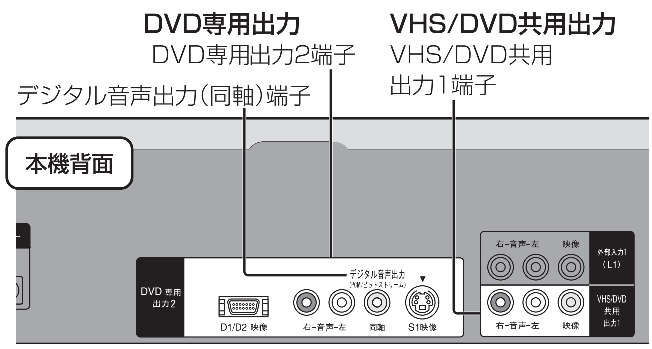
➜S映像コードを、テレビのS映像入力端子から抜いてください。

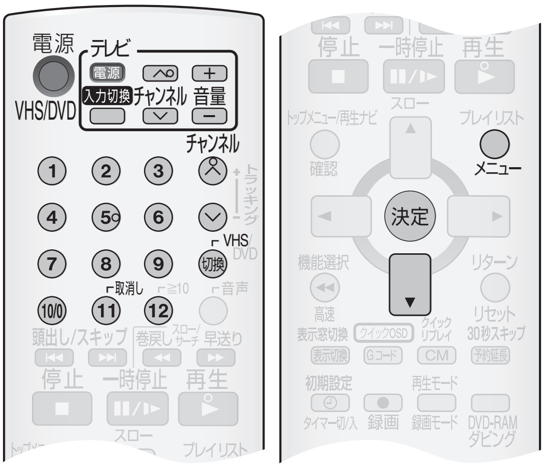
■VHS/DVD 共用出力端子と DVD 専用出力端子について

VHS と DVD の両方を出力する共用出力端子と、DVD のみを出力する専用出力端子があります。

●VHS/DVD 共用出力 1 端子は、VHS と DVD の出力を切り換えることができます。
　また、再生を始めた側の出力に自動的に切り換えることができます。

●DVD 専用出力 2 端子は、DVD のみ出力できます。





テレビを操作できるようにする
（テレビメーカー設定）

本機のリモコンでテレビの操作ができるようにします。

準備 ●テレビの電源を入れる。

1



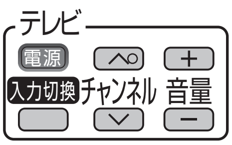
メーカー番号を合わせる

[テレビ電源]を押しながら、[1]～[10/0]を押す

●メーカー番号は、2けたで入力してください。
例）01の場合…[10/0]→[1]
10の場合…[1]→[10/0]

メーカー名	番号	メーカー名	番号
松下	01, 10, 22, 23, 24	パイオニア	13
アイワ	18	ビクター	14
ＮＥＣ	06, 15	日立	05, 20
三洋	07, 16	富士通ゼネラル	09
シャープ	02, 11, 21	フナイ	19
ソニー	03, 17	三菱	08, 12
東芝	04		

2



正しく操作できるか

確かめる

テレビの電源を入れ、チャンネルを切り換えたり音量を調節してみてください。

【お願い / ヒント】
- 複数の番号を持つメーカーは、正しく操作できる方の番号に合わせてください。
- 正しく操作できないときは、テレビに付属のリモコンで操作してください。
- リモコンの電池が完全に消耗し、長期間放置したままになっていると、設定はすべて消えます。
- [1]～[12]を使ってテレビのチャンネル操作はできません。テレビのチャンネルを変更したいときは、テレビ操作部の[∧∨チャンネル]をお使いください。

テレビに本機の画面を出す

テレビに本機の画面が映るか確かめてください。
VHSやDVDの映像を見るときも、下記の操作を行ってください。

1



テレビの入力をビデオ入力にする

数回押す



●例えば、テレビのビデオ1端子に接続しているときは、「**ビデオ１**」にするなど、本機を接続した入力に切り換えてください。

2



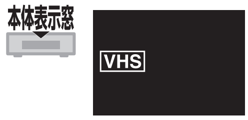
電源を入れる

押す

3

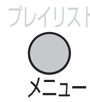


押す



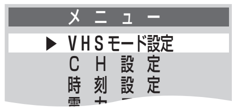
●本体表示窓に[VHS]が表示されていることを確認します。
表示されていなければもう一度[**VHS/DVD切換**]を押してください。

4



本機の画面が映っているか確かめる

押す



●図のようなメニュー画面がテレビに表示されていれば、本機の画面が映っていることになります。
●または録画済みのカセットを再生してみてください。(➜21)

■メニュー画面を消す
[**メニュー**]を押す。

【お願い / ヒント】
- DVDの映像を見るときは、[**VHS/DVD切換**]を押し、本体表示窓に[DVD]が表示されていることを確認します。



市外局番でチャンネルを合わせる
（市外局番入力チャンネル設定）

お使いになる地域の市外局番を使って、受信チャンネルを設定します。

準備
- アンテナが正しく接続されているか確かめる。
- テレビに本機の画面を出す。(➜18)
- [VHS/DVD 切換] を押して、本体表示窓に [VHS] を表示させる。(➜12)

	ボタン	操作
1	プレイリスト / メニュー	**押す** テレビ画面 （メニュー ▶VHSモード設定 CH 設定 時刻設定）
2	（▲▼◀▶ 決定）	[▼] で「CH 設定」を選び、**[決定] を押す**
3	決定	「市外局番入力ＣＨ設定」が選ばれている状態で、**押す** （CH 設定 ▶市外局番入力ＣＨ設定 マニュアルＣＨ設定）
4	① 〜 ⑩/0	お住まいの都市、またはその都市に近い市外局番を入力する（市外局番入力チャンネル設定一覧表：➜64）**押す** （市外局番入力CH設定 市外局番を入力してください 03−−−−） ●市外局番に変更があったときでも、一覧表の番号を入力してください。 ●間違えたときは、[取消し] を押して、再度入力してください。
5	決定	**押す** （TEL 03 CH: 10） ●オートサーチが始まります。(約1分間)
6	チャンネル ∧ ∨ または ① 〜 ⑫	オートサーチが終わったら、すべてきれいに受信できているか、チャンネルを切り換えて確かめる **数回押す** ●[1]〜[12]は、市外局番入力チャンネル設定一覧表(➜64)にあるチャンネルポジション 1 〜 12 の放送局を直接選ぶことができます。

【お願い / ヒント】
- 実際に受信できなかったチャンネルはとばされます。
- 新たに受信できたチャンネルは、チャンネルポジション 13 〜 20 に追加登録されます。
- 設定される各放送局の受信･表示･ガイドチャンネル一覧については、市外局番入力チャンネル設定一覧表(➜64)をご覧ください。

■最初から設定し直したいとき
手順4で、[10/0] を6回押し、「000000」と入力して [決定] を押すと、本機のチューナーが工場出荷時の状態に戻ります。
- ガイドチャンネルはすべてのチャンネルで設定されていませんので、このままでは G コード予約はできません。

■同じ放送局が複数のチャンネルポジションに設定されているとき
必ず映りの悪い方のチャンネルを削除してください。(➜20)

■受信できるチャンネルがとばされていたり、映りの悪いチャンネルがあるとき
マニュアルチャンネル設定(➜20)で、必要な設定を行ってください。

自分でチャンネルを合わせる
（マニュアルチャンネル設定）

市外局番入力チャンネル設定で正しく設定されなかったときや、きれいに映るはずのチャンネルがとばされているとき、選局の順番を入れ替えたいとき、ガイドチャンネルが設定されていないときなどに操作します。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜18)
- [VHS/DVD 切換] を押して、本体表示窓に [VHS] を表示させる。(➜12)

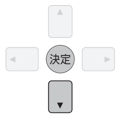
1



押す

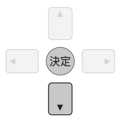


2

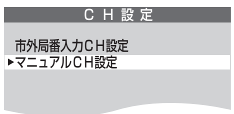


[▼] で「CH 設定」を選び、
[決定] を押す

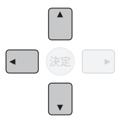
3



[▼] で「マニュアル C H 設定」を選び、
[決定] を押す



4

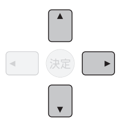


[◀] で「P0」を選び、
放送局を登録させたい位置(チャンネルポジション)を選ぶ
[▲][▼] を数回押す



P0:チャンネルポジション

5



[▶] で各項目を選び、設定する(➜ 下記)
[▲][▼] を押す

- 押し続けると 10 ずつ変わります。
- このあと、[決定] を押すと、次のチャンネルポジションに進み、次の放送局の登録ができます。

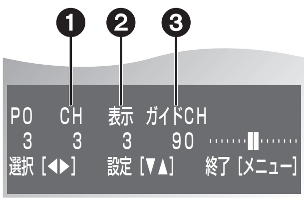
6



押す

■各項目の設定について

例) 東京でチャンネルポジション「3」に NHK 教育テレビを登録する



❶ **CH**:希望の放送局が映るようにする
【例では「3」に合わせる】
放送局から実際の電波を受信します。新聞･雑誌などに載っているチャンネルとは違う数字になる地域もあります。

❷ **表示**:受信した放送局の表示を決める(チャンネル番号)
【例では「3」に合わせる】
決めた数字は、本体表示窓やテレビ画面に表示され、かんたん画面予約を行うときもこの数字でチャンネルを合わせます。新聞･雑誌などに載っているチャンネル数字にしておくと選びやすくなります。実際の受信チャンネルとは違う数字 / 表示になる地域もあります。

❸ **ガイド CH**:G コード予約ができるようにする
【例では「90」に合わせる】
ガイドチャンネルは各放送局ごとに決まっています。市外局番入力チャンネル設定一覧表(➜64)の「ガイドCH」の項目にある数字に合わせてください。合わせていないと G コード予約できません。

【お願い / ヒント】
- チャンネルポジションは、[▲] を押すごとに右記のように変わります。([▼] を押すと逆方向)
  - ･拡張チャンネルは、将来のシステムに対応するもので、現在は使えません。

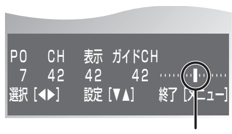
VHF/UHFチャンネル(P0)
↓
CATVチャンネル(CH)
↓
外部入力チャンネル(入力)
↓
拡張チャンネル(P0)

■不要なチャンネルを削除するときは

削除したい放送局が入っているチャンネルポジションを選んで、[取消し] を押す。

■映りの悪いチャンネルを微調整するときは

1. 微調整したい放送局が入っているチャンネルポジションを選ぶ。
2. [◀][▶] で“微調整バー”を点滅させ、[▲][▼]のどちらかを数回押す。
   - 色がついていないとき…[▲]
   - しま模様が出るとき……[▼]
   (“▮”にすると、元の状態に戻ります)
   - 受信状態によっては、調整しきれないことがあります。



微調整バー

■CATV のときは

[▲][▼] のどちらかを押して表示を出す。
例) “C −−”→“C13”
- “C −−”になっていると受信できません。

■ガイドチャンネルについて

CATV によっては、BS 放送を VHF/UHF チャンネルに置き換えて放送しているところがあります。このときは、G コード予約するためのガイドチャンネルを以下の表のとおり合わせてください。

放送局名	受信チャンネル	ガイドチャンネル
	BS 1	71
	BS 3	72
WOWOW	BS 5	73
NHK 衛星第 1	BS 7	74
ハイビジョン放送	BS 9	75
NHK 衛星第 2	BS11	76
	BS13	77
	BS15	78



再生する前に

本機は、VHS と DVD の両方を再生できます。
VHS を操作する前は、本体表示窓に [VHS] が表示されていることを確認してください。(➜ 下記)
表示されていない場合は、**[VHS/DVD 切換]** を 1 回押し、[VHS] を表示させます。

●VHS 側が選ばれているとき

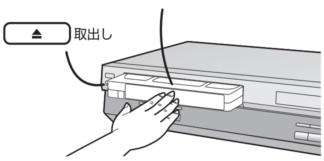


●DVD 側が選ばれているとき

【お願い / ヒント】
見たい側が操作できない場合は、リモコンを本体の受信部へ向けてから **[VHS/DVD 切換]** を押し直してください。

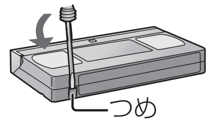
カセットを入れる

1 **テープが見える面を上にして、**
ゆっくり入れる
●自動的に電源が入ります。

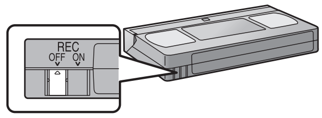


■取り出す
【本体】
[▲ 取出し] を押す。
【リモコン】
[停止 ■] を約 3 秒以上押す。

■録画済みの番組を誤って消さないために
●誤消去防止用の「つめ」を折ってください。
●再び録画できるようにするには、折ったところにセロハンテープを二重にはってください。(「つめ」の代わりになります)



●誤消去防止つまみタイプのカセットは、つまみをスライドさせて"OFF"にしてください。"ON"に戻すと、再び録画できます。カセットの説明書もよくお読みください。



再生する

準備 ●録画済みのカセットを入れる。**(➜ 左記)**
●テレビに本機の画面を出す。**(➜18)**
● **[VHS/DVD 切換]** を押して、本体表示窓に [VHS] を表示させる。**(➜12)**

1 再生 ▶ **押す**

■再生をやめる
[停止 ■] を押す。

早送り(巻き戻し)する

1 巻戻し ◀◀ スロー/サーチ 早送り ▶▶
停止中に、
押す

機能選択 ◀◀ 高速
■高速で巻き戻しする(高速リターン)
押す
●テープカウンター表示は出ません。

【お願い / ヒント】
●誤消去防止用の「つめ」の折れた、または誤消去防止つまみが"OFF"になっているカセットを入れると、自動的に再生を始めます。
●カセットが入っているときは、電源が切れていても、**[再生▶]** を押すだけで再生を始めます。
●テープの終わりまで早送りすると、自動的に停止します。
●5 倍モードで録画されたカセットの再生時は、トラッキングが自動調整されるまでに多少時間がかかることがあります。
また、カセットによっては自動調整できないこともあります。このときは、手動でトラッキングを調整してください。**(➜23)**
●早送り(巻き戻し)は高速で行うため、動作音が大きくなります。また、**[停止 ■]** を押しても、テープ保護のため止まるまで時間がかかります。

■高速リターンについて
●始端まで巻き戻すと、テープカウンターは"0:00"になります。
●途中で停止しても、テープカウンターの値は正しく表示されません。

■SQPB(S-VHS 簡易再生)機能について
(SQPB= S-VHS(エスブイエッチエス) Quasi(クワジ) Playback(プレイバック))
●S-VHS 方式で録画された S-VHS カセットも再生することができます。ただし、S-VHS 本来の高画質にはなりません。
●デジタル(D-VHS)方式で録画された D-VHS カセットは再生できません。

いろいろな再生

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜18)
●**[VHS/DVD 切換]** を押して、本体表示窓に [VHS] を表示させる。(➜12)

早送り(巻き戻し)しながら見る

1

巻戻し スロー/サーチ 早送り

再生中に、
押し続ける
●指を離すと通常再生に戻ります。

または

巻戻し スロー/サーチ 早送り

再生中に、
短く押す
●指を離しても早送り(巻き戻し)再生を続けます。

さらに、速度を切り換えたいときは
同じ方向のボタンをもう一度
押す
●押すごとに、
標準のとき:
約 9 倍速⟷約 13 倍速
3 倍·5 倍のとき:
約 11 倍速⟷約 50 倍速
と変わります。

■**通常再生に戻す**
[**再生 ▶**] を押す。

【お願い / ヒント】
●音声は出ません。
●13 倍速(50 倍速)時に映像が乱れるときは、9 倍速(11 倍速)に切り換えてご覧ください。
●5 倍モードで録画された部分は、50 倍速にするとブルーバック画面になり、映像を見ることはできません。
●約 10 分以上続けたときは、テープとヘッド保護のため、通常再生に戻ります。

静止画·スローで見る

1

一時停止 ❚❚/❚▶ スロー

■**静止画再生**
再生中に、
短く押す
■**スロー再生**
再生中に、
約 2 秒以上押し続ける

■**通常再生に戻す**
[**再生 ▶**] を押す。
●静止画再生のときは、もう一度 [**一時停止 / スロー❚❚/❚▶**] を押しても、通常再生に戻ります。

【お願い / ヒント】
●音声は出ません。
●5 倍モードで録画された部分では画面が乱れます。
●静止画再生を約5分以上、スロー再生を約10分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。

番組を繰り返し見る(自動巻戻し再生)

同じ番組を繰り返して見ることができます。

1

再生 ▶

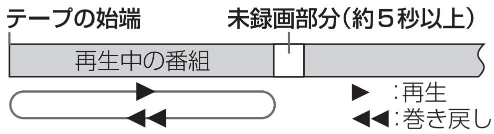
再生中に、



5秒以上
押す
●この機能は解除するまで働き続けます。

■**解除する**
もう一度、[**再生 ▶**] を押す。
●停止、早送り、巻き戻し、一時停止などの操作をしても解除されます。

【お願い / ヒント】
●番組の終わりに未録画部分が約 5 秒以上あるときに、正しく働きます。(未録画部分がない、または短かすぎると、次の番組まで再生されてしまいます)



●再生中の番組よりも前の部分に、約 5 秒以上の未録画部分があるときは、テープの始端からその部分までを繰り返して再生します。
●テープの始端に未録画部分が約 5 秒以上あるときは、録画部分まで早送り再生し、そのあと再生します。

CM を早送りして見る(自動 CM 早送り再生)

CM を自動的に早送りして再生できます。

1

クイックリプレイ CM

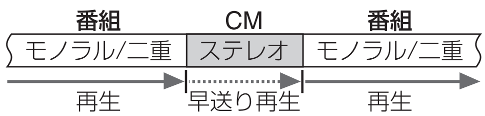
再生前または再生中に、
押す



●CM 中に押したときは、その CM の間は正しく働きません。

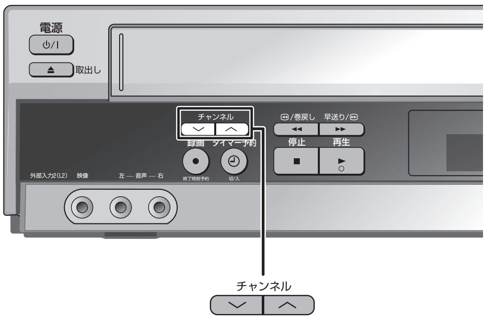
■**解除する**
[CM] を押し、"自動 CM 早送り 切" を表示させる。
●電源を切っても解除されます。

■**自動 CM 早送り再生について**
●番組がモノラル放送または二重放送(2 カ国語放送など)で、CM がステレオ放送のときに正しく働きます。
(CM の前後が少し切れた状態で再生されます)



●次のようなときは正しく働きません。
·番組がステレオ放送のとき(CM も通常どおり再生されます)
·CM がモノラル放送または二重放送のとき
·CM 以外でも、音声がモノラルや二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
·本機、または当社の同機能付きビデオで録画していないカセットを再生するとき
·外部入力録画したカセットを再生するとき





きれいに再生できないとき

再生画面にノイズが出るときは、次の３つの要素が考えられます。

①**トラッキングがずれている**
（白い帯状のノイズが出るときなど）



②**ビデオヘッドが汚れている**
（画面全体にノイズが出るときなど）



③**テープがいたんでいる**
ビデオヘッドが汚れるだけでなく、故障の原因となる恐れがあります。テープがいたんでいるカセットは使わないでください。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜18)
- [**VHS/DVD 切換**] を押して、本体表示窓に [VHS] を表示させる。(➜12)

① トラッキングを調整する

通常は自動調整されていますので、操作の必要はありませんが、別のビデオで録画されたカセットを再生するとずれやすくなります。

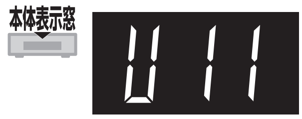
1 チャンネル（トラッキング ＋／－）

再生中に、
どちらかを押し続ける
- ノイズが消えるまで押し続けてください。
- **トラッキング**[+][－]を同時に押すと、自動調整に戻ります。

【お願い / ヒント】
- 調整しすぎると、ハイファイ音声がノーマル音声に変わることがあります。
- テープによっては、調整しきれないことがあります。
- 静止画、スロー再生中のノイズを消したいときは、一度スロー再生にして、その状態でトラッキング調整を行ってください。
- 本体の**チャンネル** [∨][∧] でも調整できます。

② ビデオヘッドをクリーニングする

再生中、本体表示窓に"U11"が表示されたときは、ビデオヘッドの汚れが考えられます。



またこのとき、テレビ画面には右図のような表示が出ます。



1 録画

乾式のビデオヘッドクリーナー（別売）を入れ、
約 10 秒間録画する
- 約10秒後に [**停止■**] を押してください。
- このあと、録画済みのカセットを入れて再生してみてください。

【お願い / ヒント】
- 3 回繰り返し行っても効果がないときは、販売店にご相談ください。

静止画面が上下にゆれるとき

静止画面の上下のゆれは、垂直同期を調整すると止まることがあります。

1 チャンネル（トラッキング ＋／－）

静止画再生中に、
どちらかを押し続ける
- ゆれが止まるまで押し続けてください。
- **チャンネル** [∧][∨] を同時に押すと、元の状態に戻ります。

【お願い / ヒント】
- 本体の**チャンネル** [∨][∧] でも調整できます。
- テレビの垂直同期も調整してみてください。（テレビの説明書をご覧になるか、お買い上げの販売店にご相談ください）

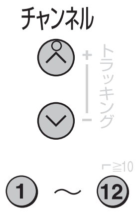
再生／録画

録画する

テレビ番組を録画する

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜18)**
- **[VHS/DVD 切換]** を押して、本体表示窓に [VHS] を表示させる。**(➜12)**
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。**(➜21)**

1



チャンネルを選ぶ

押す

- 本体の**チャンネル [∨][∧]** でも選べます。

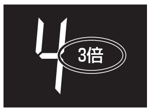


2



録画モードを選ぶ

数回押す

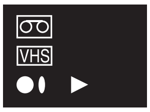


標準:
カセットに表示されている時間の録画ができます。
3倍:
標準に対して3倍の録画ができます。
5倍:
標準に対して5倍の録画ができます。

3



押す

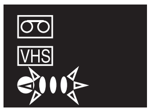


さらに録画中に…



■一時停止したい

押す



- もう一度押すと録画を続けます。
[●録画] を押しても再開できます。



■CM をとばして録画したい
(CM カット録画)

押す

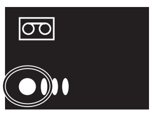


- CM 中に押したときは、その CM の間はとばすことができません。

■録画をやめる

[停止 ■] を押す。

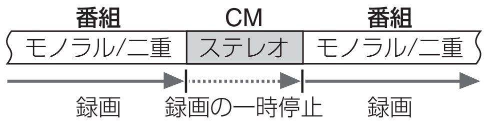
【お願い / ヒント】
- 本体表示窓の録画･ダビング表示は、VHS の録画中やダビング中に点灯します。また録画を停止せずに DVD 側に切り換えても、録画･ダビング表示は点灯し続けます。



【お願い / ヒント】
- 録画中にチャンネルを変えることはできません。
（録画の一時停止中は変えることができます）
- 録画の一時停止を 5 分以上続けると、テープとヘッド保護のため停止します。

■5 倍モードについて
- 録画を始めたあとの約 8 秒間、本体表示窓の“ 5倍 ”が点滅します。
- 本機で 5 倍モードで録画したカセットは、他のビデオでは再生できません。カセットのラベルに「5 倍」と記入するなどして、区別されることをおすすめします。
- 他のビデオで再生したり保存を目的とするときは、標準モードで録画することをおすすめします。

■CM カット録画について
- 番組がモノラル放送または二重放送（2 カ国語放送など）で、CM がステレオ放送のときに正しく働きます。
（CM の前後が少し切れた状態で録画されます）



- 次のようなときは、正しく働きません。
･番組がステレオ放送のとき
･CM がモノラル放送または二重放送のとき（このようなときは、次の CM からは CM カットは働きません）
･CM 以外でも、音声がモノラル放送や二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
･外部入力チャンネルを録画するとき

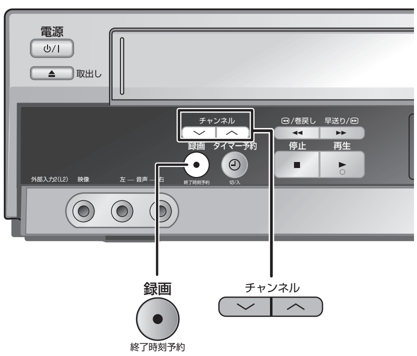
CM カットを解除する

もう一度、**[CM]** を押し、「CM カット切」表示を出す。
- 電源を切ったとき、録画の一時停止にしたときも解除されます。

録画中に DVD を再生する

VHS の録画中に、DVD の再生をお楽しみいただけます。
(➜34)
- 録画に影響はありません。





録画中にテレビで別番組を見る

録画中に、テレビで別のチャンネルの番組を見ることができます。

●録画に影響はありません。

●予約録画中もこの手順でテレビ番組を見ることができます。

1	入力切換	**テレビが受信しているチャンネルに切り換える** **数回押す**
2	チャンネル	**見たいチャンネルを選ぶ** **押す**

終了時刻だけを予約して録画する
（終了時刻予約録画）

指定した時刻になると自動的に録画をやめ、電源を切ります。

●急なお出かけの際や、おやすみになる前などに、簡単な予約録画としてお使いください。

1 【本体】 **録画中に、** **押す**



●本体表示窓に“－－：－－”が表示されます。

2 **続けて数回押す**

●30分単位で録画終了時刻が変わります。

●最大 2 時間先まで予約できます。

●本体表示窓は以下のように表示されます。



録画終了時刻

■解除する

本体の [**録画● / 終了時刻予約**] を数回押し、録画終了時刻を“－－：－－”にする。

●終了時刻予約録画は解除されますが、録画は続けられます。

【お願い / ヒント】

●リモコンの [**●録画**] では働きません。

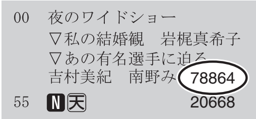
●予約録画（G コード予約やかんたん画面予約）中は働きません。

予約録画する

Ｇコード® で予約する（Ｇコード予約）

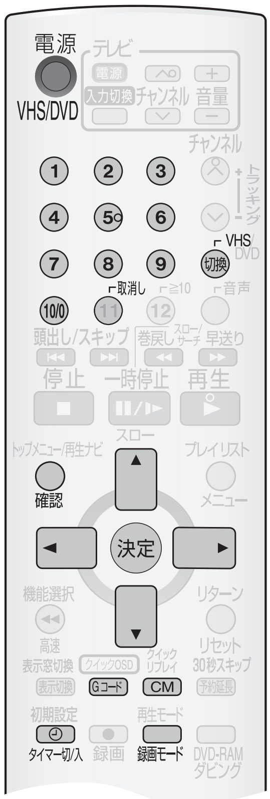
予約したい番組のＧコード® を入力するだけで予約できます。
- 1 カ月以内の番組を最大 16 番組まで予約できます。
（毎日･毎週予約は 1 番組として数えます）

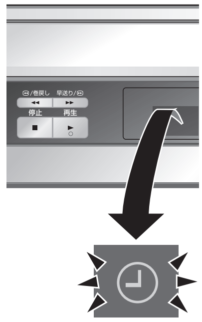
Ｇコード® とは
テレビ番組欄で、各番組に付けられている数字のことです。（最大８けた）



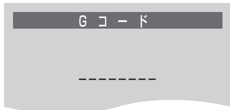
予約を正しく行うために
- ガイドチャンネルを正しく設定してください。複数のチャンネルポジションに同じガイドチャンネルが設定されていると、正しく予約できません。不要なチャンネルを削除してください。

準備
- テレビに本機の画面を出す。（➜18）
- [VHS/DVD 切換] を押して、本体表示窓に [VHS] を表示させる。（➜12）
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。（➜21）





1 [クイックOSD / Gコード] **押す** テレビ画面



2 [1] ～ [10/0] **Ｇコード® を入れる**
- 間違えたときは、**[取消し]** を押し、入れ直してください。

3 [決定] **押す**



予約録画の待機状態になりますが、自動的に電源は切れません
- テレビ画面に予約内容が出ている間（約 14 秒）は、録画モード、CM カット予約を設定したり、録画日、チャンネル、録画時刻を変更することができます。
- 予約録画待機中でも、DVD の再生をお楽しみいただけます。

■**録画モードを選びたい**

[再生モード / 録画モード] **数回押す**



- “標準”、“3倍”、“5倍”、“標3（標準3倍、**➜28**）”から選びます。

■**CM をとばして録画したい（CM カット予約）**

[クイックリプレイ / CM] **押す**



- “✂”を表示させます。（**➜24**）

■**録画日、チャンネル、録画時刻を変更したい**

[◀] [▶] を数回押して予約項目を選び、[▲] [▼] を数回押す
- 野球放送などの延長に備えて、終了時刻を延長したりできます。
- 録画日は、毎日･毎週予約へのみ変更できます。（**➜27**）

4 **DVD の再生をしないときは、電源を切る**
[電源 VHS/DVD] **押す**

■**予約を追加する**
手順 1 ～ 3 を繰り返す。（予約待機状態でも予約できます）

■**予約を修正する**
予約録画の待機状態になったあとに、予約内容を修正できます。（**➜28**）

■**「CH」の項目が“G ーー”（点滅）になっているとき**
予約したチャンネルのガイドチャンネルが正しくありません。このときは、**[▲] [▼]** で予約したいチャンネルに合わせ、**[決定]** を押してください。予約が完了し、ガイドチャンネルも設定されます。



■**予約した番組が野球中継延長などで遅れたり、予定より延長されたとき**
Ｇコード予約は、番組開始･終了の予定時刻で予約するため、このようなときは番組の最初から最後までを録画することはできません。
ただし、前もって終了時刻を延長しておくことはできます。
（➜ 左記）

【お願い / ヒント】
- テレビ画面に“予約ミス”と表示されたときは、設定が間違っています。もう一度最初から予約し直してください。
- カセットを入れずに予約した場合は本体表示窓の“⏲”と“📼”が数秒間点滅し、予約録画できません。カセットを入れて、**[⏲タイマー切 / 入]** を押してください。
- Ｇコード予約した番組は、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。

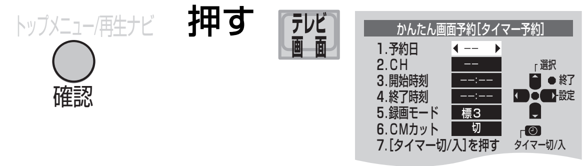
G コード® なしで予約する（かんたん画面予約）

録画したい番組の予約日、予約チャンネル、開始時刻、終了時刻などをご自分で設定して予約します。

- 1 カ月以内の番組を最大 16 番組まで予約できます。（毎日･毎週予約は 1 番組として数えます）

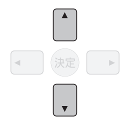
準備
- テレビに本機の画面を出す。(➔18)
- [VHS/DVD 切換] を押して、本体表示窓に [VHS] を表示させる。(➔12)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➔21)

1



押す

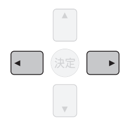
2



予約項目を選ぶ

[▲][▼] を押す

- **予約項目：**
  予約日、CH（予約チャンネル）、開始時刻、終了時刻、録画モード、CM カット



各項目を設定する

[◀][▶] を押す

- 録画モードは、**[録画モード]** を押しても設定することができます。
- CMカットは **[CM]** を押しても設定することができます。

3



押す

予約録画の待機状態になりますが、自動的に電源は切れません
- 予約録画待機中でも、DVD の再生をお楽しみいただけます。

4



DVD の再生をしないときは、電源を切る

押す

■予約を追加する
手順 1 ～ 3 を繰り返す。（予約待機状態でも予約できます）

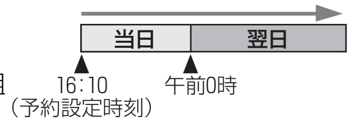
■予約録画をすぐに始めたいとき
予約チャンネルと**終了時刻**だけ合わせて [◴**タイマー切 / 入**] を押すと、終了時刻までの予約録画を始めます。

■予約を修正する
予約録画の待機状態になったあとに、予約内容を修正できます。(➔28)

【お願い / ヒント】
- カセットを入れずに予約した場合は、本体表示窓の "◴" と "[カセット]" が数秒間点滅し、予約録画できません。カセットを入れて、[◴**タイマー切 / 入**] を押してください。

■予約日（曜日 / 日）の変わりかた
[▶] 側を押すごとに、
→**当日** *1 → **1 カ月以内**→**毎日**→**毎週**と変わります。
（[◀] 側を押すと逆方向）

*1 予約を設定した時刻から、午前 0 時までに始まる番組を予約します。



- 毎日･毎週予約をしたときは、予約録画終了後も予約内容は消去されません。

■予約チャンネルの変わりかた
[▶] 側を押すごと（[◀] 側を押すと逆方向）に、
→**設定されたチャンネル** *2 →**外部入力**と変わります。

*2 チャンネル設定(➔19,20)で本機に設定されたチャンネルのことです。

■開始時刻 / 終了時刻の変わりかた
- 押し続けると、30 分単位で変わります。
- 時刻は 24 時間表示です。

■CM カットについて
「入」か「切」かを選びます。
詳しくは(➔24)

■録画モードについて
- "標準"、"3 倍"、"5 倍"、"標 3" から選びます。
- 最初は、本体の現在の録画モードによって、以下のように表示されます。
  ･本体が「標準」のとき→ **"標 3"（標準 3 倍）**(➔28)
  ･本体が「3 倍」のとき→ **"3 倍"**
  ･本体が「5 倍」のとき→ **"5 倍"**

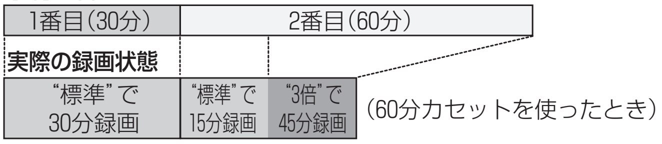
【お願い / ヒント】
- 予約録画の待機状態に入る前に、テープ残量も表示されます。
  テープ残量は、その時点の本体の録画モード（ 標準、3 倍または 5 倍）で計算されます。ただし、カセットを入れた直後など、残量計算されていないときは表示されません。
  そのあと、予約録画の待機状態になります。
  （本体表示窓に "◴" が表示されます）
- 本体表示窓に "FULL" と表示されたときは、すでに 16 番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。(➔28)
- 予約録画の待機中はカセットを取り出すことはできません。カセットを入れ替えたいときは、一度、予約録画を解除し(➔29)、交換後、再度 [◴ **タイマー切 / 入**] を押して予約録画の待機状態にしてください。
- 電源を入れたまま予約録画が実行されると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。

予約録画の便利機能

標準3倍について(ぴったり録画)

[録画モード] で"標3"(標準3倍)を選ぶと、標準モードで予約録画を始め、途中でテープ残量が足りなくなってくると、自動的に3倍モードに切り換えて番組の最後まで録画します。

- ●テープ残量よりも長い番組の予約録画中に、1番組ごとに働きます。
  例)2番目の番組の途中から3倍モードで録画



- ●番組の最初から3倍モードで録画してもテープが足りないときは、番組の最後まで録画できません。
- ●5倍モードでは働きません。
- ●以下のときは正しく働かないことがあります。
  - ・「VHSモード設定」の「テープ長さ」を正しく合わせていないとき
  - ・品質の悪いカセットを使ったとき

予約内容を確認する･取り消す･修正する

予約済みの内容をテレビ画面で確認･取り消し･修正することができます。

- ●電源が入っているとき、または予約録画の待機状態で操作してください。

準備
- ●テレビに本機の画面を出す。(➜18)
- ●**[VHS/DVD切換]** を押して、本体表示窓に [VHS] を表示させる。(➜12)

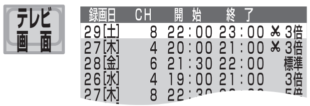
確認する･取り消す

1

トップメニュー/再生ナビ
確認

予約一覧画面を表示させる

2回押す



- ●テレビ画面に予約一覧画面が表示されます。

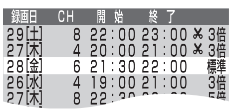
2

さらに、取り消したいときは…

トップメニュー/再生ナビ
確認

取り消したい予約内容を選ぶ

数回押す



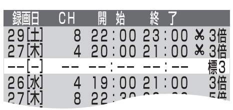
- ●押すごとに、
  1つ下の予約内容が選ばれます。
- ●[▲][▼] でも選べます。

3

取消し
11

予約内容を取り消す

押す



- ●予約が取り消されます。

■**予約一覧画面を消す**

[メニュー] を押す。

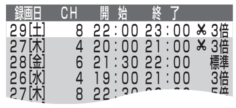
修正する

1

トップメニュー/再生ナビ
確認

予約一覧画面を表示させる

2回押す



- ●テレビ画面に予約一覧画面が表示されます。

2

トップメニュー/再生ナビ
確認

修正したい予約内容を選ぶ

数回押す



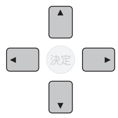
- ●押すごとに、
  1つ下の予約内容が選ばれます。
- ●[▲][▼] でも選べます。

3

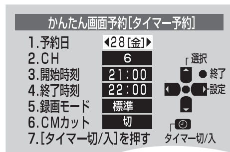
決定

押す

4



修正する
(➜27)



5

初期設定
タイマー切/入

押す

予約録画中の番組の終了時刻を延長する

準備
- ●**[VHS/DVD切換]** を押して、本体表示窓に [VHS] を表示させる。(➜12)

1

30秒スキップ
予約延長

予約録画中に、

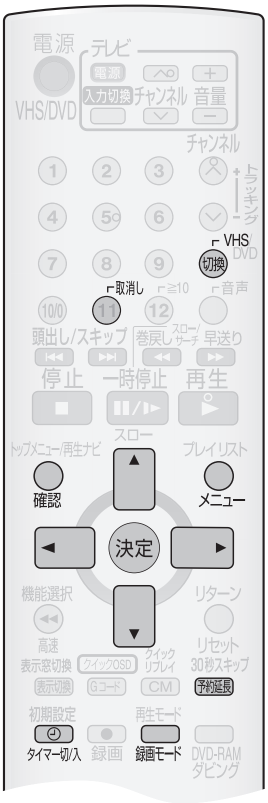
数回押す

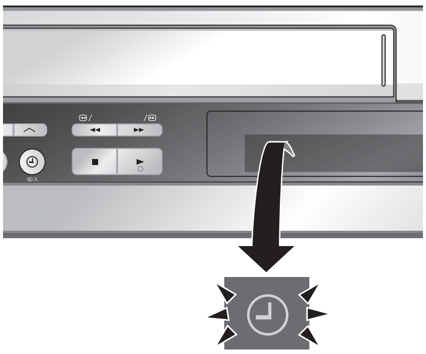


- ●押すごとに延長される時間が変わります。
  +15分→ +30分→ +45分→ +1時間→
  +1時間30分→ +2時間→延長しない

【お願い/ヒント】

- ●終了時刻を延長したために、別の番組予約が重なったときは、先に予約録画の始まった番組の予約が優先されます。
- ●予約延長の操作中に現在時刻が予約録画終了時刻になっても、予約延長の操作をやめるまでは、そのまま録画を続けます。





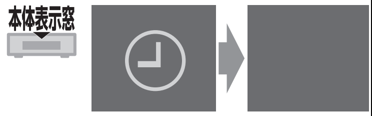
予約録画を解除する

予約録画の待機中に、カセットの入れ替えや再生などをしたいときは、予約録画を解除する必要があります。
また、始まった予約録画を途中でやめることができます。

準備 ● [VHS/DVD 切換] を押して、本体表示窓に [VHS] を表示させる。(➜12)

予約録画の待機を一時解除する

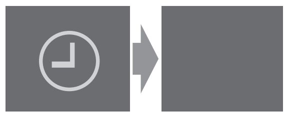
1 初期設定 タイマー切/入 **押す**



●本体表示窓の"◴"が消え、電源が入ったときの状態になります。
●もう一度押すと元の状態に戻ります。

予約録画を途中でやめる

1 初期設定 タイマー切/入 予約録画中に、**押す**



●録画をやめ、電源が入ったときの状態になります。

【お願い / ヒント】
●予約録画の待機状態にしておかないと、予約録画は実行されません。
●予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度 [◴ **タイマー切 / 入**] を押すと予約録画が再開されます。

■予約録画待機中・実行中の本機の動作について

予約録画の待機中・実行中は本体表示窓に"◴"が表示されます。
予約録画の待機中・実行中に再生など他の操作をしたいときは、予約録画を解除する必要があります。(➜ 上記)
解除せずに操作しようとすると"◴"が点滅します。



1 番組単位で頭出しする

本機で録画すると、録画の開始点で自動的に頭出し信号が記録されます。これを使って録画を始めたところを頭出しすることができます。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(→18)
- [VHS/DVD 切換] を押して、本体表示窓に [VHS] を表示させる。(→12)

1

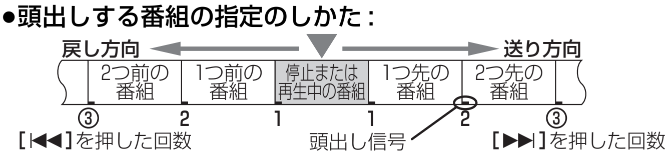


数回押す

早送り方向…[▶▶|] 巻戻し方向…[|◀◀]
- 早送り(巻き戻し)を始め、番組を探します。



【お願い / ヒント】
- **頭出しする番組の指定のしかた：**



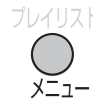
- 最大 20 番組先(前)までの番組が指定できます。
- ボタンを押しすぎたときは、反対方向のボタンを押してください。
- 以下のときに、頭出し信号が記録されます。
  - ･[●録画]、[録画●/終了時刻予約]を押して録画を始めたとき。(録画の一時停止を解除して録画を再開したときは記録されません)
  - ･予約録画が始まったとき。
  - ･録画中に、リモコンの [●録画] を押したとき。
- 次のときは、正しく探せないことがあります。
  - ･頭出し信号どうしの間隔が短いとき。録画は約 15 分(5 倍モード時は約 25 分)以上行ってください。

カセットの録画内容をすべて消す (テープリフレッシュ)

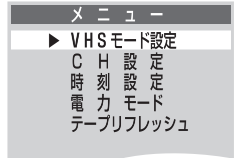
この操作をすると映像、音声はすべて消え、元に戻すことができません。消してよいかよく確かめてから行ってください。
- テープが新しくなるわけではありません。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(→18)
- [VHS/DVD 切換] を押して、本体表示窓に [VHS] を表示させる。(→12)
- テープリフレッシュしたいカセットを入れる。

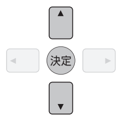
1



押す

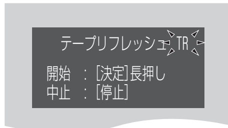


2



[▲][▼] で「テープリフレッシュ」を選び、

[決定] を押す



3



"TR"点滅中に、もう一度

2 秒以上押す



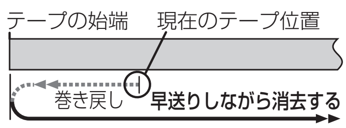
- テープリフレッシュが始まります。

■**途中でやめる**

[停止 ■] を押す。
- 止めたところまでは消去されています。

■**テープリフレッシュの動作**

1. テープを始端まで巻き戻す。
2. 早送りしながら、録画された内容を消去していく。
3. 終端まで消去すると、始端まで巻き戻して停止する。



- 120 分カセットで約 21 分かかります。(目安です)
- 誤消去防止用の「つめ」を折り取っているカセット、または誤消去防止つまみが「OFF」になっているカセットはテープリフレッシュできません。

【お願い / ヒント】
- 本機以外で予約録画したカセットにテープリフレッシュを行うと、テープに記録されている予約録画情報などはすべて消え、元に戻すことができません。(当社製プログラムナビ機能付ビデオも含む)
- 「VHS モード設定」の「テープ長さ」(→33)を正しく合わせておかないと、テープの残り時間が正しく表示されません。
- テープリフレッシュしたあとに再生動作をしたとき、テープカウンターの数字が動くことがありますが、そのまま新しく番組などを録画しても影響ありません。

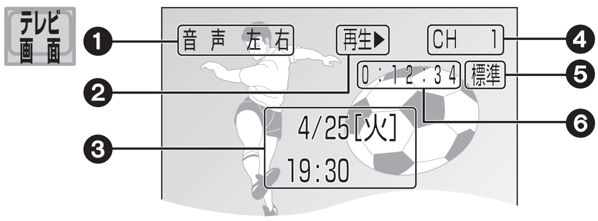
画面表示・音声切換

VHS

画面表示について(オンスクリーン)

操作したときに、テレビ画面に操作内容や本機の動作状態などを約 5 秒間表示します。

■画面表示の一例



❶ **音声(➜ 右記)/ 自動 CM 早送り(➜22)**
❷ **動作表示**: 再生、早送りなど、本機の動作状態。
❸ **日付 / 現在時刻表示(➜ 下記)**
❹ **チャンネル表示**: チャンネル切換時、録画開始時。
❺ **録画モード表示**: 録画開始時、テープ残量表示時など。
❻ **テープカウンター/ テープ残量表示(➜ 下記)**

【お願い / ヒント】
- 次のようなときは、オンスクリーン表示は出ません。
  - ・静止画、スロー再生中
  - ・「VHSモード設定」の「オンスクリーン」を「切」にしているとき(**➜33**)
- テレビによっては、オンスクリーン表示が横ゆれしたり、乱れたりすることがあります。また、本機の動作が切り換わるときにも乱れることがあります。

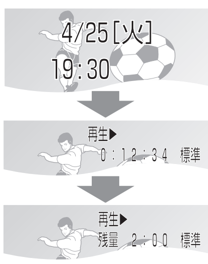
時刻、テープカウンター、テープ残量を確かめる

合わせて本体表示窓の表示も変わります。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(**➜18**)
- **[VHS/DVD 切換]** を押して、本体表示窓に [VHS] を表示させる。(**➜12**)

1 表示窓切換 表示切換 **数回押す**

- 5 秒以内に押すごとに、右図のように表示が切り換わります。
- ボタンを押して5秒以上たつと自動的に消えます。



日付/現在時刻表示

テープカウンター表示

テープ残量表示

【お願い / ヒント】
- 自動時刻合わせ機能(**➜33**)が働いているときは、秒まで表示されます。
- テープカウンター表示になっているときに **[リセット]** を押すと、テレビ画面の値が "0:00:00" (本体表示窓は "0:00") になります。

■テープ残量表示について

- 表示は目安です。
- カセットを入れた直後などは表示されません。テープ残量表示にすると、すぐに計算を始めます。多少時間がかかることがあります。
- 次のときは、正しい表示になりません。
  - ・「 VHS モード設定」の「テープ長さ」(**➜33**)を正しく合わせていないとき
  - ・品質の悪いカセットを使ったとき

音声の種類を切り換える

テレビ番組の受信、または再生中の音声を切り換えることができます。
- 再生中の音声がステレオ放送のときは「ステレオ」音声が、二重放送のときは「主音声」が自動的に選ばれます。(2 カ国語オート再生)

準備
- テレビに本機の画面を出す。(**➜18**)
- **[VHS/DVD 切換]** を押して、本体表示窓に [VHS] を表示させる。(**➜12**)

1 音声

聞きたい音声を選ぶ
数回押す
- 押すごとに切り換わります。

■ テレビ放送受信中

ステレオ放送:
ステレオ音声 → 左音声 → 右音声

二重放送(2 カ国語放送など):
主音声+副音声 → 主音声 → 副音声

モノラル放送
(外部入力チャンネルも含む):
左音声+右音声 → 左音声 → 右音声

■ 録画したテレビ番組の再生中

ステレオの番組:
ステレオ音声 → 左音声 → 右音声 → ノーマル音声(左+右)

二重音声の番組(2 カ国語など):
主音声+副音声 → 主音声 → 副音声 → ノーマル音声(主音声)

モノラルの番組:
左音声+右音声 → 左音声 → 右音声 → ノーマル音声(モノラル)

【お願い / ヒント】
- 電源を切るまで、選ばれた音声のままになります。
- 選んだ音声だけを録音することはできません。
- 録画中に音声を切り換えても、録音される音声には影響はありません。
- 次のときは音声を選ぶことができません。
  - ・ノーマル音声しか記録されていないカセットの再生中
  - ・"dc" チャンネルを選んでいるとき(**➜55**)

■2 カ国語オート再生機能について

次のようなときは、2 カ国語オート再生機能は働きません。
- ・本機または当社の同機能付きビデオで録画していない番組を再生中
- ・外部入力録画または "dc" チャンネル(**➜55**)で録画したカセットを再生中
- ・**[音声]** を押して、音声を選んだあと(選んだ音声を本機が記憶しているためです。一度電源を切ると、この機能は働くようになります)
- ・番組の途中から再生を始めたとき
  この機能が、記録されている音声の切り換わりなどをもとに働いているためです。このときは **[音声]** で音声を選んでください。

便利機能

設定を変える

いろいろな項目の設定を変える
（VHS モード設定 / 電力モード設定）

使う条件に合わせて、いろいろな項目を変えることができます。（VHS モード設定）
不要な電力の消費をおさえることができます。（電力モード設定）

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜18)
- [VHS/DVD 切換] を押して、本体表示窓に [VHS] を表示させる。(➜12)

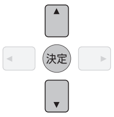


1 押す

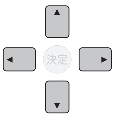


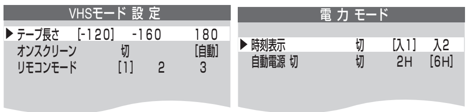


2 [▲][▼]で「VHSモード設定」または「電力モード」を選び、
[決定] を押す



3 設定したい項目を選ぶ
[▲][▼] を押す
設定を変える
[◀][▶] を押す





ＶＨＳモード設定　電力モード設定

4 押す

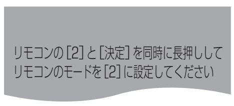


■複数の当社製ビデオを使うとき（リモコンモード）

複数の当社製ビデオを同じ場所でお使いの方は、機種別にリモコンモードを変えておくと別々に操作できます。
- 当社製ビデオのほとんどが共通したリモコン方式のため、再生などの操作をすると、本機以外の別のビデオにも影響してしまいます。このときは、リモコンモードを変えてください。

本体のモードを変える

1 上記手順で、リモコンモード「1」「2」「3」のいずれかを選ぶ。
2 [メニュー] を押す。
- テレビ画面に右図のような表示が出ます。



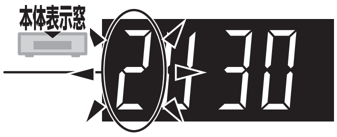
リモコンのモードを変える

3 [決定] を押しながら、[1] [2] [3] のいずれかを約 2 秒以上押し続ける。
- [1] [2] [3] は、手順2でテレビ画面に表示されたモードと同じ番号を押してください。

4 [メニュー] を押す。
- テレビ画面の表示 (➜ 上図) が消え、設定を終了します。

■操作できずに、本体表示窓に下図のような表示が出るとき

本体のリモコンモード番号（例は「2」）



- 本体とリモコンのリモコンモードが合っていないので、操作できません。リモコン側のモードを本体に合わせてください。
- 複数の当社製ビデオを同じ場所でお使いのとき、本機を操作すると別のビデオに上図のような表示が出ることがあります。このとき別のビデオが録画中や予約録画の待機状態などになっていても影響はありません。この表示は約 3 秒間表示され、そのあと元の状態に戻ります。

【お願い / ヒント】
- 通常は工場出荷時のまま「リモコンモード 1 」でお使いください。（当社製ビデオが本機しかないときなど）
- この設定は当社製ビデオが複数台あるときのみ働きます。当社製 DVD プレーヤーや DVD プレーヤー一体型ビデオの DVD 側、テレビに対しては働きません。当社製 DVD レコーダーをお持ちの方で、同じ場所で本機をお使いの場合は、DVD レコーダー側のリモコンモードを変えてください。

VHS モード設定

テープ長さ

▶ **－ 120(工場出荷時)**
T120(120 分)、TC20(VHS C・20 分)カセットや、それより短いものを使うとき。

▶ **－ 160**
T140(140分)、T160(160分)、TC30(VHS C・30分)カセットを使うとき。

▶ **180**
T180(180 分)カセットや、それより長いものを使うとき。
●D VHS カセットのときは、どの位置に設定してもテープ残量が正しく表示されません。

オンスクリーン

▶ **切**
テレビ画面に表示を出さないようにするとき。

▶ **自動(工場出荷時)**
操作をしたときなどに、約5秒間だけテレビ画面に表示を出すとき。

リモコンモード

▶ **1(工場出荷時)**
通常はこの位置。

▶ **2**
複数の当社製ビデオを同じ場所で使うとき。

▶ **3**
複数の当社製ビデオを同じ場所で使うとき。

電力モード

時刻表示

▶ **切**
電源「切」時に本体表示窓の表示をすべて消すとき。
●電源「切」時の消費電力を約1.1ワットにすることができます。
●何も表示されていないときでも、**[表示切換]**で時刻表示を確かめたり、予約録画の待機中は **[確認]** で予約内容を確かめたりすることはできます。

▶ **入 1(工場出荷時)**
電源「切」時に、本体表示窓に現在時刻を暗く表示するとき。

▶ **入 2**
電源「切」時に、本体表示窓に現在時刻を明るく表示するとき。

自動電源　切

▶ **切**
「自動電源 切」機能を働かせないとき。

▶ **2H**
約2時間以上何も操作をしなかったときに、自動的に電源を切るとき。

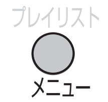
▶ **6H(工場出荷時)**
約6時間以上何も操作をしなかったときに、自動的に電源を切るとき。
●続き再生メモリー機能(➜35)動作中は働きません。

時刻を合わせ直す(時刻設定)

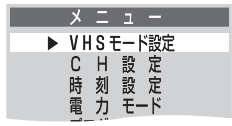
時刻が合っていないときは、合わせ直してください。

準備
●テレビに本機の画面を出す。(➜18)
●[VHS/DVD 切換]を押して、本体表示窓に[VHS]を表示させる。(➜12)

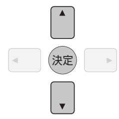
1



押す テレビ画面



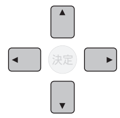
2



[▲][▼] で「時刻設定」を選び、
[決定] を押す



3



設定したい項目を選ぶ
[◀][▶]を押す



合っていないところで、修正する
[▲][▼] を押す

■時刻設定画面を消す

[メニュー] を押す。

■設定項目について

時刻:
●24 時間表示です。
●[▲][▼] を押し続けると 30 分単位で変わります。

自動時刻 CH:
●NHK 教育テレビに合わせておくことをおすすめします。表示チャンネルで合わせてください。

年:
●西暦 1988 ～ 2087 年までです。

■自動時刻合わせ機能について

●毎日、昼の 12 時に本機が電源「切」状態であれば、NHK 教育テレビの時報が放送されるかどうかを確認します。そのときに時報が放送されると、それに合わせて誤差を自動修正しますが、誤差が2分以上あるときは、時計を合わせ直してください。
●「自動時刻チャンネル」を「自動」にすると、本機が自動的に NHK 教育テレビを探し出します。地域により、探し出すまでに数週間かかることもありますので、あらかじめご自分で NHK 教育テレビに合わせておくことをおすすめします。
●自動時刻合わせ機能は、NHK 教育テレビの時報を利用しています。正規の時報以外に番組の中で時報が放送されると、"時報"と誤って検出し、正しい時刻に設定されません。時刻表示の誤差が 2 分以上あるときは、時刻設定で正しい時刻に合わせ直してください。
●次のようなときは働きません。
・「自動時刻チャンネル」を「――」にしているとき。
(自動時刻合わせ機能が働いていない状態)
・時報が放送される時刻に電源が入っているとき。
・時報のバックに音楽が流れているとき。
・「ポッポッポッポーン」の「ポーン」のみの時報のとき。
●電源コードを抜いたあとや停電したあとなどは、自動時刻合わせ機能が働いていない状態になります。

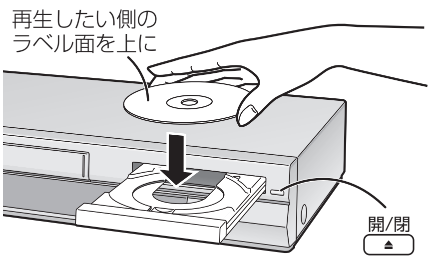
DVD の再生

再生する

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜18)
●[VHS/DVD 切換] を押して、本体表示窓に [DVD] を表示させる。(➜12)

1 開/閉 ⏏ 【本体】 ディスクトレイを開ける **押す**

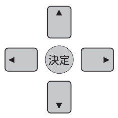
2 **ディスクを 置く**

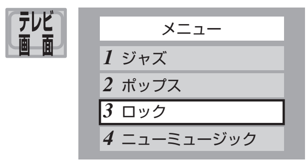


3 再生 ▶ **押す**

■ **メニュー画面が表示されたとき** DVD-V VCD
[▲][▼][◀][▶] で項目を選び、

[決定] を押す



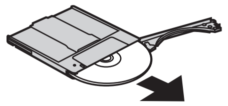


●数字ボタンで選べるディスクもあります。
例） 3 の場合…[3]
10 の場合…[≧ 10] → [1] → [10/0]
25 の場合…[≧ 10] → [2] → [5]
●メニュー画面に戻すときは、下記のボタンを押してください。
DVD-V :**[トップメニュー]**(最初のメニュー画面)
DVD-V :**[メニュー]**(メニュー画面)
VCD :**[リターン]**

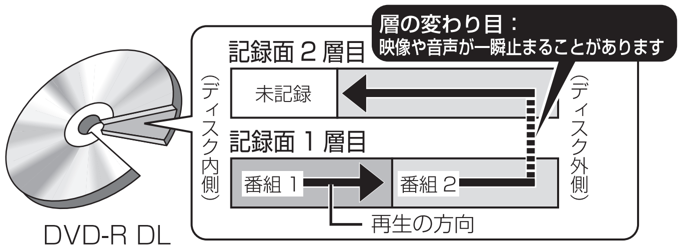
CD (CD テキストのみ) MP3 WMA
●メニュー画面を使って再生するとより便利に操作できます。(➜44)

VCD
●本体表示窓に"PLAY"が表示されている場合は、プレイバックコントロール (➜60) が働いています。
●プレイバックコントロールが働いているときは、続き再生メモリー機能は働きません。
●[停止 ■] を押してから数字ボタンを押すと、プレイバックコントロールが解除されて再生が始まります。
●[停止 ■] を押してから**[メニュー]**を押すと、プレイバックコントロールが働いた状態になります。

【お願い / ヒント】
●見たい側が操作できない場合は、リモコンを本体の受信部へ向けてから、[VHS/DVD 切換] を押し直してください。
●カートリッジ付きディスクは取り出してください。ディスクに付属の説明書もお読みください。



●DVD-R DL ディスクは、下図のように記録面が片面に 2 層あります。1 層目に収まりきらなかった番組は、引き続き 2 層目に記録され、2つの層にまたがって記録されます(➜下図「番組 2」)。このような番組を本機で再生する場合、層の切り換えは本機が自動的に行いますので、通常の番組と同じく全編をとおして再生できますが、層の変わり目で映像や音声が一瞬止まることがあります。



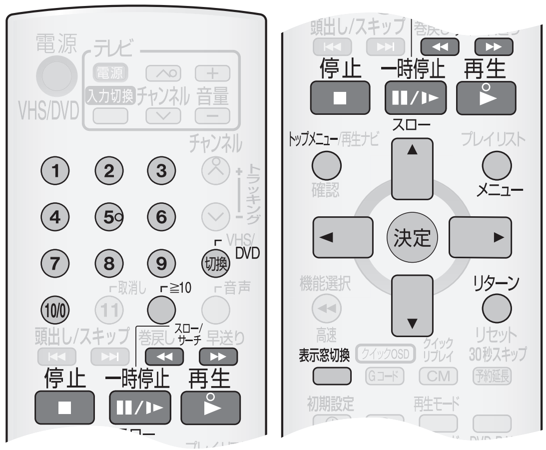
●ディスクによっては、メニュー画面や映像･音声が出るまで時間がかかることがあります。
●本体にディスクが入っているときに電源を入れると、自動的にディスクが回転し始めます。ディスクによっては自動的に再生を始めることがあります。
●テレビ画面に"再生できないディスクです。"または本体表示窓に"noPLAY"が表示されて再生できないときは、ディスクの信号面に指紋やほこりなどの汚れが付いていることが考えられます。ディスクを水を含ませた柔らかい布でふいてください。(➜10)
●+R/+RW では、総タイトル数が正しく表示されないことがあります。
●ボタン操作中、テレビ画面に"⊘"(禁止)マークが表示されたときは、その操作がディスクまたは本機で禁止されているためできません。
●ファイナライズが必要なディスクは、ファイナライズされていないと再生できません。(➜8)

■本体表示窓の表示を切り換える

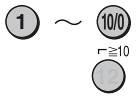
[表示窓切換] を押す。
●番号表示⟷経過時間表示
●ディスクによっては働かない場合があります。

■画面サイズの調節について

4:3(標準)サイズのソフトを 16:9(ワイド)テレビで見ると、画面サイズが合っていないため、映像が左右に引き伸ばされるように映ることがあります。
このような場合は、
●**テレビ側で画面サイズを調節できる場合:**
テレビ側の機能で調節してください。
(テレビの説明書をお読みください)
●**テレビ側で画面サイズを調節できない場合:**
「4：3アスペクト」を「ノーマル」以外に設定してください。(➜49)



タイトル(トラック)の番号を直接選ぶ

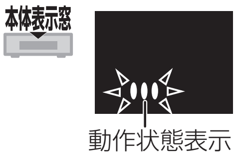
1	 押す 例） 3の場合…[3] 10の場合…[≧10]→[1]→[10/0] 25の場合…[≧10]→[2]→[5] ●選んだタイトル(トラック)の再生が始まります。 VCD (プレイバックコントロール付き) 停止中にこの方法で項目を選ぶと、メニュー再生が解除されます。 MP3 WMA JPEG MPEG4 例） 16の場合…[1]→[6]→[決定]または[再生▶]

【お願い / ヒント】
- 停止中のみ働くディスクもあります。
- ディスクや再生状態によっては働かないことがあります。

■再生をやめる

[停止 ■]を押す。

表示窓の動作状態表示が点滅し、停止位置が記憶されます。(電源を切 / 入しても記憶は残ります)



- 動作状態表示が点滅中に[再生 ▶]を押すと、停止位置から再生が始まります。
  (続き再生メモリー機能)
- 動作状態表示が点滅中に[停止 ■]を押すと、停止位置は消去されます。
- ディスクトレイを開けると、停止位置は消去されます。
- VCD プレイバックコントロール(➜60)が働いているときは、続き再生メモリー機能は働きません。

■ディスクを取り出すとき

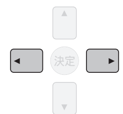
[開 / 閉 ⏏]を押す。
- ディスクトレイが出てきます。
- 電源が切れていても取り出せます。

【お願い / ヒント】
- メニュー画面表示中は、ディスクが回り続けています。本体のモーター保護と、テレビ画面の焼き付き等を防止するため、再生しないときは、[停止 ■]を押し、停止させてください。
- MPEG4 作りかたによっては働かない場合があります。

いろいろな再生

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜18)
- [VHS/DVD切換]を押して、本体表示窓に[DVD]を表示させる。(➜12)

静止画(一時停止)・スロー・コマ送り(戻し)で見る

1		**■静止画(一時停止)** 再生中に、 **押す** ●静止(一時停止)中でもディスクは回り続けています。
		**■コマ送り(戻し)再生** (MPEG4 以外の動画に働きます) 静止中に、 **押す** [◀]…戻る(DVD-VR DVD-V のみ) [▶]…進む
		**■スロー再生** (MPEG4 以外の動画に働きます) 静止中に、 **押す** [◀◀]… 戻る(DVD-VR DVD-V のみ) [▶▶]…進む ●押すごとに速度が速くなります。(5段階)

■通常再生に戻す

[再生 ▶]を押す。

■コマ送り(戻し)再生について
- 送り方向のみ、[一時停止 / スロー❚❚/❚▶]を押してもコマ送りできます。
- 押すごとに1コマずつ送り(戻し)ます。
- 押し続けると、連続してコマ送り(戻し)します。

早送り(早戻し)再生する

動画時に働きます。
(MPEG4 音声は再生されません)

1		再生中に、 **押す** ●押すごとに、または押し続けると速度が速くなります。(5段階)

■通常再生に戻す

[再生 ▶]を押す。

【お願い / ヒント】
- DVD-VR DVD-V VCD 早送り・最低速時のみ音声が聞こえます。
- MPEG4 作りかたによっては働かない場合があります。

基本再生

いろいろな再生(つづき)

繰り返し再生する(リピート再生)

経過時間表示の出るディスクのみ働きます。

1 GUI 画面を表示する
再生中に、
押す

2 [▲][▼] で「その他の設定」を選び、
[▶] を押す

3 [▲][▼] で「再生メニュー」を選び、
[▶] を押す

4 「リピート」を選び、
[▶] を押す

5 [▲][▼] で繰り返す項目を選び、
[決定] を押す

以下の項目から選びます。

DVD-VR	・切・プログラム ・オール (ディスク全体) **プレイリスト再生中のときは、** ・切 ・シーン[*1] ・プレイリスト[*1]
DVD-V	・切 ・チャプター・タイトル[*2]
VCD CD	・切 ・トラック ・オール (ディスク全体)
MP3 WMA MPEG4	・切 ・コンテンツ・グループ[*2]
JPEG	・切 ・グループ[*2]

[*1] プレイリストの再生(➜45)
[*2] プログラム / ランダム再生(➜42) 時は“オール” と表示されます。
HighMAT™規格に準拠して記録されたディスクでは、“切”/“コンテンツ”/“グループ” が表示されます。

■好みのチャプター/トラックを繰り返して再生するとき
チャプター/ トラックをプログラム再生(➜42)中に、“オール” を選ぶ。

【お願い / ヒント】
- 一部の DVD ではできないことがあります。
- タイトルが2つ以上あるDVDは、ディスク全体を繰り返すことはできません。

DVD-VR (DVD-RAM のみ) DVD-V MP3 WMA JPEG MPEG4
- ディスク全体、および DVD-RAM の全プレイリストのリピート再生は選ぶことができません。

指定した 2 点間を繰り返す(A-B リピート)

(JPEG MPEG4 や、DVD-VR 静止画部分では働きません)
同一タイトル(トラック)内で、お好みの 2 点(A 点と B 点)を選んで、その 2 点間を繰り返し再生することができます。

1 GUI 画面を表示する
再生中に、
押す

2 [▲][▼] で「その他の設定」を選び、
[▶] を押す

3 [▲][▼] で「再生メニュー」を選び、
[▶]を押す

4 「A-Bリピート」を選ぶ
押す

5 開始位置 (A 点)を選ぶ
押す

6 終了位置 (B 点)を選ぶ
押す
- A − B 間の繰り返し再生が始まります。

■A-B リピートをやめる
[決定] を押して、“＊＊” を表示させる。

■GUI 画面を消す
[**機能選択**] または [**リターン**] を押す。

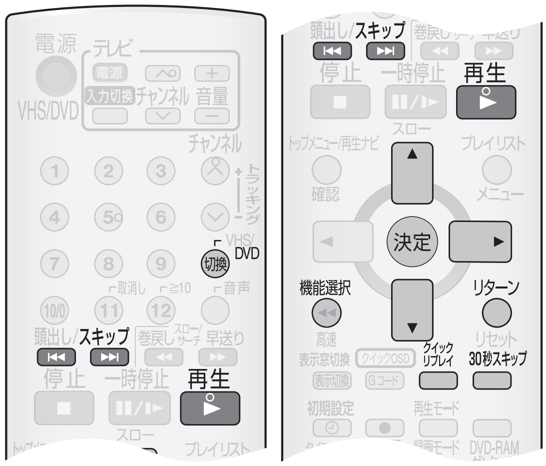
【お願い / ヒント】
- 一部の DVD ではできないことがあります。
- 終了位置(B 点)を指定する前に、タイトル(トラック)が終了したときは、タイトル(トラック)の終了点が B 点となります。
- 字幕が出るDVDの場合、A-B間の前後の字幕は表示されないことがあります。
- A-B リピート中に [**クイックリプレイ**] を押すと解除されます。(➜ 下記)

見逃したシーンをもう一度見る(クイックリプレイ)

(JPEG MPEG4 や、+R/+RW の DVD-V では働きません)

1 再生中に、
押す
- 押すごとに、約 7 〜 10 秒戻って再生します。

【お願い / ヒント】
- 戻る時間は、ディスクの記録状態によって変わります。
- ディスクまたは再生している場所によっては、戻る秒数が変わったり、機能が働かないこともあります。



早見(遅見)・早聞き(遅聞き)再生する

動画に働きます。
(VCD MPEG4 には働きません)
映画のせりふなどを、早聞きしたり、遅く再生してしっかり聞き取りたいときに再生速度を微調整できます。

1	機能選択 高速	GUI 画面を表示する 再生中に、 **押す** (機能選択 タイトル 1/1 チャプター 2/17 その他の設定)
2		[▲][▼] で「その他の設定」を選び、 **[▶] を押す** (再生速度 ノーマル / AVエンハンサー 切 / 再生メニュー)
3		「再生速度」を選び、 **[▶] を押す** (再生速度 ノーマル / AVエンハンサー 切 / 再生メニュー / 画質メニュー ／ x1.4 x1.3 x1.2 x1.1 ✓ノーマル x0.9 x0.8 x0.7 x0.6)
4	決定	[▲][▼] で項目を選び、 **[決定] を押す** 「x1.4 ～ x1.1」、 「ノーマル」、 「x0.9 ～ x0.6」から選ぶ

■通常再生に戻す

[再生 ▶] を押す。

【お願い / ヒント】

- 速度調整中は、
  - ・アドバンストサラウンド(➜39)は働きません。
  - ・サンプリング周波数が96 kHzの場合、48 kHzになります。
- ディスクによっては働かない箇所があります。

場面や曲を頭出しする

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜18)
- [VHS/DVD切換] を押して、本体表示窓に [DVD] を表示させる。(➜12)

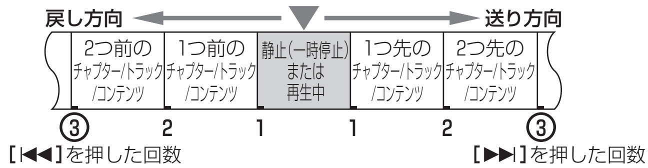
番組・場面・曲などを飛びこす(スキップ)

1	頭出し/スキップ	**押す** [⏮]…戻る　[⏭]…進む ●押した回数だけ飛びこします。 ● DVD-VR マーカーにもスキップします。(➜ 下記) ● MPEG4 作りかたによっては働かない場合があります。

【お願い / ヒント】

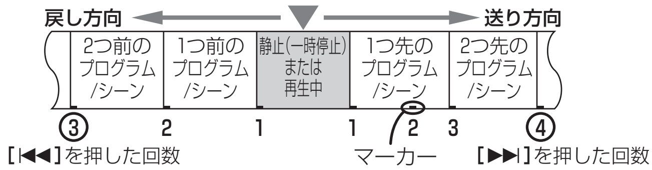
- DVD やビデオ CD のメニュー画面で押すと、前のメニューに戻る場合があります。またディスクによっては働かないことがあります。

■頭出しする位置の指定のしかた



- JPEG [▲][▼] でグループを飛びこすことができます。

DVD-VR の場合はマーカーへ頭出しできます。



- コマーシャルなどが録画されていると、そこにスキップすることがあります。

30 秒先へ飛びこす (30 秒スキップ)

動画に働きます。
(VCD や、+R/+RW の DVD-V では働きません)
(通常再生時のみ)

1	30秒スキップ 予約延長	**押す** ●押すごとに、約 30 秒飛びこして再生します。

【お願い / ヒント】

- CM などを飛ばすのに便利です。
- ディスクまたは再生箇所によっては、秒数が変わったり、機能が働かないこともあります。

DVD の便利な機能

映像を確かめる

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜18)
●[VHS/DVD切換] を押して、本体表示窓に [DVD] を表示させる。(➜12)

再生状態を確かめる（クイック OSD）

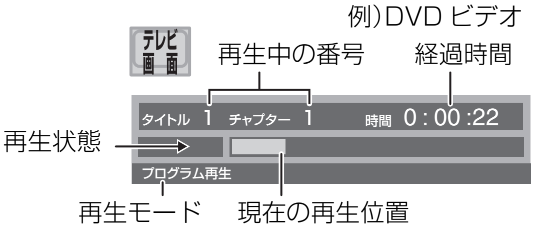
1 [クイックOSD] **押す**

●押すごとに、下記のように切り換わります。

基本情報 → 詳細情報 → 切 → 基本情報

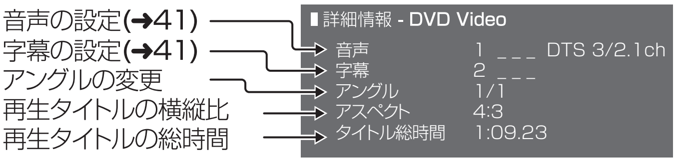
■**基本情報**

例）DVD ビデオ



■**詳細情報**

例）DVD ビデオ



■**クイック OSD 画面を消す**

[**クイック OSD**] を数回押す。または [**リターン**] を押す。

【お願い / ヒント】

●MPEG4 サーチを行っているときは表示されません。
●「**GUI シースルー**」(➜49) の設定により、枠を半透明で表示することもできます。

見たいタイトル / プログラムを探す（アドバンストディスクレビュー）

VCD MPEG4 以外の動画に働きます。
（通常再生時のみ。ただし +R/+RW では働きません）

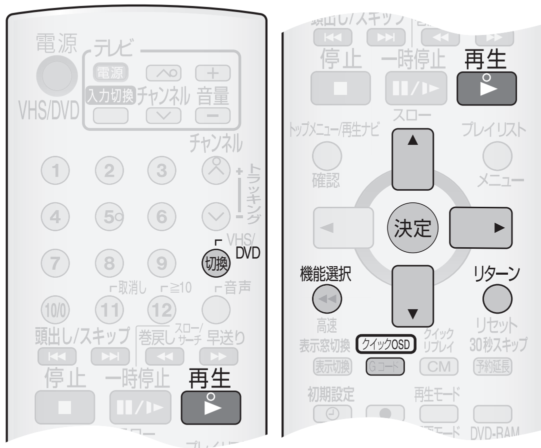
1 [機能選択] GUI 画面を表示する **押す**
（機能選択 / タイトル 1/ 1 / チャプター 2/17 / その他の設定）

2 [▲][▼] で「**その他の設定**」を選び、**[▶] を押す**
（再生速度 ノーマル / AVエンハンサー 切 / 再生メニュー）

3 [▲][▼] で「**再生メニュー**」を選び、**[▶] を押す**
（機能選択 / リピート 切 / A-Bリピート ＊＊ / マーカー / アドバンストディスクレビュー）

4 [▲][▼]で「**アドバンストディスクレビュー**」を選び、**[決定] を押す**
（タイトル 1 チャプター 1 時間 0 : 00 :22）

5 [再生] 見たいタイトル/プログラムを見つけたら、**押す**



■**GUI 画面を消す**

[**機能選択**] または [**リターン**] を押す。

【お願い / ヒント】

●10 分ごとで探すこともできます。その場合は、"ディスク" メニューの "アドバンストディスクレビュー" の設定を "インターバルモード" にしてください。(➜50)
●再生位置により、働かないことがあります。

ソフトに合わせて設定を変える

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜18)
●[VHS/DVD切換] を押して、本体表示窓に [DVD] を表示させる。(➜12)

映画鑑賞向けの画質にする（ピクチャーモード）

1 [機能選択] GUI 画面を表示する **押す**
（機能選択 / タイトル 1/ 1 / チャプター 2/17 / その他の設定）

2 [▲][▼] で「**その他の設定**」を選び、**[▶] を押す**
（再生速度 ノーマル / AVエンハンサー 切 / 再生メニュー / 画質メニュー）

3 [▲][▼] で「**画質メニュー**」を選び、**[▶] を押す**
（機能選択 / ピクチャーモード ノーマル / ビデオ出力モード 525i）

4 「**ピクチャーモード**」を選び、**[▶] を押す**
[▲][▼] でモードを選び、**[決定] を押す**

■**画質の種類**

●**ノーマル**： 通常の画質です。
●**シネマ 1**： 映画館で見ているようなしっとり感、さらに暗い場面では細部をはっきりさせます。
●**シネマ 2**： 昔の映画などをくっきり、さらに暗い場面では細部をはっきりさせます。
●**アニメ**： アニメ向きの画質です。
●**ダイナミック**： コントラストを強調した、躍動感あふれる映像が楽しめます。

■**GUI 画面を消す**

[**機能選択**] または [**リターン**] を押す。

映像を拡大する(ぴったりズーム)

動画に働きます
いろいろな横縦比の映像を拡大してお使いのテレビ画面サイズに近づけます。

準備 ●初期設定の「TVアスペクト」をテレビに合わせて設定する。(➜51)

1 機能選択(高速) GUI画面を表示する **押す** (テレビ画面)

2 [▲][▼]で「その他の設定」を選び、**[▶]を押す**

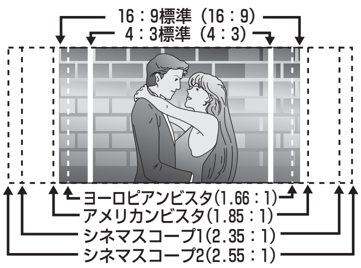
3 [▲][▼]で「表示メニュー」を選び、**[▶]を押す**

4 「ぴったりズーム」を選び、**[▶]押す**
[▲][▼]でズームの種類を選び(➜下記)、**[決定]を押す**

■ぴったりズームの種類

DVD-VR DVD-V VCD
- ●オート
- ●4:3標準
- ●ヨーロピアンビスタ
- ●16:9標準
- ●アメリカンビスタ
- ●シネマスコープ1
- ●シネマスコープ2

さまざまなスクリーンサイズ(横縦比)



MPEG4
- ●スタンダード
- ●オリジナル
- ●フル

■ズーム倍率を微調整する(任意ズーム)

「表示メニュー」から「任意ズーム」を選び、[▶]を押す。
[▲][▼]で微調整する。

DVD-VR DVD-V VCD
1.00倍～1.60倍:0.01倍ごと(長押し:0.05倍ごと)
1.60倍～2.00倍:0.02倍ごと(長押し:0.10倍ごと)

MPEG4
1.00倍～1.60倍:0.01倍ごと(長押し:0.05倍ごと)
1.60倍～2.00倍:0.02倍ごと(長押し:0.10倍ごと)
2.00倍～4.00倍:0.05倍ごと(長押し:0.25倍ごと)

■GUI画面を消す

[**機能選択**]または[**リターン**]を押す。

【お願い/ヒント】
- ●次の場合はズーム倍率が"x1.00"になります。
  - ・メニュー画面表示中("x1.00"にならない場合もあります)
  - ・電源を切るかトレイを開けたとき
- ●接続するテレビや設定によっては、4.00 倍まで拡大できないことがあります。

2本のスピーカーでサラウンド効果を楽しむ(アドバンストサラウンド)

MPEG4 以外の動画に働きます

1 機能選択(高速) GUI画面を表示する **押す**

2 [▲][▼]で「その他の設定」を選び、**[▶]を押す**

3 [▲][▼]で「音声メニュー」を選び、**[▶]を押す**

4 [▲][▼]で「アドバンストサラウンド」を選び、**[▶]を押す**
[▲][▼]でモードを選び(➜下記)、**[決定]を押す**

■アドバンストサラウンドの種類

- ●切
- ●SP 1 標準:(スピーカー時)
- ●SP 2 強:(スピーカー時)
- ●HP 1 標準:(ヘッドホン時)
- ●HP 2 強:(ヘッドホン時)

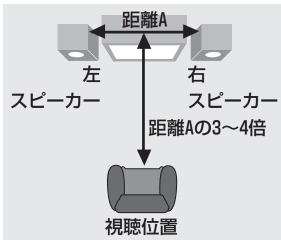
■GUI画面を消す

[**機能選択**]または[**リターン**]を押す。

【お願い/ヒント】
- ●音に広がりを与え、フロントスピーカー(L、R)だけでサラウンド効果を楽しめます。
- ●サラウンド信号があるディスクの場合、音に広がりが出るほか、スピーカーの存在しない横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。
- ●2ch以上のディスクで働きます。
- ●ドルビープロロジックを楽しむときは、正しいサラウンド効果を得るために「切」にしてください。

■フロントスピーカーで聞くときの効果的な聞きかた

- ●左右フロントスピーカー間の約3～4倍離れて視聴すると効果的です。
- ●働かせるときは、接続した機器側のサラウンド機能を「切」にしてください。
- ●ディスクによっては効果が出にくいものや、出ないものがあります。
- ●音声がひずむときは、「切」にしてください。



応用再生

ソフトに合わせて設定を変える(つづき)

より自然な音質で聴く (マルチ リ. マスター)

DVD-VR DVD-V は 48 kHz、MP3 WMA は 8 kHz、16 kHz、32 kHz 以外で記録されたディスクに限ります。
(JPEG MPEG4 では働きません)

1 機能選択 GUI画面を表示する **押す**

2 [▲][▼] で「その他の設定」を選び、**[▶] を押す**

3 [▲][▼] で「音声メニュー」を選び、**[▶] を押す**

4 [▲][▼] で「マルチ リ. マスター」を選び、**[▶] を押す**
[▲][▼] でモードを選び (➜ 下記)、**[決定] を押す**

■マルチ リ. マスターの種類

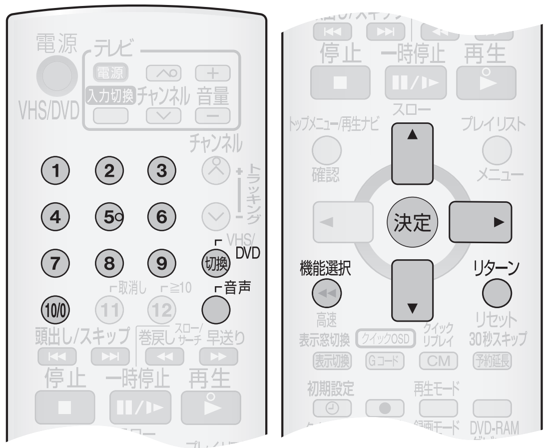
DVD-V CD の場合(LPCM 出力時)
- 切
- 1:テンポの速い曲(ポップスやロックなど)
- 2:さまざまなテンポの曲(ジャズなど)
- 3:テンポの遅い曲(クラシックなど)

その他のディスクの場合
- 切
- 1:弱
- 2:中
- 3:強

【お願い / ヒント】
- ナイトサウンドモード、重低音(H.Bass)またはアドバンストサラウンドが有効のときは働きません。
- マルチチャンネル再生時は、記録時に失われた周波数信号を再現し、記録前の音声に近づけます。
- 2 チャンネル再生時にはディスクに記録されていない高い周波数信号を付け加えることで、より自然で豊かな音質が楽しめます。
- MP3、WMA 再生時は、圧縮時に失われた高い周波数信号を再現し、圧縮前の音声に近づけます。

■GUI 画面を消す

[機能選択] または **[リターン]** を押す。



再生中のディスクに最適な効果を加える (AV エンハンサー)

1 機能選択 GUI 画面を表示する **押す**

2 [▲][▼] で「その他の設定」を選び、**[▶] を押す**

3 [▲][▼]で「AVエンハンサー」を選び、**[▶] を押す**

4 [▲][▼] でモードを選び、**[決定] を押す**

■通常再生に戻す

手順 1 ～ 4 を繰り返して "AV エンハンサー 切" を選択する。

【お願い / ヒント】
- 「入」にすると、以下の項目が自動的に設定されます。
  - 画質設定 :ピクチャーモード (➜38)
  - 音声設定 :アドバンストサラウンド(➜39)、シネマボイス (➜48)、ナイトサウンドモード (➜48) 、重低音(H.Bass) (➜48) 、マルチ リ. マスター (➜ 左記)、サウンドエンハンスメント (➜49)

AV エンハンサー「入」時は設定を個別に変えることはできません。

■GUI 画面を消す

[機能選択] または **[リターン]** を押す。

字幕、音声を切り換える

MPEG4 以外の動画で働きます。
VCD の場合は SVCD のみに働きます。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜18)
- [VHS/DVD切換] を押して、本体表示窓に [DVD] を表示させる。(➜12)

字幕言語を切り換える・字幕を切 / 入する

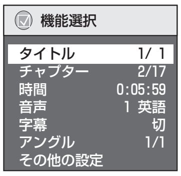
字幕の変更と切 / 入ができます。
ただし、DVD-VR は字幕の切 / 入情報を含むディスクの切 / 入のみ操作できます。

1 機能選択 高速

GUI 画面を表示する
再生中に、
押す

テレビ画面

例)DVD ビデオ



2 **[▲][▼] で「字幕」を選び、**
[▶] を押す

3 **[▲][▼] で字幕言語を選び、**
[決定] を押す
- 字幕の表示まで少し時間がかかることがあります。
- "––––" 表示:字幕が記録されていません。

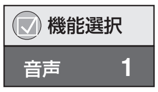
■**GUI 画面を消す**
[**機能選択**] または [**リターン**] を押す。

【お願い / ヒント】
- +R/+RW では、字幕が記録されていないディスクでも字幕番号が表示されることがあります。

音声を切り換える

1 音声

再生中に、
押す



- 押すごとに切り換わります。
  音声属性の表示 / 音声言語
- DVD-VR VCD
  L R(左音声+右音声)→ L(左音声)→ R(右音声)

【お願い / ヒント】
- "––––" 表示:音声が記録されていません。
- VCD (SVCD のみ)字幕番号より字幕を選べます。
- DVD-V カラオケディスクでは、[◀][▶] でボーカルの切 / 入ができます。詳しくはディスクのジャケットなどをご覧ください。

■**GUI 画面やメニュー表示を消す**
[**リターン**] を押す。

■**音声属性の表示**
LPCM/DD Digital/DTS/G.726/MPEG/MP3/WMA:信号タイプ
kHz:サンプリング周波数
bit:ビット数
ch:チャンネル数
GUI 画面では以下のように表示されます。
例)5.1 チャンネル

3 / 2 . 1
- .1:LFE*あり
  (LFE*がないときは表示されません)
- 0:サラウンド信号なし
  1:サラウンド信号(モノラル)あり
  2:サラウンド信号(ステレオ)あり
- 1:センター
  2:フロント(L/R)
  3:センター+フロント(L/R)

*Low(ロー) Frequency(フリケンシー) Effects(エフェクツ) の略。低域強調チャンネルのこと。

■**字幕、音声操作について**
- それぞれ切り換えて操作することができるのは、字幕や音声が複数記録されているディスクの場合です。
- DVD-VR 当社製DVDレコーダーは、字幕の切/入情報を記録できません。(当社製 DVD レコーダーでファイナライズした当社製 DVD-R/DVD-R DL も、字幕の切 / 入情報は記録されません)
- メニュー画面でのみ切り換えできるディスクもあります。
- [1] ~ [10/0]、[▲][▼] で選ぶこともできます。
- VCD (SVCD のみ)
  複数の字幕や音声が記録されていなくても、番号が切り換わります。

応用再生

プログラム再生とランダム再生

DVD-VR では働きません。

準備
●テレビに本機の画面を出す。(➜18)
●[VHS/DVD切換] を押して、本体表示窓に [DVD] を表示させる。(➜12)

1 再生モード
再生の種類を選ぶ
停止中に、
数回押す
●押すごとに、下記のように切り換わります。
→ プログラム再生 → ランダム再生 → 通常再生 →

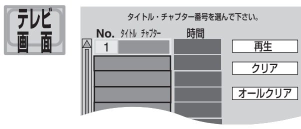
【お願い / ヒント】
●HighMAT™ 規格に準拠して記録されたディスクをプログラム／ランダム再生するときは、「その他のメニュー」で「データディスクとして再生」を選んでください。(➜49)
●DVD ビデオでは、プログラム／ランダム再生できないものもあります。

好みの順に再生する（プログラム再生）

DVD-VR では働きません。

1 決定
「プログラム再生」を選び(➜ 上記)、
押す

2
DVD-V CD
MP3 WMA JPEG MPEG4
(CD 上記の形式ファイルを含みかつ、階層が分かれているもののみ)
例)DVD ビデオ



1 [▲][▼] で“タイトル番号”/“グループ番号”を選び、
[決定] を押す
2 [▲][▼] で“チャプター番号”/“トラック番号”を選び、
[決定] を押す

VCD CD
[▲][▼]で“トラック番号”を選び、
[決定] を押す

3 再生
押す
●プログラムした順番、または設定した順番に再生が始まります。

■さらにプログラムするとき
手順 1 ～ 2 を繰り返す。

【お願い / ヒント】
●最大 32 項目まで設定できます。
●一部の DVD ソフトでは働かないことがあります。
●「 ALL 」を選ぶと、全曲（ディスクまたはタイトル、グループ内の全曲）が予約できます。
● VCD CD 以外では時間は表示されません。

●手順2で [▶] で「再生」を選んで [決定] を押しても再生が始まります。
●プログラム再生が終了すると停止し、プログラム入力画面になります。
●[1] ～ [10/0] や [≧ 10] を押して直接選ぶこともできます。このときは [決定] を押す必要はありません。
例）03 の場合…[3]
10 の場合…[≧ 10] → [1] → [10/0]
MP3 WMA MPEG4 の場合
・[≧ 10] は不要です。
・グループ番号やコンテンツ番号を選んだあとは、[決定] を押してください。

■プログラム再生を途中でやめる
1 プログラム再生中に、[停止 ■] を 2 回押す。
2 [再生モード] を 2 回押す。
●プログラムは保持されています。
もう一度 [再生モード] を押すと、現在のプログラム入力状態が表示されます。

■プログラムを変更する
1 [▲][▼] で変更したい項目を選び、[決定] を押す。
2 左記手順 2 を行い、変更するタイトル、チャプター（トラック）番号を選ぶ。

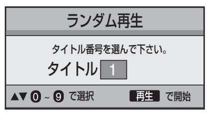
■プログラムを取り消す
1 取り消したい項目を [▲][▼] で選ぶ。
2 [▶][▼] で「クリア」を選び、[決定] を押す。
●[取消し] を押しても取り消すことができます。

■プログラムをすべて取り消す
1 [▶][▼] で「オールクリア」を選ぶ。
2 [決定] を押す。

順不同に再生する（ランダム再生）

DVD-VR では働きません。

1
「ランダム再生」を選び (➜ 左記)、
DVD-V MP3 WMA JPEG MPEG4 の場合
ランダム再生したい項目を選ぶ
押す
例)DVD ビデオ



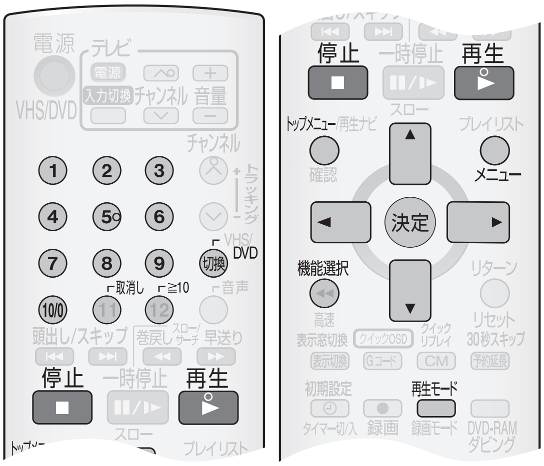
●すべてのグループを選ぶには、「オール」を選んでください。
●[1] ～ [10/0] でも、グループの選択や選択の取り消しを行うことができます。

2 再生
押す
●ランダム再生が始まります。

■ランダム再生を途中でやめる
1 ランダム再生中に、[停止 ■] を 2 回押す。
2 [再生モード] を押す。

【お願い / ヒント】
●ランダム再生が終わると、停止してランダム再生画面に戻ります。
●最大4000コンテンツ（トラック数と画像数）まで設定できます。

メニュー画面を使って再生する DVD

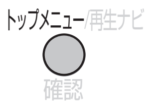


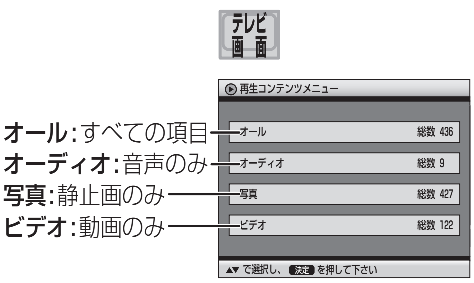
MP3、WMA、JPEG、MPEG4 を再生する

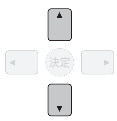
ディスク内の MP3、WMA、JPEG、MPEG4 ファイルや HighMAT™ 規格に準拠して記録されたディスク(➜10)を HighMAT 機能を使わずに再生できます。GUI 画面の「その他のメニュー」で「データディスクとして再生」を選んでください。(➜49)

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜18)
- [VHS/DVD 切換] を押して、本体表示窓に [DVD] を表示させる。(➜12)
- ディスクを入れる。

項目を順番に再生する(再生コンテンツメニュー)

1 
メニュー画面を表示させる
押す



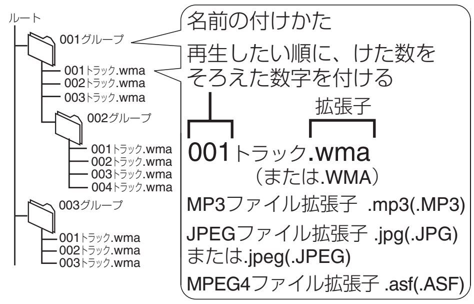
2 
「オール」、「オーディオ」、「写真」または「ビデオ」を選ぶ
数回押す

3 
再生を始める
押す

■**停止する**
[停止 ■] を押す。

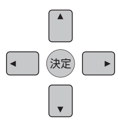
■**メニュー画面を消す**
[トップメニュー] を押す。

パソコンなどでファイルを作るとき
DVD ディスクや CD-R/RW に記録した
MP3 WMA JPEG MPEG4 (➜8 ～ 9)
- パソコン等でフォルダーやファイルに付けた名前をそれぞれグループ名、コンテンツ名として表示します。

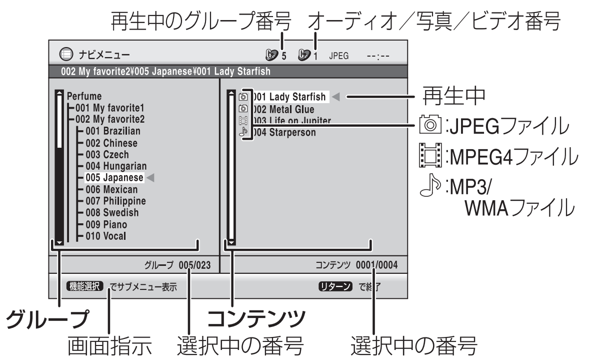


項目を選んで再生する(ナビメニュー)

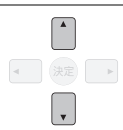
1 
ナビメニューを表示させる
押す

2 
再生したいグループを選ぶ
[▲][▼][◀][▶] で選び、[決定] を押す

■ **選んだグループ内のオーディオ / 写真 / ビデオを順番に再生するには (➜ 手順 4 へ)**



- 画面指示と再生状態表示を切り換えるには [機能選択] を押す。

3 
再生したいオーディオ / 写真 / ビデオを選ぶ
[▲][▼] で選ぶ

4 
押す

■**停止する**
[停止 ■] を押す。

■**メニュー画面を消す**
[メニュー] を押す。

【お願い / ヒント】
- JPEG画像を見ながらMP3/WMAを楽しむには、JPEGファイルを選択したあとに MP3/WMA ファイルを選んでください。(逆の順序ではできません)

■サブメニューを使う

1 [メニュー] を押す
2 [機能選択] を押す
3 [▲][▼] で項目を選び [決定] を押す

項目	説明
✓マルチ	グループとオーディオ／写真／ビデオを同時に表示
リスト	オーディオ／写真／ビデオを表示
ツリー	グループを表示
サムネイル	サムネイル画面を表示 JPEG
次グループ	次のグループへ進む MP3 WMA JPEG MPEG4
前グループ	前のグループへ戻る MP3 WMA JPEG MPEG4
オール	すべての項目を表示
オーディオ	MP3、WMA のみ表示
写真	JPEG のみ表示
ビデオ	MPEG4 のみ表示
ヘルプ表示	画面指示と再生状態表示(➜43)の切り換え
検索	タイトルの検索(➜ 下記)

■タイトル名を検索して再生する

ひらがな、カタカナ、英数字をローマ字入力すると、その語句を含むタイトルを検索します。(大 / 小文字は区別されません)
- ●検索できる日本語は主にひらがな、カタカナと歌の題名によく使われる漢字です。
- ●グループ名を検索するときは、ナビメニュー画面のカーソルを“グループ”側に、オーディオ / 写真 / ビデオのファイル名を検索するときは“オーディオ/写真/ビデオ”側に置いてください。

例: “LOVE”という言葉を含む曲を探す

1 [メニュー] を押す
2 [機能選択] を押す
3 [▲][▼] で「検索」を選び [決定] を押す
4 [▲][▼] で“L”を選び [決定] を押す
- ●[▲] を押すごとに、「A ～ Z 」→「 0 ～ 9 」と変わります。
- ●数字は、[1] ～ [10/0] を使っても入力することができます。
- ●この手順を繰り返して“O”、“V”、“E”と入力します。
- ●[◀◀][▶▶] で「A、E、I、O、U」にスキップします。
- ●文字を間違えたときは、[◀] を押すと 1 つ前に戻ります。

5 [▶] で「検索」を選び [決定] を押す
- ●検索結果が表示されます。
- ●検索結果に「見つかりませんでした」と表示された場合は、[リターン] を押して、リスト表示画面に戻ります。

6 [▲][▼] でグループかオーディオ／写真／ビデオファイルを選び、[決定] を押す

■検索結果画面を消す

[リターン] を押す。

“＊”(アスタリスク)について
- ●検索する語句の前に“＊”を付けて検索すると、その語句が含まれるすべてのタイトルが検索されます。
- ●“＊”を消して語句を検索すると、その語句が先頭にくるタイトルのみ検索されます。このときは「 We love Baseball 」などは検索されません。

CD テキストを再生する

CD (CD テキストのみ)

準備
- ●テレビに本機の画面を出す。(➜18)
- ●[VHS/DVD 切換] を押して、本体表示窓に [DVD] を表示させる。(➜12)
- ●ディスクを入れる。

1 プレイリスト / メニュー
メニュー画面を表示させる
押す

テレビ画面



2 決定
再生したい曲を選ぶ
数回押す

3 決定
再生を始める
押す

■再生状態と現在の再生位置を表示する

[機能選択] を押す。

■本機での制限について
- ●使用できるフォーマットは、ISO9660 level 1 および level 2(拡張フォーマットを除く)です。
- ●マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いと、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。セッション数は少なくすることをおすすめします。
- ●8階層より深い階層にあるグループは、メニュー画面の8階層目と同じ列に表示されます。
- ●表示できる漢字は、JIS 第一水準のみです。それ以外の漢字は“_(アンダーバー)”で表示されます。
- ●メニュー画面での表示順は、パソコンのディスプレイでの表示順とは異なることがあります。
- ●ディスクの作りかたによっては、順番どおりに再生できないこともあります。
- ●パケットライト方式で記録されたファイルは再生できません。

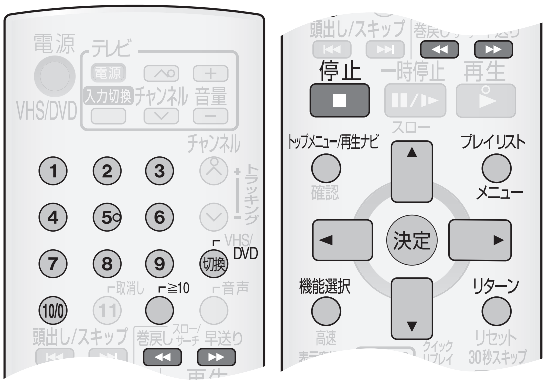
WMA
- ●著作権保護されたファイルは再生できません。

MP3
- ●ID3 タグには対応していません。

- ●再生可能なサンプリング周波数:
CD-R/RW:8、11.02、12、16、22.05、24、32、44.1、48 kHz
DVD-RAM/DVD-R/RW:11.02、12、22.05、24、44.1、48 kHz

JPEG
- ●DCF(Design rule for Camera File system)規格 ver.1.0 準拠のデジタルカメラで撮影した JPEG データを表示します。(デジタルカメラの自動回転機能などを使用した場合、DCF 規格にあてはまらないデータとなり、画像が表示されないことがあります)
- ●パソコンの画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したデータは表示できないことがあります。
- ●Motion JPEGなどの動画やJPEG以外の静止画(TIFFなど)および音声付画像は再生できません。

MPEG4
- ●マルチストリーム再生には対応していません。
- ●当社製SDマルチカメラで撮影および当社製DVDレコーダーで記録された MPEG4 データを再生します。
・再生できる基準:
SD VIDEO基準 ASF形式/映像:MPEG4(Simple Profile)基準 / 音声:G.726 基準

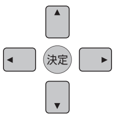


HighMAT™ 規格に準拠して記録されたディスクを再生する

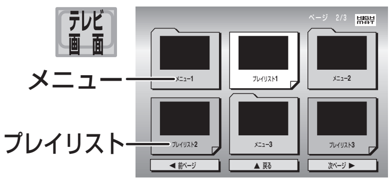
HighMAT™規格に準拠して記録されたディスク(➜10)のMP3 や WMA、JPEG を再生することができます。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜18)
- **[VHS/DVD 切換]** を押して、本体表示窓に [DVD] を表示させる。(➜12)
- HighMAT™規格に準拠して記録されたディスクを入れる。

1



[▲][▼][◀][▶] で内容を選び、
[決定] を押す



- **メニュー：**
  このメニューに含まれるプレイリストやメニューを表示します。
- **プレイリスト：**
  再生が始まります。

■再生をやめる
[停止 ■] を押す。

■メニュー画面に戻る
[トップメニュー] を押してから、**[リターン]** を数回押す。

■ディスクに記録されたメニュー画面に切り換える
メニュー画面の表示中に、**[機能選択]** を押す。

■プレイリスト画面から選んで再生する



1 再生中に、**[プレイリスト]**を押す。
2 [◀][▲][▼]でプレイリスト/グループ/コンテンツのリストを切り換える。
3 [▶][▲][▼]で再生したい項目を選び、**[決定]** を押す。
- 選んだ項目の再生が始まります。
- リスト画面を消すには、**[プレイリスト]** を押してください。

VR 方式のディスクを再生する

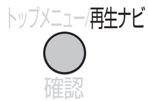
DVD-VR

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜18)
- **[VHS/DVD 切換]** を押して、本体表示窓に [DVD] を表示させる。(➜12)
- 録画済みのディスクを入れる。プレイリストを再生するときは、プレイリスト作成済みのディスクを入れる。

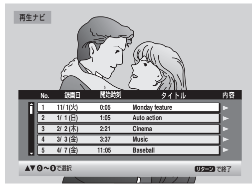
再生ナビ番組リストから再生する

当社製 DVD レコーダー(別売)で録画した番組の一覧から見たい番組を探して再生することができます。

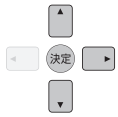
1



押す



2



[▲][▼] で見たい番組を選び、
[決定] を押す
- リストが消え、選んだ番組をそのまま見ることができます。
- **[▶]** を押すと番組の内容を確認できます。**[リターン]** でリストに戻ります。

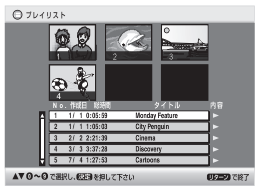
お好みのシーンだけを再生する（プレイリストの再生）

プレイリストとは
当社製 DVD レコーダー(別売)を使って、番組のお好みのシーンだけを集めたり、ストーリーの順番を入れ替えたりなどして編集したリストのことです。
- 本機では、当社製 DVD レコーダー(別売)で作成されたプレイリストを再生することができます。

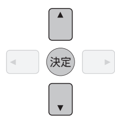
1



押す
- プレイリスト一覧画面が表示されます。



2



[▲][▼] で再生したいプレイリストを選び、
[決定] を押す
- 選んだプレイリストが再生されます。

■停止する
[停止 ■] を押す。
- プレイリスト再生中はプレイリスト一覧画面に戻ります。

■再生ナビ番組リスト / プレイリスト一覧画面を消す
[再生ナビ]/**[プレイリスト]** または **[リターン]** を押す。

【お願い / ヒント】
- 番組のプログラム番号やプレイリスト番号は、[1] ～ [10/0] や [≧ 10] を押して直接選ぶこともできます。
  例） 03 の場合…[3]
  10 の場合…[≧ 10] → [1] → [10/0]
  25 の場合…[≧ 10] → [2] → [5]
- 再生ナビ番組リストは、最大 99 番組まで表示されます。
- プレイリストは、最大 99 まで表示されます。
- 市販の DVD ビデオソフトや CD などでは働きません。
- プレイリスト再生中でも、通常再生と同じように早送り(早戻し)、一時停止、スロー再生ができます。
- タイトル欄で表示できる漢字は、JIS 第一水準のみです。それ以外の漢字や一部の記号は"_(アンダーバー)"で表示されます。
- 本機では、タイトルの入力/編集やプレイリストの作成はできません。

プログレッシブ出力で見る

従来の映像出力端子、S 映像出力端子よりも高画質な映像が楽しめます。

「プログレッシブ」について

従来の映像信号（NTSC）は 525i（i：インターレース＝飛び越し走査）といわれるのに対し、その525i信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を 525p（p：プログレッシブ＝順次走査）といいます。

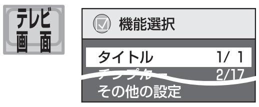
準備
- 本機後面の D1/D2 映像出力端子とテレビを接続（➜16）し、下記の手順を行うと、プログレッシブ映像が出力できます。
- テレビに本機の画面を出す。（➜18）
- [VHS/DVD 切換] を押して、本体表示窓に [DVD] を表示させる。（➜12）

1

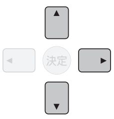


GUI 画面を表示する

押す

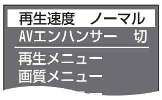


2

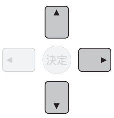


[▲][▼] で「その他の設定」を選び、

[▶] を押す

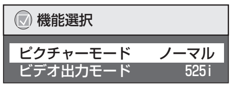


3

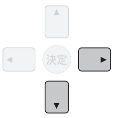


[▲][▼] で「画質メニュー」を選び、

[▶] を押す

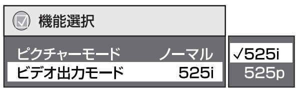


4

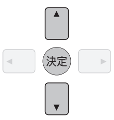


[▼] で「ビデオ出力モード」を選び、

[▶] を押す

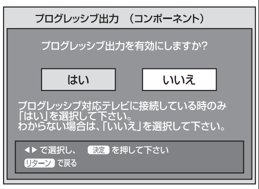


5



[▲][▼] で「５２５ p」を選び、

[決定] を押す



- 前の画面に戻るには、[リターン] を押す

6



[◀] で「はい」を選び、

[決定] を押す

7



[決定] を押す



■**GUI 画面を消す**

[機能選択] または [リターン] を押す。

■**プログレッシブ出力を解除する**

「ビデオ出力モード」で「525i」を選んでください。

【お願い / ヒント】

- VHS の映像をプログレッシブ出力することはできません。

GUI 画面で操作する

DVD

操作のしかた

GUI（Graphical User Interface）メニューとは（ジーユーアイ　グラフィカル　ユーザー　インターフェイス）

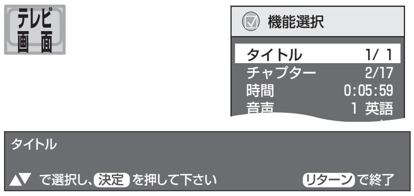
「画面を見ながら操作できる」ことを意味し、本機ではこの画面を「GUI 画面」と呼びます。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜18)
- [**VHS/DVD 切換**] を押して、本体表示窓に [DVD] を表示させる。(➜12)

1 機能選択（高速）

再生中または停止中に、GUI 画面を出す

押す　例）DVD ビデオ



2 **[▲][▼] でメニューを選び、**

[▶] を押す

- 各項目の操作について(➜47～49)

3 **[▲][▼] で項目を選び、**

[▶] を押す

- 項目によっては、[1] ～ [10/0] を押して選びます。

4 **[▲][▼] で設定内容を選び、**

[決定] を押す

■**GUI 画面を消す**

[**機能選択**] または [**リターン**] を押す。

【お願い / ヒント】
- 表示内容はディスクによって異なります。
- ディスクや再生状態（停止中など）によっては操作できない項目があります。
- GUI 画面以外でも行える項目の詳細は、それぞれのページをご覧ください。

メニュー

表示される項目はディスクにより異なります。

プログラム DVD-VR
グループ MP3 WMA JPEG MPEG4
タイトル DVD-V
チャプター DVD-V
トラック VCD CD
プレイリスト DVD-VR
コンテンツ MP3 WMA JPEG MPEG4

[▶] を押して [▲][▼] で番号を選び、[**決定**] を押す。
- 番号を直接入力し、[**決定**] を押すこともできます。

時間

■**時間を指定して飛びこす（タイムワープ）**
（+R/+RW では働きません）

[▶] を押して [▲][▼] で時間を選び、[**決定**] を押す。
- [▲][▼] を押したままにすると早くなります。

■**時間指定再生（タイムサーチ）**
（+R/+RW では働きません）

例）1 時間 46 分 50 秒から再生するとき

[▶] を押して [1] → [4] → [6] → [5] → [10/0] → [**決定**]

■**経過時間／残時間表示切り換え**

[▲][▼] で選び、[**決定**] を押す。

映像

[**決定**] を押す。
画素数を表示します。

音声(➜41)

[▶] を押して [▲][▼] で切り換え、[**決定**] を押す。

ビットレート / サンプリング周波数(➜60)表示
- 操作はできません。

字幕(➜41)

字幕入 / 切、字幕言語の変更や字幕の変更。
[▶] を押して [▲][▼] で切り換え、[**決定**] を押す。

マーカー(VR)

DVD レコーダーで付けたマーカーを呼び出す。
[▶] を押して [▲][▼] で選び、[**決定**] を押す。

サムネイル

サムネイル画面を表示する。
[**決定**] を押す。

アングル

アングルを切り換える。
[▶] を押して [▲][▼] で番号を選び、[**決定**] を押す。

画像回転

回転方向を選ぶ。
[▶] を押して [▲][▼] で回転方向を選び、[**決定**] を押す。
▶ **右９０゜ 回転**
▶ **左９０゜ 回転**

スライドショー

[▶] を押して [▲][▼] で選び、[**決定**] を押す。
▶ **切**
▶ **入**
▶ **１～５**

スライドショー表示間隔を 5 段階から設定できます。
- スライドショー時にスキップ操作や回転操作を行った場合は、表示されている JPEG 画像と異なる別の画像に対して操作が働く場合があります。

その他の設定 (➜ 次ページ)

その他の設定

●表示される項目はディスクにより異なります。

再生速度(➜37)
[▶] を押して [▲][▼] で選び、[決定] を押す。

AV エンハンサー(➜40)
[▶] を押して [▲][▼] で選び、[決定] を押す。

再生メニュー

リピート(➜36)
[▶] を押して [▲][▼] で切り換え、[決定] を押す。

A-B リピート (➜36)

マーカー
もう一度再生したいところで位置を記憶させる。(最大 5 カ所)
● DVD-VR では働きません。

1 [決定] を押す。
2 記憶させたいところで、もう一度 [決定] を押す。

■ **他にマーカーを付ける**

1 [▶] を押し「＊」を選ぶ。
2 記憶させたいところで [決定] を押す。

■ **マーカーを呼び出す**

1 [決定] を押す。
2 [◀][▶] で呼び出したい番号を選ぶ。
3 [決定] を押す。

■ **マーカーを取り消す**

1 [決定] を押す。
2 [◀][▶] で取り消したい番号を選ぶ。
3 [取消し] を押す。

●本機で付けたマーカーは、電源を切るか、ディスクトレイを開けると取り消されます。
●プログラム、ランダム再生中は働きません。

アドバンストディスクレビュー(➜38)
[決定] を押す。

画質メニュー

ピクチャーモード (➜38)

ビデオ出力モード
プログレッシブ出力できるディスクをプログレッシブ出力する、しないを選ぶ。
[▶] を押して [▲][▼] で選び、[決定] を押す。
▶ 525i :インターレース出力(プログレッシブ出力しない)
▶ 525p :プログレッシブ出力(プログレッシブ出力する)

上記の「ビデオ出力モード」で「525p」を選んだときのみ表示されます。

変換モード
プログレッシブ出力変換方式を素材 (➜60)に合わせて選ぶ。
[▶] を押して [▲][▼] で選び、[決定] を押す。
▶ オート 1(標準):映画再生
▶ オート 2 : オート 1 の変換方法に加え、30 コマ/秒で記録されたプログレッシブ映像にも対応
▶ ビデオ : ビデオ素材



音声メニュー

ナイトサウンドモード
深夜の映画鑑賞時など、大音量部分を抑えてせりふをはっきりさせることができます。
[▶] を押して [▲][▼] で選び、[決定] を押す。
▶ 切
▶ 入
●ディスクの記録状態によっては、効果が出にくいものがあります。

重低音 (H.Bass) DVD-V
厚みのある低音を楽しむことができます。
[▶] を押して [▲][▼] で選び、[決定] を押す。
▶ 切
▶ 入
●ナイトサウンドモードが「入」のときは働きません。
●DVD ビデオの 5.1ch ディスクのときに働きます。
また 2ch ディスクでも一部効果があるものがあります。
●音声がひずんだり、雑音が聞こえる場合は" 切" を選んでください

アドバンストサラウンド(➜39)
[▶] を押して [▲][▼] で選び、[決定] を押す。
●ナイトサウンドモードまたは重低音 (H.Bass) が「入」のときは働きません。

シネマボイス
(DVD-V ドルビーデジタル、DTS、3ch以上でセンターチャンネルにせりふが入っているディスク)
映画のせりふを聞き取りやすくします。
[▶] を押して [▲][▼] で選び、[決定] を押す。
▶ 切
▶ 入
●「入」にしていても、ディスクによっては効果が出にくいものや、出ないものがあります。

マルチ リ.マスター(➜40)
[▶] を押して [▲][▼] で選び、[決定] を押す。
▶ 切
▶ 1
▶ 2
▶ 3
- ●ナイトサウンドモード、重低音 (H.Bass) またはアドバンストサラウンドが「入」のときは働きません。

サウンドエンハンスメント
（MPEG4 では働きません）
高い周波数信号を付加することにより、クリアな音質で楽しむことができます。
[▶] を押して [▲][▼] で選び、[決定] を押す。
▶ 切
▶ 入
- ●ナイトサウンドモード、重低音 (H.Bass)、アドバンストサラウンドが「入」のとき、マルチ リ.マスターが「切」以外のときは働きません。
- ●ディスクの記録状態によっては、効果が出にくいものがあります。

表示メニュー

情報表示
[▶] を押して [▲][▼] で選び、[決定] を押す。
▶ 切
▶ 入

字幕位置
[▶] を押して [▲][▼] で調節する。
（2 段階ずつ調節）
▶ 0 ～− 60

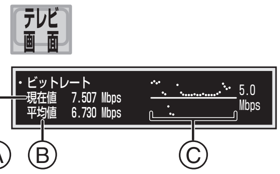
字幕明るさ
[▶] を押して [▲][▼] で選び、[決定] を押す。
▶ オート　：画面が明るいときは字幕も明るく、画面が暗くなると字幕も暗くなります。
▶ 0 ～− 7

4:3 アスペクト
16:9 テレビへの 4:3 映像の表示のしかたを選ぶ
[▲][▼] で選び、[決定] を押す
▶ ノーマル　：テレビの画面幅いっぱいに引きのばす
▶ オート　：通常は"シュリンク"に、レターボックスの映像は"ズーム"に、自動的に切り換える
▶ シュリンク：テレビ画面中央に 4:3 の画面比にして映す
▶ ズーム　：4:3 の画面比で拡大する

ぴったりズーム(➜39)
[▶] を押し、[▲][▼] でズームの種類を選んで [決定] を押す。

任意ズーム(➜39)
ズーム倍率を微調節する。
[▶] を押して [▲][▼] で調節し、[決定] を押す。

ビットレート表示
映像の種類（I/P/B）とビットレートの目安を表示する。
[▶] を押して [▲][▼] で選び、[決定] を押す。
▶ 切
▶ 入



Ⓐ 現在のビットレート
Ⓑ 平均ビットレート
Ⓒ サンプリング期間中のビットレート履歴
動画再生時：再生画像の平均ビットレート
静止時：映像の種類とフレームデータ量

GUI シースルー
GUI 画面の背景を半透明にする。
[▶] を押して [▲][▼] で選び、[決定] を押す。
▶ 切
▶ 入
▶ オート　：スクリーンセーバーやサムネイル画像が表示されているとき以外は、背景が半透明になります。

スクリーンセーバー



GUI 明るさ
画面表示の明るさを調節する。
[▶] を押して [▲][▼] で選び、[決定] を押す。
▶ − 3 ～ 0 ～＋ 3

クイック OSD(➜38)
再生中にファイルの情報を画面中央下部に表示する。
[▶] を押して [▲][▼] で選び、[決定] を押す。
▶ 切
▶ 基本情報
▶ 詳細情報

その他のメニュー

初期設定 (➜50)

データディスクとして再生
ディスク内の MP3、JPEG、MPEG4 コンテンツを再生したり、HighMAT ディスクを HighMAT 機能を使わずに再生するには " データディスクとして再生 " を選ぶ。

DVD-VR として再生

HighMAT として再生

初期設定を変える

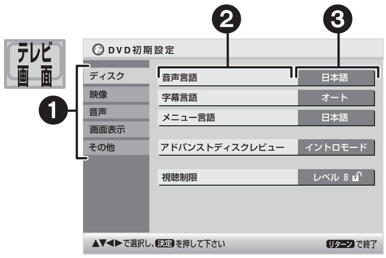
設定のしかた

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜18)
●[VHS/DVD切換] を押して、本体表示窓に [DVD] を表示させる。(➜12)

1



押す

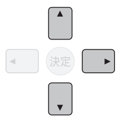


❶ **メニュー項目(タブ)**
●ディスク、映像、音声、画面表示、その他の 5 項目があります。
これを選んで、各項目の詳細画面を呼び出します。

❷ **設定項目**
●上記で選んだメニュー項目内の詳細項目です。

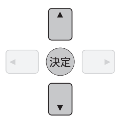
❸ **設定内容**
●設定状態を表示します。
項目を選ぶと、設定内容を変更することができます。

2



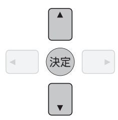
❶ **メニュー項目(タブ)を [▲][▼] で選び**
[▶] 押す

3



❷ **設定項目を [▲][▼] で選び、**
[決定] を押す

4



❸ **設定内容を変える**
[▲][▼] で選び、
[決定] を押す

5



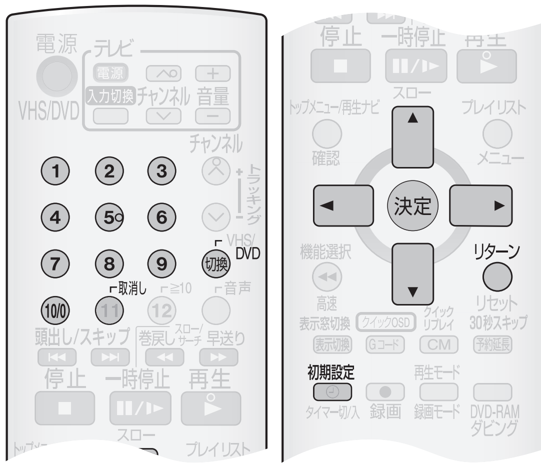
押す

■ひとつ前の画面に戻る

[**リターン**] を押す。

【お願い / ヒント】

●電源を切っても、変更した内容は記憶されています。
●操作によって異なる画面が出ることがありますが、そのときは画面の指示に従ってください。



初期設定の項目

ディスク

音声言語

●言語(音声)を選ぶとき。

▶ **日本語(工場出荷時)**
▶ **英語**
▶ **オリジナル**
ディスクの最優先言語が選ばれます。
▶ **その他＊＊＊＊**
[1] ～ [10/0] で言語番号を入力する。(**➜52**)

字幕言語

●言語(字幕)を選ぶとき。

▶ **オート(工場出荷時)**
「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示する。
▶ **日本語**
▶ **英語**
▶ **その他＊＊＊＊**
[1] ～ [10/0] で言語番号を入力する。(**➜52**)

■ディスクの言語について

●選んだ言語がディスクに記録されていない場合や、言語があらかじめディスク内で決められている場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。

メニュー言語

●メニューなど、テレビ画面に表示される言語を選ぶとき。

▶ **日本語(工場出荷時)**
▶ **英語**
▶ **その他＊＊＊＊**
[1] ～ [10/0] で言語番号を入力する。(**➜52**)

アドバンストディスクレビュー

●レビューの動作方法を選ぶとき。

▶ **イントロモード(工場出荷時)**
各タイトル / プログラムの先頭を数秒間ずつ、順に再生します。
▶ **インターバルモード**
10 分刻みで数秒間ずつ、順に再生します。

視聴制限
●お子さまなどに見せたくないソフトを再生できないようにしたり、再生を制限するとき。
暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。
●この機能は、DVD ビデオでのみ働きます。
▶8 すべて視聴可(工場出荷時)
すべてのディスクが再生可。
▶7 ~ 1
制限レベルの記録されているディスク(成人向けや暴力シーンを含むもの)が再生不可。
▶0 すべて不可
すべてのディスクが再生不可。

■7 以下を選んだとき
1 [1]~[10/0]で暗証番号(4けた)を入力し、**[決定]**を押す。
2 もう一度 **[決定]** を押す。
●ロックがかかります。

■間違った暗証番号を入力してしまったとき
●上記手順1で**[決定]**を押す前は、**[取消し]**または**[◀]**を押すと取り消せます。
●制限レベルが記録されていないディスクを制限したいときは「0 すべて不可」を選んでください。
●ロックすると正しい暗証番号を入力しない限り、設定内容を変えることができません。暗証番号は忘れないでください。

■制限内容を変えるとき(レベル 7 ~ 0 のとき)
[1] ~ [10/0] で暗証番号(4 けた)を入力し、**[決定]** を押す。
ロック解除 :制限を解除して「8 すべて視聴可」に戻す。
暗証番号変更 :暗証番号を変える。
レベル変更 :制限レベルを変える。
一時解除 :一時的に制限を解除する。電源を切るかディスクトレイを開けるまで、「8 すべて視聴可」の状態が続きます。

映像

TV アスペクト
●テレビ画面サイズに合わせて画面表示方法を選ぶ。
▶4:3 パン&スキャン(工場出荷時)
画面サイズ比が 4:3 の従来のテレビを使うときで、パン&スキャン指定されたワイドサイズのソフトをパン&スキャン(左右の切れた画面)で映したいとき。
▶4:3 レターボックス
画面サイズ比が4:3の従来のテレビを使うときで、ワイドサイズのソフトをレターボックス(上下に黒い帯のある画面)で映したいとき。
▶16:9
画面サイズ比が 16:9 のワイドテレビを使うとき。

●従来サイズ比のテレビに接続し、ワイドサイズの映像をパン & スキャンで映したいときは、工場出荷時の設定を変える必要はありません。
●DVD の画面横縦比はディスクによってさまざまです。
従来サイズ比(4:3)のテレビへの表示方法は上記の設定で選べますが、ワイドテレビ(16:9)をお持ちのときは、テレビ側の画面モードで表示方法を変えることができます。
●ワイドサイズのソフトによっては、この設定にかかわらずレターボックスでしか映らないものがあります。

TV ディレイ
●AVアンプとプラズマテレビを接続している場合、映像が音声より遅く感じるときに、タイミングを合わせることができます。
▶0ms(工場出荷時)
▶20ms
▶40ms
▶60ms
▶80ms
▶100ms

スチルモード
●一時停止中の画像の表示方法を選ぶ。
▶ オート(工場出荷時)
ぶれのない静止画像か、画質のよい静止画像になります。
▶ フィールド
粗めの静止画像になります。
「オート」に設定するとぶれが生じるときに選びます。
▶ フレーム
画質のよい静止画像が表示されます。
「オート」のままでは小さい文字や、細かい絵柄がはっきり見えないときに選びます。

音声

デジタル :デジタル接続(➔17)
アナログ :アナログ接続(➔14 ~ 17)

PCM デジタル出力 デジタル
●接続機器が対応しているサンプリング周波数に合わせて選びます。
▶ 最高 48 kHz(工場出荷時)
48 kHz または 44.1 kHz まで対応。
▶ 最高 96 kHz
96 kHz または 88.2 kHz まで対応。

●接続機器が 96 kHz または 88.2 kHz に対応していないときは、“**最高 48 kHz**” を選んでください。
●ディスクが著作権保護されているときは、設定にかかわらず 48 kHz または 44.1 kHz に変換します。
●96 kHzに対応している接続機器でも、88.2 kHzに対応していないことがあります。(詳しくは、接続機器の説明書をお読みください)

初期設定の項目（つづき）

Dolby Digital デジタル

●接続機器がデコーダー内蔵かどうかに応じて、信号の出力状態を選ぶ。

▶**Bitstream（工場出荷時）**
ドルビーデジタルデコーダー内蔵機器と接続するとき。

▶**PCM**
ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していない機器と接続するとき。

DTS Digital Surround デジタル

●上記の「Dolby Digital」と同様の選択をDTS信号に対して行います。

▶**Bitstream（工場出荷時）**
DTS デコーダー内蔵機器と接続するとき。

▶**PCM**
DTS デコーダーを内蔵していない機器と接続するとき。

音声のダイナミックレンジ圧縮 デジタル アナログ

（ドルビーデジタルのみ）

●小音量でもせりふを聞き取りやすくします。

▶ **切（工場出荷時）**

▶ **入**

画面表示

画面メニュー言語

●初期設定画面の言語や、操作時にテレビ画面に表示される言語を選ぶ。

▶ **日本語（工場出荷時）**

▶ **English**

画面メッセージ

●操作時の表示をテレビ画面に表示するかしないかを選ぶ。

▶ **入（工場出荷時）**

▶ **切**

再生時の背景色

●JPEG･MPEG4 再生時の背景色を選びます。

▶ **ブラック（工場出荷時）**

▶ **グレー**

その他

クイックセットアップ

●テレビ画面上で、基本的な初期設定の下記の項目を対話形式で設定できます。
各項目の詳しい内容については、それぞれのページをお読みください。（➜50 ～ 52）

▶ **する**
クイックセットアップの項目；
- ●画面メニュー言語
- ●TV アスペクト

▶ **しない**

設定の初期化

●本機をお買い上げ時の状態に戻します。

▶ **する**
視聴制限（➜51）を設定しているときは、暗証番号を入力してください。本体表示窓の“I⊓I”表示が消えてから、電源を入れ直してください。
初期化を実行中に、画面に“オールクリア”が表示されたときは、[**決定**] を押してください。

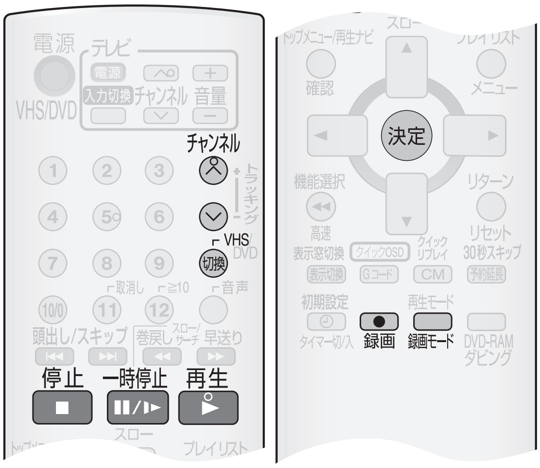
▶ **しない**

言語番号一覧表

言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号
アイスランド	7383	オーリヤ	7982	シンド	8368	トルクメン	8475	ヘブライ	7387
アイマラ	6589	オランダ	7876	シンハラ	8373	トルコ	8482	ベトナム	8673
アイルランド	7165	カザフ	7575	ジャワ	7487	トンガ	8479	ベロルシア（白ロシア）	6669
アゼルバイジャン	6590	カシミール	7583	スウェーデン	8386	ドイツ	6869	ベンガル（バングラ）	6678
アッサム	6583	カタロニア	6765	スロバキア	8375	ナウル	7865	ペルシャ	7065
アファル	6565	ガリチア	7176	スロベニア	8376	日本語	7465	ポーランド	8076
アフリカーンス	6570	韓国（朝鮮）語	7579	スワヒリ	8387	ネパール	7869	ポルトガル	8084
アブハジア	6566	カンナダ	7578	スンダ	8385	ノルウェー	7879	マオリ	7773
アムハラ	6577	カンボジア	7577	スペイン	6983	ハウサ	7265	マケドニア	7775
アラビア	6582	キルギス	7589	ズールー	9085	ハンガリー	7285	マライ（マレー）	7783
アルバニア	8381	ギリシャ	6976	セルビア	8382	バシキール	6665	マラッタ	7782
アルメニア	7289	クルド	7585	セルボクロアチア	8372	バスク	6985	マラヤーラム	7776
イタリア	7384	クロアチア	7282	ソマリ	8379	パシュト	8083	マルタ	7784
イディッシュ	7473	グアラニー	7178	タイ	8472	パンジャブ	8065	マダガスカル	7771
インターリングア	7365	グジャラト	7185	タタール	8484	ヒンディー	7273	モルダビア	7779
インドネシア	7378	グリーンランド	7576	タミル	8465	ビハール	6672	モンゴル	7778
ウェールズ	6789	グルジア	7565	タガログ	8476	ビルマ	7789	ヨルバ	8979
ウォロフ	8779	ケチュア	8185	タジク	8471	フィジー	7074	ラオ	7679
ヴォラピュック	8679	ゲール（スコットランド）	7168	チェコ	6783	フィンランド	7073	ラテン	7665
ウクライナ	8575			中国語	9072	フェロー	7079	ラトビア（レット）	7686
ウズベク	8590	コーサ	8872	チベット	6679	フランス	7082	リトアニア	7684
ウルドゥー	8582	コルシカ	6779	ティグリニア	8473	フリジア	7089	リンガラ	7678
英語	6978	サモア	8377	テルグ	8469	ブータン	6890	ルーマニア	8279
エストニア	6984	サンスクリット	8365	デンマーク	6865	ブルガリア	6671	レトロマンス	8277
エスペラント	6979	ショナ	8378	トウイ	8487	ブルターニュ	6682	ロシア	8285

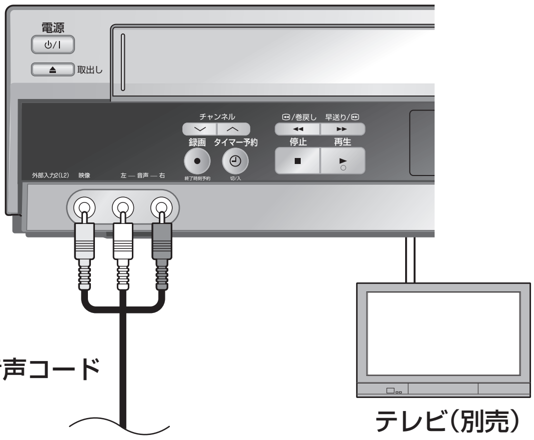
外部入力で録画する

VHS



他のビデオなどから録画する

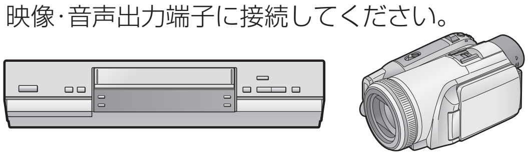
例では、前面の外部入力２(Ｌ２)端子に接続していますが、
後面の外部入力１(Ｌ１)端子に接続することもできます。



映像･音声コード
(別売)

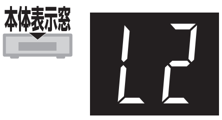
テレビ(別売)

外部機器(再生機)
映像･音声出力端子に接続してください。



準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜18)
- [VHS/DVD 切換] を押して、本体表示窓に [VHS] を表示させる。(➜12)
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜21)

	ボタン	操作
1	チャンネル	外部機器を接続した外部入力チャンネルを選ぶ **押す** 本体表示窓 L2 L1： 外部入力 1 端子(後面)に接続したとき L2： 外部入力 2 端子(前面)に接続したとき
2	再生	録画の開始点を探す **押す**
	一時停止	録画の開始点で、静止画にする **押す**
	録画	録画の一時停止にする **押す**
3	録画モード	録画モードを選ぶ **数回押す** ● “標準”、“3 倍”、“5 倍” から選びます。
4		再生機で、 **再生を始める**
5	一時停止	録画を始めたい場面で、 **押す**





■録画をやめる

[停止 ■] を押す。
- 再生機も停止させてください。

■映像が乱れたり、色合いが悪くなったりするとき

- 市販されているビデオソフト(レンタルビデオも含む)や地上デジタル/BS デジタル/CS デジタル放送などには、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されているものがあります。コピー禁止処理されている信号を本機に入力しても、正しく録画できません。また、本機を経由してテレビで見ようとしても、映像が乱れたり、明るさが急に変わったり、色合いが悪くなったりします。

■本機を再生機として使うとき

- VHS モード設定(➜33)の「オンスクリーン」を「切」にすると、画面に不要な文字や表示を出さなくなります。

■テレビの近くで操作するとき

- 再生機をテレビに近づけると、黒い帯状のノイズが録画されてしまうことがあります。このときはできるだけ離してください。

■BSチューナー内蔵テレビからBS番組を予約録画するとき

- 本機後面の外部入力　1(L1)端子とテレビのモニター出力端子を接続している場合は、G コード予約で BS 番組を録画することができます。その際、本機の録画チャンネルは自動的に外部入力チャンネル“L1”が選ばれます。詳しくは、テレビの説明書もお読みください。

【お願い / ヒント】

- 外部機器の音声出力端子がモノラルのときは、ステレオ⟷モノラルの映像･音声コード(別売)をお使いください。

DVD-RAM から VHS にダビングする

ワンタッチ操作で簡単にダビングする
（ワンタッチダビング）

DVD-RAM ディスク※に録画された番組をビデオカセットにワンタッチ操作でダビングすることができます。

※カセットにダビングする再生用ディスクは、当社製 DVD レコーダー（別売）で録画した DVD-RAM をお使いください。DVDビデオなど、DVD-RAM以外のディスクはワンタッチダビングすることはできません。

●1 枚のディスクの内容すべてをカセットに自動的にダビングします。



準備 ●テレビに DVD 側の画面を出す。**(➜12,18)**

DVD 側 :

●ダビングしたい番組が録画されたDVD-RAMディスクを入れる。

VHS 側 :

●「つめ」の折れていないカセットを入れる。**(➜21)**

●テープに十分な残量があることを確認する。**(➜31)**

●録画モードを選んでおく。**(➜24)**

1

DVD-RAM ダビング

VHS・DVD ともに停止状態で、

押す



DVD-RAM ダビング

“長押しでダビングを開始します”と表示されている間に、

約 3 秒以上押し続け、ダビングが始まるのを確認する



●ディスクの再生が終わるか、またはテープの終端になったとき、自動的にダビングを終了します。

■ダビングをやめる

[停止 ■] を押す。

●ダビングが終了すると、ダビング終了のメッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます。

■ダビング終了後

VHS 側の録画チャンネル表示が“dc”チャンネルからダビング開始前のチャンネルに戻ります。

■頭出し信号の書き込みについて

DVD から VHS へのワンタッチダビング時には、1 つの番組ごとに頭出し信号が自動的に書き込まれます。

カセットへのダビング後は、**頭出し [⏮][⏭]** を使って番組を探すことができます。

【お願い / ヒント】

●予約録画の待機中はダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。**(➜29)**

●ダビングが始まると、以下の操作が自動的に行われます。
- ･VHS 側の録画チャンネル表示➜“dc”**(➜55)**
（dc: ダビング入力チャンネル）
- ･テレビへの出力➜ VHS より出力
- ･DVD 側の初期設定の「画面メッセージ」➜「切」**(➜52)**
- ･DVD の再生時の音声出力➜ステレオ（L R）

●ワンタッチダビング中は **[VHS/DVD 切換]** を押しても出力を切り換えることはできません。

●ダビングが開始･実行されない場合は、本体表示窓のカセットマークと DVD 動作表示が約 7 秒間点滅します。準備が正しくされているか、再度確かめてください。
- ･ディスクが入っていない
- ･DVD 側が停止（続き再生メモリー機能）以外のとき
- ･挿入ディスクが VR 記録された DVD-RAM 以外のとき
- ･カセットが入っていない
- ･カセットの「つめ」が折れているとき
- ･VHS 側がオートサーチ中のとき**(➜19)**
- ･VHS 側が予約録画の待機状態のとき
- ･VHS 側が停止以外のとき
- ･テープリフレッシュ中のとき**(➜30)**

●コピー禁止処理がされているディスクを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、録画が中断されます。

●本体表示窓で DVD の動作状態表示が点滅時にダビングを開始すると、その位置からダビングが実行されます。



動作状態表示

録画開始位置を指定してダビングする

ディスクの内容をビデオカセットに録画することができます。ただし、コピー禁止処理のされていないものに限ります。

- ディスクの多くは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されており、以下の方法でも録画·録音できないようになっています。

準備
- 初期設定の「画面メッセージ」を「切」にしておく。**(➜52)**不要な文字や表示を出さなくなります。
- VHS側に「つめ」の折れていないカセット、DVD側に再生するディスクを入れる。**(➜21,34)**
- **[VHS/DVD 切換]**を押して、本体表示窓に[VHS]を表示させる。**(➜12)**

手順	ボタン	操作
1	チャンネル（トラッキング ＋/－）	"dc" チャンネルを選ぶ **数回押す** 本体表示窓  ●テレビにDVDの映像が表示されます。
2	VHS/DVD 切換	**押す** 本体表示窓で[DVD]が表示されていることを確認します。**(➜12)**
3	再生	ディスクを再生し、録画の開始点を探す **押す**
	一時停止／スロー	録画の開始点で、静止画にする **押す**
4	VHS/DVD 切換	**押す** 本体表示窓で[VHS]が表示されていることを確認します。**(➜12)**
5	再生	録画の開始点を探す **押す**
	一時停止／スロー	録画の開始点で、静止画にする **押す**
	録画	録画の一時停止にする **押す**
6	再生モード／録画モード	録画モードを選ぶ **数回押す** ● " 標準 "、"3 倍 "、"5 倍 " から選びます。
7	一時停止／スロー	**押す** ●VHS の録画と DVD の再生が同時に始まります。 テレビ画面 

■録画をやめる

1. **[停止 ■]** を押す。録画が停止します。
2. **[VHS/DVD 切換]** を押して、本体表示窓に [DVD] を表示させる。**(➜12)**
3. **[停止 ■]** を押す。DVD の再生が停止します。

■"dc"チャンネルについて

- VHS の入力チャンネルが "dc" のときのみ録画することができます。
  テレビ画面には、"DC" と表示されます。
- "dc" チャンネルにしてディスクを再生すると、テレビ画面は DVD の映像が映っていますが、VHS/DVD 出力切換は VHS 側になっています。

【お願い / ヒント】

- コピー禁止処理がされているディスクを入れていると、テレビ画面に " 録画できません " と表示されます。そのまま録画を続けたときは、映像が乱れて録画されてしまいます。

故障かな？

修理を依頼される前に、症状を確かめてください。
これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(➜67)にお問い合わせください。

電源

■電源プラグをコンセントに差し込んでいるのに、操作できない
- 予約録画の待機中になっている。(➜29)

■自動的に電源が切れた
- 電力モード設定「自動電源 切」が「2H」または「6H」になっている。(不要な電力の消費をおさえます)(➜33)

接続・設置

■テレビに本機の画面が出ない
- テレビの入力を切り換えていない。(➜18)

リモコン

■リモコンが操作できない
- 電池が消耗している。(➜11)
  使用環境、使用回数などにもよりますが、電池の寿命は約1年です。
- 本体のリモコン受信部に向けて操作していない。(➜11)
- リモコンと本体の間に障害物などがある。(➜11)

■本機(VHS側)が操作できない
- リモコンの出力がVHS側になっていない。(DVD側になっている)
- 予約録画の待機中になっている。(➜29)
- 本体とリモコンモードが合っていない。(➜32)
  電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。
- 本体をラックに入れて使用するときは、ガラス扉の厚さや色によって、操作できる範囲が短くなることがあります。

■テレビが操作できない
- メーカー番号が合っていない。(➜18)
  電池を交換すると、メーカー番号を合わせ直す必要がある場合があります。

VHS

カセット

■カセットが取り出せない
- 予約録画の待機中、または実行中になっている。(➜29)
- 録画中になっている。(➜24)

再生

■再生できない
- 他のテレビ方式(PAL(パル)、SECAM(セカム) など)で録画されたカセットは再生できません。

■再生画面がチラチラする
- ビデオヘッドが汚れている。(➜23)
- テープが古い、またはいたんでいる。(➜7)

■再生画面がブルーバックになる
- テープの未録画部分、または記録状態の悪い部分を再生している。
- 汚れたり、いたんだりしたテープを使うと、故障してブルーバック画面になることがあります。
  →このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■再生画面にノイズが出る
- 本機以外のビデオで3倍/5倍モードを使って録画されたテープを再生した場合は、テープによっては画面にノイズが出る場合があります。保存を目的とするときは、標準モードで録画することをおすすめします。(➜24)

録画・予約録画

■録画できない
- カセットの誤消去防止用の「つめ」が折れている。(➜21)
- カセットの誤消去防止用つまみが「OFF」になっている。(➜21)

■テレビ番組が録画できない
- 録画したい番組のチャンネルを選んでいない。

■Gコード予約ができない
- ガイドチャンネルが正しく設定されていない。(➜20)
- 複数のチャンネルポジションに、同じガイドチャンネルが設定されている。
  →ガイドチャンネルを正しく設定する。また、不要なチャンネルは削除する。(➜20)

■予約録画が正しくできない
- 予約内容(予約チャンネルや開始・終了時刻など)が間違っている。(➜28)
- 予約録画の待機状態になっていない。(➜27)
- 予約録画の時間帯が重なっている。

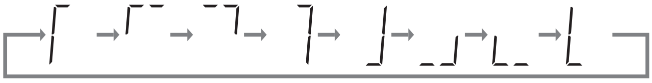
■[停止■]を押しても、予約録画が終わらない
- 予約録画実行中は[停止■]を押しても停止しません。(➜29)

■予約録画が終わっても、予約内容が消えない
- 毎日・毎週予約のときは消えません。

表示

■テープカウンター表示の値が動かない

- ●テープの未録画部分では、値は動かずに秒表示の部分が下記のようになります。



汚れたり、いたんだりしたテープを使って本機が故障したときも、上図のような表示になることがあります。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■本体表示窓の時刻表示が“0：00”で点滅している

- ●時刻が合っていない。(➜33)

■電源を切ったら、本体表示窓の表示が消えた

- ●電力モード設定「時刻表示」が「切」になっている。(➜33)

音声

■聞きたい音声が聞こえない

- ●正しい音声を選んでいない。(➜31)

■音声がステレオではない

- ●映像・音声コードで接続していない。(このときは常にモノラル音声になります)
- ●ステレオ音声を選んでいない。(➜31)

■ステレオ音声がブツブツと聞こえる

- ●トラッキングがずれている。(➜23)
- ●再生中のテープに傷などが付いている。

編集

■黒い帯状のノイズが録画された

- ●再生側ビデオがテレビに近いために、テレビからの妨害を受けている。
  →再生側のビデオをテレビから離す。

■外部機器から録画・録音できない

- ●正しく接続していない。
- ●再生機を接続した外部入力チャンネル“L1”または“L2”を選んでいない。(➜53)

■ビデオソフトをダビングしたが、映像が乱れたり、色合いが悪くなったりする

- ●コピー禁止処理されているビデオをダビングした。
  →市販されているビデオソフト(レンタルビデオも含む)などは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されているものがあります。コピー禁止処理された映像は正しく録画できません。

■DVD から録画・録音できない

- ●DVD からビデオカセットへ録画するときに、“dc”チャンネルを選んでいない。(➜55)
- ●市販されている DVD(レンタル DVD も含む)の多くは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されています。
  このようなディスクは録画・録音できません。

■編集後の音声レベルがDVD側とVHS側で合っていない

- ●ディスクによっては音声レベルが合わない場合があります。
  会話など、ある特定部分の音声レベルが小さく、または大きく設定されている場合は、ビデオカセットに録画したときに音が大きく、または小さく記録されるといった現象が起こることがあります。

DVD

再生

■[再生 ▶] を押しても、再生が始まらない　または、すぐに停止する

- ●ディスクを正しく入れていない。(➜34)
- ●再生できないディスクを入れている。(➜9)
- ●ディスクが汚れている。(➜10)
- ●初期設定の「視聴制限」で再生を制限している。(➜51)
- ●静止画データの入った MP3 ファイルでは時間がかかることがあります。また、再生後も時間が正確に表示されないことがあります。

■本体表示窓に“nodISC”と表示された

- ●ディスクが正しく入っていない。(➜34)

■本体表示窓に“noPLAY”と表示された

- ●再生できないディスクが入っている。(➜9)
- ●初期設定の「視聴制限」で再生を制限されているディスクが入っている。(➜51)

■テレビ画面に“再生できないディスクです。”と表示された

- ●ディスクが汚れている。(➜10)
- ●ディスクが汚れていないのにこのメッセージが表示されるときは、光ピックレンズ※の汚れが考えられます。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

※ディスクの信号を読みとるための本機に内蔵されているレンズ。

- ●ファイナライズされていない DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW/+R/+R DL/+RW/CD-R/CD-RW を再生しようとした。(➜9)

■テレビ画面に“GXX　CXX　の画像ファイルは表示できません”と表示された

- ●本機で表示できない画像ファイルを再生しようとした。

■DVD-R が再生できない

- ●当社製 DVD レコーダー(別売)で録画していない。
- ●当社製 DVD レコーダー側でファイナライズしていない。
  →このようなディスクを再生すると、しばらく読み込みしたあと、本体表示窓に“noPLAY”と表示され、再生できません。

■テレビに映像が映らない、または画面サイズがおかしい

- ●正しく接続していない。
- ●テレビの入力切換が正しくない。
- ●初期設定の「 TV アスペクト」を正しく設定する。(➜51)
- ●テレビ側の画面モードを変更する。
- ●プログレッシブ入力に対応していないテレビでプログレッシブ映像を見ようとした。
  →［ 取消し ］を映像が正しく表示されるまで押したままにしてください。「525i」(➜48)に設定が戻ります。

■プログレッシブ出力時に、映像の一部が二重にぶれて見える

- ●映像ソフトそのものの編集方法や素材の状態に起因する現象ですので、故障ではありません。
  →「画質メニュー」の「ビデオ出力モード」を「525i」にする。(インターレースでは支障なく再生できます)(➜48)

■早送り(早戻し)をしたら映像が乱れる

- ●多少乱れることがありますが、故障ではありません。

■音声が出ない、または音がおかしい
- ●正しく接続していない。
- ●接続した機器(アンプなど)で音量調節する。
- ●接続した機器の入力切換が正しくない。
- ●早見(遅見)･早聞き(遅聞き)再生中は、デジタル音声は PCM の 2 チャンネル出力になります。
- ●再生速度を切り換えるときに、音が途切れることがあります。

■音声効果が働かない
- ●早見(遅見)･早聞き(遅聞き)再生中は、アドバンストサラウンドは働きません。

■耳を刺激するような音が出る
- ●他の機器とデジタル接続しているときは、接続した機器に応じて、初期設定の「Dolby Digital」および「DTS Digital Surround」を正しく設定する。(➜17, 52)

■音声言語、字幕言語が切り換えられない
- ●複数の言語が入っていないディスクは切り換えできません。
- ●**[音声]** などを押しても切り換えできないディスクでも、メニュー画面等で切り換えできる場合があります。

■字幕が出ない
- ●字幕の入っていないディスクでは出ません。
- ●字幕が「切」になっている。(➜41)
- ●A-B リピート再生の A 点、B 点や、マーカーを付けたところの前後では、字幕が表示されないことがあります。

■アングルを変えて見ることができない
- ●複数のアングルが記録されている場面でのみ働きます。

■画面メッセージが出ない
- ●初期設定の「画面メッセージ」を「切」にしている。(➜52)

■視聴制限で設定した暗証番号を忘れた DVD 側の設定を工場出荷時に戻したい
- ●以下の操作をすると、初期設定の内容を工場出荷時に戻すことができます。

→ 1. 停止中に本体 DVD 操作部の **[再生 ▶]**、**[開 / 閉 ⏏]**、VHS 操作部の **[巻戻し ◀◀]** の 3 つを本体表示窓に“I∏I(Initialize（イニシャライズ）の略)”と表示されるまで同時に押し続ける。

2. 本体の電源を切 / 入する。

自己診断表示機能

本機は異常の状態をお知らせする自己診断表示機能を持っています。
- ●本機の設置中や使用中に異常を検出すると、本体表示窓に下記のサービス番号を表示します。
- ●サービス番号は、例えば“U11”のように、英文字と 2 けたの数字で表示されます。

■U11
ビデオヘッドが汚れている
- ●ビデオヘッドをクリーニングする。(➜23)

■U30
リモコンモードが合っていない
- ●リモコンモードを合わせる。(➜32)

■H □□または F □□
異常と思われます

(H 、F 以降の数字は、本機の状態によって変わります)
- ●「故障かな？」の項目にしたがって点検してください。それでもサービス番号が消えないときは、以下の操作をしてください。

1 電源プラグをコンセントから抜き、数秒後再び差し込む。

2 **[VHS/DVD 電源]** を押し、電源を入れる。
(直ることがあります)

上記の操作をしてもサービス番号が消えない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの修理ご相談窓口へ修理を依頼してください。
なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、H01」などとお知らせください。

Q&A

電源

■転居先で使えるか？
●日本国内であれば使えます。
→転居先で受信チャンネルを正しく設定し直してください。(➜19,20)

■海外でも使えるか？
●本機は日本国内専用です。
海外では電源電圧などが異なるため使えません。

接続

■モノラルテレビと接続したいが？
●ステレオ←→モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。(➜14,61)

■ビデオ入力(映像・音声)端子がないテレビと接続したいが？
●本機とは接続できません。

■ハイビジョンテレビに接続できるか？
●できます。
特にDVDの場合は、高画質で楽しむために、DVD対応のコンポーネントビデオ入力端子に接続することをおすすめします。ハイビジョン方式(MUSE)専用のコンポーネントビデオ入力端子には接続しないでください。

■S映像入力端子、コンポーネントビデオ入力端子、D端子すべてがあるテレビの場合、どれに接続したらよいか？
●DVD側の映像のみをお楽しみいただく場合は、コンポーネントビデオ入力端子またはD映像端子に接続することをおすすめします。(➜16)
コンポーネントビデオ入力端子またはD映像端子に接続すると、DVD に記録されたままの状態で信号を出力するため、S映像入力端子に接続したときよりも、さらに忠実に色を再現します。ただし、この接続で VHS 側の映像を見ることはできません。VHS 側の映像をお楽しみいただくときは、上記接続に加え VHS/DVD 共用出力 1 端子とテレビのビデオ入力端子を接続してください。

■プログレッシブ映像を楽しむには、どんなテレビが必要か？
●当社製のD2、D3、D4のいずれかの入力端子のあるテレビであれば対応しています。テレビの説明書をご覧ください。

■ドルビーデジタルやDTSのマルチチャンネル音声を楽しみたいが、どのような機器が必要か？
●デコーダー内蔵のAVアンプと3本以上のスピーカーを用意すれば、マルチチャンネル音声が楽しめます。

VHS/DVD 出力切換

■電源を入れた直後、DVD の映像に切り換わるときがあるが、なぜか？
●本体にディスクが入ったまま電源を入れると、ディスクによっては自動的に再生が始まることがあります。
このとき VHS 側だった映像が、自動的に DVD 側に切り換わる場合があります。
電源を入れるときにディスクが入っていないときは、DVD 側の映像には切り換わりません。

VHS

カセット

■S-VHSまたはD-VHSカセットを使って、録画・再生できるか?
●できます。 ただし、S-VHS、D-VHS カセットを使っても、VHS方式でしか録画できません。
●S-VHS 方式で録画されたカセットは、再生はできますが、S-VHS 本来の高画質にはなりません。
デジタル(D-VHS)方式で録画された D-VHS カセットは再生できません。(➜21)

■ S-VHS-CまたはVHS-Cカセットを使って、録画・再生できるか?
●カセットアダプター(別売)を使えばできます。
●ただし、S-VHS-C カセットを使っても、VHS方式でしか録画できません。
●S-VHS 方式で録画された S-VHS-C カセットは、再生はできますが、S-VHS 本来の高画質にはなりません。

再生

■海外で録画したカセットを再生できるか？
●同じNTSC 方式のSP(標準)、またはEP(3倍)で録画されたものならできます。

■本機の 5 倍モードで録画したカセットを他のビデオで再生できるか？
●できません。

録画・予約録画

■録画中に、ステレオ放送の左または右音声のみ(2 カ国語放送の主または副音声のみ)に切り換えて聞くことはできるか？
●できます。(➜31)
→ [音声] で聞きたい音声を選んでください。

■ステレオ放送の左または右音声のみ(2 カ国語放送の主または副音声のみ)を録音できるか？
●できません。(➜31)

■VHF/UHF 放送の録画中に、テレビで BS 放送を見ることはできるか？
●BS チューナー内蔵テレビであれば、見ることができます。

■予約録画は予約した順番に行われるのか？
●予約内容の日付・時刻順に行われます。

■予約録画の待機中に、他のカセットを見ることができるか？ またはカセットを入れ替えることができるか？
●予約録画の待機状態を解除しないとできません。(➜29)

■テレビの電源は入れていなくてもいいのか？
●本機だけで予約録画する場合は、入れなくてもかまいません。
●テレビのチューナーを使って BS 番組などを予約録画する場合、予約録画中は電源を入れておく必要があります。

DVD

■海外で買った DVD は再生できるか？
●リージョン番号が「ALL」または「2」を含んでいるもので、映像方式が NTSC であれば再生できます。

■海外で買ったビデオ CD は再生できるか？
●映像方式が NTSC であれば再生できます。

■リージョン番号がないディスクは再生できるか？
●DVDのリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。
規格を満たしていない DVD は再生できません。

用語解説

■サムネイル
複数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことです。

■サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、回数が多いほど原音に近い音を再現できます。

■ダイナミックレンジ
機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

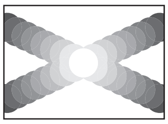
■デコーダー
DVD などに圧縮して記録した音声データを通常の音声信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

■ドルビーデジタル
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。
ステレオ（2ch）はもちろん、最大5.1chのサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

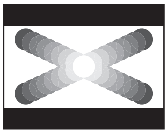
■ドルビープロロジック
4チャンネル信号を2チャンネルに記録し、演算処理により、再び4チャンネルの独立した信号を再生するサラウンドシステムです。

■パン＆スキャン / レターボックス
DVD ソフトの多くは、ワイドテレビ画面（横縦比が 16:9）を前提に制作されているため、従来のサイズ（横縦比が 4:3）のテレビに映し出そうとすると、16:9 の映像が 4:3 に収まらなくなります。4:3 のテレビに映し出すには 2 つの方法があります。

- **パン＆スキャン**
  映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。



- **レターボックス**
  画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で 16:9 の映像を映し出します。

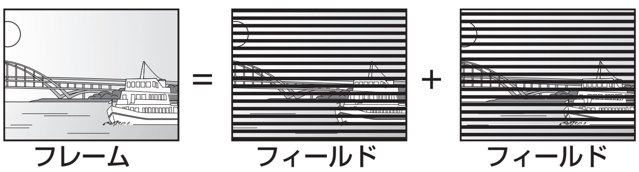


■ビットレート
1 秒間の映像･音声などのデータ量を表します。単位は“ bps(bit per second= ビット / 秒)”が使われます。数値が大きいほど画質･音質もよくなりますが、記録時間は短くなります。

■フィルム素材 / ビデオ素材
一般的に、DVD ソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVD ソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが 24 コマ / 秒または 30 コマ / 秒で記録されているもの。（ 映画撮影のフィルムは、24 コマ / 秒で画像が記録されています）
- **ビデオ素材**
  映像情報が 60 フィールド / 秒で記録されているもの。

■フレーム / フィールド
フレームとは、テレビの 1 枚の画面のことです。1 フレームはフィールドと呼ばれる 2 枚の画面からなっています。



- フレームスチルのときは、2 枚のフィールドの間でぶれを生じることがありますが、画質はよくなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ぶれは生じません。

■プレイバックコントロール（PBC）
ビデオ CD の再生方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。

■プログレッシブ出力 / インターレース出力
従来の映像信号（NTSC）は 525i（i：インターレース＝飛び越し走査）といわれるのに対し、その525i信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を 525p（p：プログレッシブ＝順次走査）といいます。プログレッシブでは、従来の映像出力端子、S映像出力端子よりも高画質な映像が楽しめます。

■マルチセッション
CD-R/RW ディスクに複数回に分けて記録することをいいます。ディスク上のデータは [リードイン / プログラムエリア / リードアウト] で 1 つのセッションを構成しています。
CD-R/RW ディスクに音楽などのデータを追加したときは、新しいセッションが追加されていきます。こうしてできたものがマルチセッションディスクです。
通常の音楽CDプレーヤーでは最初のセッションしか再生できませんが、本機では複数のセッションが再生できます。

■リニア PCM（LPCM）
圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。

■Bitstream（ビットストリーム）
圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
AV アンプなどに搭載されたデコーダーによって 5.1ch などのマルチチャンネル音声信号に戻されます。

■ DTS（ディーティーエス）（Digital（デジタル） Theater（シアター） Systems（システムズ））
多くの映画館で採用されている最大 5.1ch のサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

■I/P/B
DVD では、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは各画面ごとに記録する方式をとっています。

- **I-picture（ピクチャー）**
  共用データの基準として、単独で記録されるフレーム。
- **P-picture（ピクチャー）**
  過去の I-picture または P-picture を元に作られるフレーム。
- **B-picture（ピクチャー）**
  I-picture、P-picture 両方を元に作られ、両者の間をうめるフレーム。

I-pictureの画質が最もよいため、画質調整などをするのに向いています。

■ID3 タグ
MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる文字情報を保存する領域があります。ここにタイトルやアーティスト名など、曲についての情報を保存しておくことができます。この情報は、ID3 タグ対応のプレーヤーで再生時に画面上に表示させることができますが、本機は ID3 タグに対応していないため、表示させることができません。

別売品のご紹介

■JPEG（Joint Photographic Experts Group）
カラー静止画を圧縮、展開する規格のひとつです。
デジタルカメラなどで保存形式として JPEG を選ぶと、元のデータ容量の 1/10 ～ 1/100 に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

■MP3（MPEG Audio Layer 3）
元の音質をあまり損なうことなく、音声を 10 分の 1 程度に圧縮できる音声圧縮方式です。

■MPEG4（Moving Picture Expert Group 4）
モバイル機器やネットワーク上での利用を目的に作られた圧縮方式で、低ビットレートでも高能率で記録できます。本機では当社製 SD マルチカメラで撮影および当社製 DVD レコーダーで記録された MPEG4 データを再生します。

■UDF（Universal Disk Format）
DVD や CD などの光ディスクに採用されているフォーマットのひとつです。

■WMA（Windows Media™ Audio）
米国 Microsoft Corporation で開発された音声圧縮フォーマットです。これにより MP3 より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

本書で紹介させていただいている別売品の一例です。
●品番は 2006 年 2 月現在のものです。

■映像・音声コード（ステレオ ⟷ ステレオ）
●RP-CVP3G05（0.5 m）
●RP-CVP3G10（1.0 m）
●RP-CVP3G15（1.5 m）
●RP-CVP3G20（2.0 m）
●RP-CVP3G30（3.0 m）
●RP-CVP3G50（5.0 m）
●RP-CVP3G100（10.0 m）

■映像・音声コード（ステレオ ⟷ モノラル）
●RP-CVP2G10（1.0 m）
●RP-CVP2G20（2.0 m）
●RP-CVP2G30（3.0 m）

■音声コード（ステレオ ⟷ ステレオ）
●RP-CAP3G05（0.5 m）
●RP-CAP3G10（1.0 m）
●RP-CAP3G15（1.5 m）
●RP-CAP3G20（2.0 m）
●RP-CAP3G30（3.0 m）
●RP-CAP3G50（5.0 m）
●RP-CAP3G100（10.0 m）

■S 映像・音声コード（ステレオ ⟷ ステレオ）
●RP-CVS3G10（1.0 m）
●RP-CVS3G20（2.0 m）
●RP-CVS3G30（3.0 m）

■S 映像コード
●RP-CVS0G10（1.0 m）
●RP-CVS0G20（2.0 m）
●RP-CVS0G30（3.0 m）
●RP-CVS0G50（5.0 m）

■D 端子ピンケーブル
●RP-CVCDG15（1.5 m）
●RP-CVCDG30（3.0 m）

■D 端子ケーブル
●RP-CVDG15A（1.5 m）
●RP-CVDG30A（3.0 m）
●RP-CVDG50A（5.0 m）

■カセットアダプター
●VW-TCA7

別売品は販売店でお買い求めいただけます
松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます
Pana Sense
http://www.sense.panasonic.co.jp/

メモ

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電　源	AC 100 V ± 10 %、50/60 Hz ± 10 %
消費電力	動作時：約 19 W
	(時刻表示点灯時・約 1.4 W、時刻表示消灯時・約 1.1 W)

■本体外形寸法
約幅 430 mm ×高さ 89 mm ×奥行 259 mm

■本体質量
約 4.0 kg

■許容動作温度
5 ℃～ 35 ℃

■許容動作湿度
35 %～ 80 %(結露なきこと)

■時計部
クォーツ制御、24 時間、デジタル表示

■VHS 部

録画方式	VHS 規格
テープ速度	標準　:33.35 mm/ 秒、 3 倍　:11.12 mm/ 秒
使用カセット	VHS ビデオカセット
録画時間	最大 9 時間(T-180 使用、3 倍の場合)
早送り・巻き戻し時間	約 54 秒(T-120 使用の場合)、 高速リターン時:約43秒(T-120使用の場合)

映像方式

●テレビジョン方式	NTSC 方式、525 本、60 フィールド
●入力	1.0 Vp-p、75 Ω(ピンジャック)
●出力	1.0 Vp-p、75 Ω(ピンジャック)
●受信チャンネル	VHF　:1 ～ 12 チャンネル UHF　:13 ～ 62 チャンネル CATV　:C13 ～ C63 チャンネル
●VHF/UHF アンテナ入力	75 Ω

音声方式

●入力	309 mV、入力インピーダンス 47 kΩ (ピンジャック)
●出力	309 mV、出力インピーダンス 1 kΩ (ピンジャック)
●トラック数	3 トラック (ハイファイ: 2トラック、ノーマル: 1トラック)
ハイファイ音声特性	ダイナミックレンジ :90 dB 以上 ワウフラッター　:0.005 % 以下 周波数特性　:20 Hz ～ 20 kHz

■DVD 部

再生可能ディスク(8 cm、12 cm)

- ●DVD (DVD ビデオ)
- ●DVD-RAM(DVD-VR、MP3※1※5、JPEG※3※5、MPEG4※4※5)
- ●DVD-R(DVDビデオ、DVD-VR、MP3※1※5、JPEG※3※5、MPEG4※4※5)
- ●DVD-R DL(DVD ビデオ、DVD-VR)
- ●DVD-RW(DVD ビデオ、DVD-VR、MP3※1※5、JPEG※3※5、MPEG4※4※5)
- ●+R/+RW(ビデオ)
- ●+R DL(ビデオ)
- ●CD、CD-R、CD-RW
  [ビデオ CD、スーパービデオ CD(IEC62107 準拠)、CD-DA、MP3※1※5、WMA※2※5、JPEG※3※5、MPEG4※4※5、HighMAT レベル 2(音声、画像)]

※1 MPEG-1Layer3、MPEG-2 Layer3
※2 Windows Media Audio Ver9.0 L3
Multiple Bit Rate (MBR) との互換性はありません。
※3 Exif Ver2.1 JPEG ベースライン方式準拠
画像解像度:160×120 ～ 6144×4096
(サブサンプリング:4:4:4、4:2:2、4:2:0、4:0:0)
極端に細長い画像は表示されない場合があります。
※4 当社製SDマルチカメラで撮影および当社製DVDレコーダーで記録された MPEG4 データ[SD VIDEO 基準(ASF形式/映像:MPEG4(Simple Profile)基準/音声:G.726 基準)]
※5 MP3/WMA/JPEG/MPEG4 を合わせた再生可能な最大コンテンツと最大グループの合計
再生可能な最大コンテンツ数(トラック数と画像数)
:4000
再生可能な最大グループ数 :400

信号方式	NTSC	
映像出力		
●ライン	1.0 Vp-p、75 Ω(ピンジャック)	
●S 映像	Y 出力	:1.0 Vp-p、75 Ω
	C 出力	:0.286 Vp-p、75 Ω
●D1/D2 映像	Y 出力	:1.0 Vp-p、75 Ω
	PB/CB 出力	:0.7 Vp-p、75 Ω
	PR/CR 出力	:0.7 Vp-p、75 Ω
音声出力	2 Vrms(1 kHz、0 dB)(ピンジャック) 負荷インピーダンス 10 kΩ	

音声出力特性

●周波数特性
DVD(リニア音声) : 4 Hz ～ 22 kHz(48 kHz サンプリング)、
4 Hz ～ 44 kHz(96 kHz サンプリング)
CD : 4 Hz ～ 20 kHz(JEITA)

●S/N 比
CD : 115 dB(JEITA)(DVD 専用出力端子)

●ダイナミックレンジ
DVD(リニア音声) : 99 dB、
CD : 97 dB(JEITA)(DVD 専用出力端子)

●全高調波歪率
CD : 0.0035 %(JEITA)(DVD専用出力端子)

●デジタル音声出力(PCM/ ビットストリーム)
同軸デジタル出力

市外局番入力チャンネル設定一覧表

市外局番入力チャンネル設定(➔19)を行うと、この表のように自動的に放送局が登録されます。
市外局番に変更があったときでも、この表の市外局番で設定してください。

**地上デジタル放送の導入にともない、一部の地域では、地上アナログ放送局のチャンネルが変更になることがあります。
この場合、市外局番チャンネル設定を行ったあと、マニュアルチャンネル設定で修正が必要になります。**

都道府県	都市名	市外局番	PO(チャンネルポジション)/CH(受信チャンネル)・表示(表示チャンネル)・ガイドCH(ガイドチャンネル)																			
			PO 1				PO 2				PO 3				PO 4				PO 5			
			放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH
北海道	札幌	011	HBCテレビ	1	1	1					NHK総合札幌	3	3	80	TV北海道	17	17	17	STVテレビ	5	5	5
	旭川	0166					NHK教育札幌	2	2	90					TV北海道	33	33	17				
	北見	0157					NHK教育札幌	2	2	90												
	帯広	0155	HTBテレビ	34	34	35									NHK総合札幌	4	4	80				
	釧路	0154					NHK教育札幌	2	2	90					TV北海道	29	29	17				
	室蘭	0143					NHK教育札幌	2	2	90					TV北海道	29	29	17				
	函館	0138	TV北海道	21	21	17	UHBテレビ	27	27	27	HTBテレビ	35	35	35	NHK総合札幌	4	4	80				
青森	青森	017	青森放送	1	1	1					NHK総合青森	3	3	80					NHK教育青森	5	5	90
	八戸	0178													青森朝日放送	31	31	34				
秋田	秋田	018					NHK教育秋田	2	2	90									秋田朝日放送	31	31	31
	大館	0186	青森放送	1	1	1									NHK総合秋田	4	4	80	秋田朝日放送	59	59	31
岩手	盛岡	019	東北放送	1	1	1	めんこいテレビ	33	33	33	テレビ岩手	35	35	35	NHK総合盛岡	4	4	80	IATテレビ	31	31	20
宮城	仙台	022	東北放送	1	1	1					NHK総合仙台	3	3	80					NHK教育仙台	5	5	90
山形	山形	023													NHK教育山形	4	4	90	さくらんぼ	30	30	30
	鶴岡	0235	山形放送	1	1	10					NHK総合山形	3	3	80					さくらんぼ	24	24	30
福島	福島	024	東北放送	1	1	1	NHK教育福島	2	2	90					テレビユー福島	31	31	31				
	会津若松	0242	NHK総合福島	1	1	80					NHK教育福島	3	3	90	テレビユー福島	47	47	31				
	いわき	0246					テレビユー福島	32	32	31					NHK総合福島	4	4	80				
茨城	水戸	029	NHK総合東京	44	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	46	3	90	日本テレビ	42	4	4	放送大学	16	16	16
栃木	宇都宮	028	NHK総合東京	51	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	49	3	90	日本テレビ	53	4	4	とちぎテレビ	31	31	23
群馬	前橋	027	NHK総合東京	52	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	50	3	90	日本テレビ	54	4	4	群馬テレビ	48	48	48
埼玉	さいたま	048	NHK総合東京	1	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
千葉	千葉	043	NHK総合東京	1	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
東京	東京	03	NHK総合東京	1	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
神奈川	横浜	045	NHK総合東京	1	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
山梨	甲府	055	NHK総合甲府	1	1	80					NHK教育甲府	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	山梨放送	5	5	5
新潟	新潟	025									新潟テレビ21	21	21	21	テレビ新潟	29	29	29	新潟放送	5	5	5
長野	長野	026					NHK総合長野	2	2	80					長野朝日放送	20	20	20				
	飯田	0265	長野朝日放送	44	44	20					NHK教育長野	3	3	90	NHK総合長野	4	4	80				
富山	富山	0764	北日本放送	1	1	1	MROテレビ	6	6	6	NHK総合富山	3	3	80	石川テレビ	37	37	37				
石川	金沢	076	北日本放送	1	1	1					富山テレビ	34	34	34	NHK総合金沢	4	4	80				
福井	福井	0776									NHK教育福井	3	3	90								
静岡	静岡	054					NHK教育静岡	2	2	90					静岡第一テレビ	31	31	31				
	浜松	053	東海テレビ	1	1	1	静岡第一テレビ	30	30	31					NHK総合静岡	4	4	80	CBCテレビ	5	5	5
岐阜	岐阜	058	東海テレビ	1	1	1					NHK総合名古屋	39	3	80					CBCテレビ	5	5	5
愛知	名古屋	052	東海テレビ	1	1	1					NHK総合名古屋	3	3	80					CBCテレビ	5	5	5
三重	津	059	東海テレビ	1	1	1	テレビ愛知	25	25	25	NHK総合名古屋	31	3	80	毎日放送	4	4	4	CBCテレビ	5	5	5
滋賀	大津	077					NHK総合大阪	28	28	80					毎日放送	36	4	4				
京都	京都	075					NHK総合大阪	32	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日放送	4	4	4				
大阪	大阪	06					NHK総合大阪	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日放送	4	4	4				
兵庫	神戸	078					NHK総合大阪	28	2	80	サンテレビ	36	36	36	毎日放送	31	4	4	テレビ大阪	19	19	19
奈良	奈良	0742					NHK総合大阪	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日放送	4	4	4	NHK総合大阪	51	51	―
和歌山	和歌山	073					NHK総合大阪	32	2	80					毎日放送	42	4	4	テレビ和歌山	30	30	30
鳥取	鳥取	0857	日本海テレビ	1	1	1					NHK総合鳥取	3	3	80	NHK教育鳥取	4	4	90				
島根	松江	0852	日本海テレビ	30	30	1																
	浜田	0855					NHK総合松江	2	2	80	日本海テレビ	54	54	1					山陰放送	5	5	10
岡山	岡山	086	OHKテレビ	35	35	35	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育岡山	3	3	90					NHK総合岡山	5	5	80
広島	広島	082	テレビ新広島	31	31	31					NHK総合広島	3	3	80	中国放送	4	4	4				
	福山	084	テレビ新広島	54	54	31					NHK教育広島	3	3	90					NHK総合広島	5	5	80
山口	山口	083	NHK教育山口	1	1	90	KBCテレビ	2	2	1	TVQ九州放送	23	23	19	山口朝日放送	28	28	28	大分放送	5	5	5
香川	高松	087	テレビせとうち	19	19	23					NHK教育高松	39	39	90	毎日放送	4	4	4	NHK総合高松	37	37	80
徳島	徳島	088	四国放送	1	1	1	テレビ大阪	19	19	19	NHK総合徳島	3	3	80	毎日放送	4	4	4	テレビ和歌山	55	55	30
愛媛	松山	089	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育松山	2	2	90	広島テレビ	12	12	12	広島ホーム	35	35	35	テレビ新広島	31	31	31
	新居浜	0897	テレビせとうち	23	23	23	NHK総合松山	2	2	80	広島テレビ	12	12	12	NHK教育松山	4	4	90	テレビ新広島	31	31	31
高知	高知	0888													NHK総合高知	4	4	80				
福岡	福岡	092	KBCテレビ	1	1	1	サガテレビ	36	36	36	NHK総合福岡	3	3	80	RKB毎日放送	4	4	4	TVQ九州放送	19	19	19
	北九州	093					KBCテレビ	2	2	1	FBSテレビ	35	35	37	サガテレビ	36	36	36	TVQ九州放送	23	23	19
佐賀	佐賀	0952	KBCテレビ	57	57	1	NHK教育佐賀	40	40	90	FBSテレビ	52	52	37	サガテレビ	36	36	36	TVQ九州放送	14	14	19
長崎	長崎	095	NHK教育長崎	1	1	90	KBCテレビ	57	57	1	NHK総合長崎	3	3	80	RKB毎日放送	4	4	4	長崎放送	5	5	5
熊本	熊本	096	KBCテレビ	1	1	1	NHK教育熊本	2	2	90	熊本朝日放送	16	16	16	KKTテレビ	22	22	22	長崎放送	5	5	5
大分	大分	097	KBCテレビ	1	1	1					NHK総合大分	3	3	80	RKB毎日放送	4	4	4	大分放送	5	5	5
宮崎	宮崎	0985	南日本放送	1	1	1					テレビ宮崎	35	35	35								
	延岡	0982					NHK教育宮崎	2	2	90					NHK総合宮崎	4	4	80				
鹿児島	鹿児島	099	南日本放送	1	1	1	テレビ熊本	34	34	34	NHK総合鹿児島	3	3	80	テレビ宮崎	35	35	35	NHK教育鹿児島	5	5	90
	阿久根	0996	鹿児島読売	17	17	30	テレビ熊本	34	34	34					鹿児島放送	23	23	32				
沖縄	那覇	098	琉球朝日放送	28	28	28	NHK総合沖縄	2	2	80												

（VHF/UHF）

●一覧表の ① ～ ⑫ の放送局は、リモコンの [1] ～ [12] を押すだけで選ぶことができます。
●マニュアルチャンネル設定を行う方は、各放送局のガイドチャンネルを「ガイド CH」の項目のとおり合わせてください。
（例：NHK 総合テレビ→ 80、NHK 教育テレビ→ 90）

PO（チャンネルポジション）／CH（受信チャンネル）・表示（表示チャンネル）・ガイドCH（ガイドチャンネル）

PO ⑥				PO ⑦				PO ⑧				PO ⑨				PO ⑩				PO ⑪				PO ⑫			
放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH
								ＵＨＢテレビ	27	27	27					ＨＴＢテレビ	35	35	35					ＮＨＫ教育札幌	12	12	90
				ＳＴＶテレビ	7	7	5	ＵＨＢテレビ	37	37	27	ＮＨＫ総合札幌	9	9	80	ＨＴＢテレビ	39	39	35	ＨＢＣテレビ	11	11	1				
				ＳＴＶテレビ	7	7	5	ＵＨＢテレビ	59	59	27	ＮＨＫ総合札幌	9	9	80	ＨＴＢテレビ	61	61	35	ＨＢＣテレビ	53	53	1				
ＨＢＣテレビ	6	6	1					ＵＨＢテレビ	32	32	27					ＳＴＶテレビ	10	10	5					ＮＨＫ教育札幌	12	12	90
				ＳＴＶテレビ	7	7	5	ＵＨＢテレビ	41	41	27	ＮＨＫ総合札幌	9	9	80	ＨＴＢテレビ	39	39	35	ＨＢＣテレビ	11	11	1				
				ＳＴＶテレビ	7	7	5	ＵＨＢテレビ	37	37	27	ＮＨＫ総合札幌	9	9	80	ＨＴＢテレビ	39	39	35	ＨＢＣテレビ	11	11	1				
ＨＢＣテレビ	6	6	1													ＮＨＫ教育札幌	10	10	90					ＳＴＶテレビ	12	12	5
								ＵＨＢテレビ	27	27	27					青森朝日放送	34	34	34	ＨＴＢテレビ	35	35	35	青森テレビ	38	38	38
				ＮＨＫ教育青森	7	7	90					ＮＨＫ総合青森	9	9	80					青森放送	11	11	1	青森テレビ	33	33	38
												ＮＨＫ総合秋田	9	9	80					秋田放送	11	11	11	秋田テレビ	37	37	37
秋田放送	6	6	11					ＮＨＫ教育秋田	8	8	90													秋田テレビ	57	57	37
ＩＢＣテレビ	6	6	6	ミヤギテレビ	34	34	34	ＮＨＫ教育盛岡	8	8	90					東日本放送	32	32	32					仙台放送	12	12	12
				東日本放送	32	32	32					ミヤギテレビ	34	34	34									仙台放送	12	12	12
テレビユー山形	36	36	36					ＮＨＫ総合山形	8	8	80					山形放送	10	10	10					山形テレビ	38	38	38
ＮＨＫ教育山形	6	6	90					テレビユー山形	22	22	36													山形テレビ	39	39	38
福島中央テレビ	33	33	33	東日本放送	32	32	32	ミヤギテレビ	34	34	34	ＮＨＫ総合福島	9	9	80	福島放送	35	35	35	福島テレビ	11	11	11	仙台放送	12	12	12
福島テレビ	6	6	11	東日本放送	32	32	32	福島中央テレビ	37	37	33	ミヤギテレビ	34	34	34	福島放送	41	41	35					仙台放送	12	12	12
福島中央テレビ	34	34	33					福島テレビ	8	8	11					ＮＨＫ教育福島	10	10	90					福島放送	36	36	35
ＴＢＳテレビ	40	6	6					フジテレビ	38	8	8	千葉テレビ	39	46	46	テレビ朝日	36	10	10					テレビ東京	32	12	12
ＴＢＳテレビ	55	6	6					フジテレビ	57	8	8					テレビ朝日	41	10	10					テレビ東京	44	12	12
ＴＢＳテレビ	56	6	6	放送大学	40	16	16	フジテレビ	58	8	8	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ朝日	60	10	10					テレビ東京	62	12	12
ＴＢＳテレビ	6	6	6	テレビ埼玉	38	38	38	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	群馬テレビ	48	48	48	テレビ東京	12	12	12
ＴＢＳテレビ	6	6	6	ｔｖｋ	42	42	42	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ東京	12	12	12
ＴＢＳテレビ	6	6	6	ｔｖｋ	42	42	42	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ東京	12	12	12
ＴＢＳテレビ	6	6	6	ｔｖｋ	42	42	42	フジテレビ	8	8	8					テレビ朝日	10	10	10					テレビ東京	12	12	12
テレビ山梨	37	37	37	ＴＢＳテレビ	6	6	6	フジテレビ	8	8	8					テレビ朝日	10	10	10					テレビ東京	12	12	12
								ＮＨＫ総合新潟	8	8	80					新潟総合テレビ	35	35	35					ＮＨＫ教育新潟	12	12	90
テレビ信州	30	30	30									ＮＨＫ教育長野	9	9	90	長野放送	38	38	38	信越放送	11	11	11				
信越放送	6	6	11					テレビ信州	42	42	30					長野放送	40	40	38								
チューリップ	32	32	32													ＮＨＫ教育富山	10	10	90					富山テレビ	34	34	34
ＭＲＯテレビ	6	6	6	北陸朝日放送	25	25	25	ＮＨＫ教育金沢	8	8	90					テレビ金沢	33	33	33					石川テレビ	37	37	37
ＭＲＯテレビ	6	6	6									ＮＨＫ総合福井	9	9	80					福井放送	11	11	11	福井テレビ	39	39	39
静岡朝日テレビ	33	33	33									ＮＨＫ総合静岡	9	9	80					ＳＢＳテレビ	11	11	11	テレビ静岡	35	35	35
ＳＢＳテレビ	6	6	11	テレビ愛知	25	25	25	ＮＨＫ教育静岡	8	8	90					静岡朝日テレビ	28	28	33					テレビ静岡	34	34	35
テレビ愛知	25	25	25	岐阜テレビ	37	37	37	三重テレビ	33	33	33	ＮＨＫ教育名古屋	9	9	90					メ～テレ	11	11	11	中京テレビ	35	35	35
岐阜テレビ	37	37	37	中京テレビ	35	35	35	三重テレビ	33	33	33	ＮＨＫ教育名古屋	9	9	90					メ～テレ	11	11	11	テレビ愛知	25	25	25
ＡＢＣテレビ	6	6	6	三重テレビ	33	33	33	関西テレビ	8	8	8	ＮＨＫ教育名古屋	9	9	90	読売テレビ	10	10	10	メ～テレ	11	11	11	中京テレビ	35	35	35
ＡＢＣテレビ	38	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	40	8	8	びわ湖放送	30	30	30	読売テレビ	42	10	10					ＮＨＫ教育大阪	46	46	90
ＡＢＣテレビ	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10					ＮＨＫ教育大阪	12	12	90
ＡＢＣテレビ	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10					ＮＨＫ教育大阪	12	12	90
ＡＢＣテレビ	41	6	6					関西テレビ	43	8	8					読売テレビ	47	10	10					ＮＨＫ教育大阪	45	12	90
ＡＢＣテレビ	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10	奈良テレビ	55	55	55	ＮＨＫ教育大阪	12	12	90
ＡＢＣテレビ	44	6	6					関西テレビ	46	8	8					読売テレビ	48	10	10					ＮＨＫ教育大阪	25	12	90
																山陰放送	22	22	10					山陰中央テレビ	24	24	34
ＮＨＫ総合松江	6	6	80					山陰中央テレビ	34	34	34					山陰放送	10	10	10					ＮＨＫ教育松江	12	12	90
								山陰中央テレビ	58	58	34	ＮＨＫ教育松江	9	9	90												
				瀬戸内海放送	25	25	33					西日本放送	9	9	9					山陽放送	11	11	11				
				ＮＨＫ教育広島	7	7	90					広島ホーム	35	35	35									広島テレビ	12	12	12
				中国放送	7	7	4					広島ホーム	57	57	35					広島テレビ	11	11	12				
				テレビ山口	38	38	38	ＲＫＢ毎日放送	8	8	4	ＮＨＫ総合山口	9	9	80	テレビ西日本	10	10	9	山口放送	11	11	11	ＦＢＳテレビ	35	35	37
ＡＢＣテレビ	6	6	6	瀬戸内海放送	33	33	33	関西テレビ	8	8	8	西日本放送	9	9	9	読売テレビ	10	10	10	山陽放送	29	29	11	ＯＨＫテレビ	31	31	35
ＡＢＣテレビ	6	6	6	サンテレビ	36	36	36	関西テレビ	8	8	8					読売テレビ	10	10	10					ＮＨＫ教育徳島	38	12	90
ＮＨＫ総合松山	6	6	80	愛媛朝日テレビ	25	25	25	あいテレビ	29	29	29	西日本放送	9	9	9	南海放送	10	10	10	山陽放送	11	11	11	テレビ愛媛	37	37	37
南海放送	6	6	10	瀬戸内海放送	33	33	33	あいテレビ	27	27	29	西日本放送	9	9	9	愛媛朝日テレビ	14	14	25	山陽放送	11	11	11	テレビ愛媛	36	36	37
ＮＨＫ教育高知	6	6	90					高知放送	8	8	8					テレビ高知	38	38	38	高知さんさん	40	40	40				
ＮＨＫ教育福岡	6	6	90									テレビ西日本	9	9	9					ＲＫＫテレビ	11	11	11	ＦＢＳテレビ	37	37	37
ＮＨＫ総合福岡	6	6	80					ＲＫＢ毎日放送	8	8	4					テレビ西日本	10	10	9	ＲＫＫテレビ	11	11	11	ＮＨＫ教育福岡	12	12	90
テレビ熊本	34	34	34	長崎放送	5	5	5	ＲＫＢ毎日放送	48	48	4	ＮＨＫ総合佐賀	38	38	80	テレビ西日本	60	60	9	ＲＫＫテレビ	11	11	11	テレビ長崎	37	37	37
テレビ熊本	34	34	34	長崎国際テレビ	25	25	25	テレビ西日本	9	9	9	長崎文化放送	27	27	27	ＲＫＫテレビ	11	11	11	テレビ長崎	37	37	37	ＫＫＴテレビ	22	22	22
テレビ熊本	34	34	34	テレビ長崎	37	37	37	サガテレビ	36	36	36	ＮＨＫ総合熊本	9	9	80	ＴＶＱ九州放送	19	19	19	ＲＫＫテレビ	11	11	11	ＲＫＢ毎日放送	4	4	4
南海放送	10	10	10	テレビ大分	36	36	36	ＦＢＳテレビ	37	37	37	大分朝日放送	24	24	24	ＴＶＱ九州放送	19	19	19	テレビ西日本	9	9	9	ＮＨＫ教育大分	12	12	90
				鹿児島放送	32	32	32	ＮＨＫ総合宮崎	8	8	80	鹿児島テレビ	38	38	38	宮崎放送	10	10	10					ＮＨＫ教育宮崎	12	12	90
宮崎放送	6	6	10					テレビ宮崎	39	39	35																
宮崎放送	10	10	10	鹿児島放送	32	32	32	ＫＫＴテレビ	22	22	22	鹿児島テレビ	38	38	38	熊本朝日放送	16	16	16	鹿児島読売	30	30	30				
鹿児島テレビ	35	35	38	ＫＫＴテレビ	22	22	22	ＮＨＫ総合鹿児島	8	8	80	熊本朝日放送	16	16	16	南日本放送	10	10	1	ＲＫＫテレビ	11	11	11	ＮＨＫ教育鹿児島	12	12	90
								沖縄テレビ	8	8	8					琉球放送	10	10	10					ＮＨＫ教育沖縄	12	12	90

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この DVD プレーヤー一体型ビデオの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

「故障かな？」（➜56～58）に従ってご確認のあと、直らないときは、本体表示窓に「サービス番号」（➜58）が表示されているときはその番号を控えておき、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

- 技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製　品　名	DVD プレーヤー一体型ビデオ
品　　番	NV-VP70
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック

修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	住所	電話
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市東通り2丁目1-7	☎(050)5519-6348
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

地域	住所	電話
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	住所	電話
石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)25-5001
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市駿河区有東2丁目3-22	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	住所	電話
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口県吉敷郡小郡町下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

地域	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

地域	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0106

さくいん

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検　**長年ご使用のＤＶＤプレーヤー一体型ビデオの点検を！**

こんな症状はありませんか

- 再生しても映像や音声が出ない
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 水や異物が入った
- 時刻表示などに異常がある
- テープやディスクをいためた
- その他の異常や故障がある

▶ このような症状のときは故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	NV-VP70
	販売店名	☎ (　　)　　－	お客様ご相談窓口 ☎ (　　)　　－	

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ
〒 571 − 8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQTV0113-1

F0206Ak0